もくじ

写真を A4/L 判などの定形用紙に印刷

年賀状などのハガキデータを印刷

文書 / ホームページを印刷

封筒に印刷

便利な印刷機能

トラブル対処方法

インクカートリッジの交換

メンテナンス

各ソフトウェアのご案内

プリンタ部の基本操作

その他の情報

写真、雑誌など（反射原稿）の取り込み

EPSON TWAIN ドライバの機能を使った取り込み

トラブル対処方法

EPSON TWAIN ドライバ

EPSON SMART PANEL

その他の情報

サービス・サポートのご案内

ソフトウェアの削除と入手方法

写真をきれいに取り込み、印刷するための知識

付録

写真を A4/L 判などの定形用紙に印刷

A4/L 判などの定形紙のセット方法

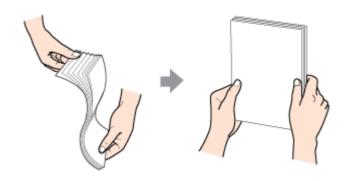
ここでは、A4/L 判などの定形紙のセット方法をご説明します。

ポイント

- EPSON 専用紙をセットする場合は、用紙に添付の取扱説明書もご覧ください。
- 各種用紙（普通紙を除く）は、一般の室温環境（温度 15 ～ 25 度、湿度 40 ～ 60%）でご使用ください。
- 用紙によっては、手の油分や水分が印刷品質に影響を与える場合があります。用紙を取り扱う際は、用紙の端を持つか、綿製の手袋などをすることをお勧めします。

セットする用紙の準備

1. **用紙を図のようによくさばき、端をそろえます。**

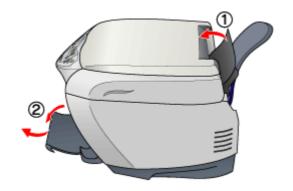
   PM 写真用紙＜光沢＞、PM 写真用紙＜半光沢＞、PM/MC 写真用紙＜半光沢＞をお使いの場合は、用紙をさばかずに、セット方法へ進みます。

2. **下表を参照して、用紙の反りを修正したり、または少し反りを付けたりします。**

PM 写真用紙＜光沢＞ PM 写真用紙＜半光沢＞ PM/MC 写真用紙＜半光沢＞	用紙が反っていても反りを修正しないでください。
PM マット紙	下図のように、少し反りを付けてください。 印刷面
上記以外の用紙	反りを修正してください。

フチなし全面印刷や印刷領域を［最大］に設定して印刷する場合、反りの修正が必要な用紙は、特に厳密に反りを修正してください。反ったまま使用すると、用紙下端がプリントヘッドとこすれて汚れるおそれがあります。

セット方法

1. **本機の電源をオンにします。**

2. **給紙口カバーを開いて、排紙トレイを引き出します。**

3. **印刷面を手前にして用紙をセットし、エッジガイドを用紙の側面に合わせます。**

   用紙は縦方向にセットしてください。横方向にセットすると、正常に印刷や排紙ができません。

用紙のセット可能枚数／印刷面／給紙補助の必要性

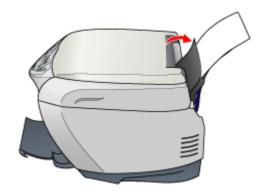
用紙によって印刷面やセット可能枚数が異なります。また、給紙補助のためにシートまたは普通紙を用紙の一番下に敷く必要がありますので、下表をご確認ください。

用紙	セット可能枚数	印刷面	給紙補助
PM 写真用紙＜光沢＞	L 判：20 枚	より光沢のある面	必要ありません
	2L 判：10 枚		
	A4：1 枚		

PM 写真用紙＜半光沢＞	L 判：20 枚	より光沢のある面	必要ありません
	2L 判：10 枚		
PM/MC 写真用紙＜半光沢＞	A4：1 枚		
PM マット紙	A4：20 枚	より白い面	給紙補助シート
光沢紙	A4：20 枚	より光沢のある面	給紙補助シート
アイロンプリントペーパー	A4：1 枚	白紙の面（印刷がない面） 切り落とされた角がある場合は、その角が右上にくる面	必要ありません
スーパーファイン専用光沢フィルム	A4：30 枚 A6：1 枚	切り落とされた角が右上にくる面 印刷面	普通紙 （A6 の場合は、給紙補助シート）
ミニフォトシール	ハガキサイズ：1 枚		給紙補助シート A/B
フォト光沢名刺カード	A4：1 枚		給紙補助シート
スーパーファイン専用ラベルシート	A4：1 枚	EPSON ロゴの印刷されていない面	必要ありません
上質普通紙	A4：エッジガイドの▼マークまで	−	必要ありません
両面上質普通紙＜再生紙＞	A4： エッジガイドの▼マークまで	−	必要ありません
スーパーファイン紙	A4：30 枚	より白い面	必要ありません
市販の普通紙	エッジガイドの▼マークまで	−	必要ありません

ポイント

- 給紙補助シートは、ご購入いただいた専用紙パックに同梱されています。
- 給紙補助シートは、セット可能枚数に含まれません。

4. 給紙口カバーを閉じます。

以上で用紙のセットは終了です。

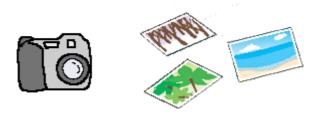
次は 「印刷方法」12

印刷方法

写真データを印刷する際の基本手順をご説明します。

写真データの準備

アプリケーションソフトで、印刷する用紙サイズに合わせて、写真データのサイズを調整してください。

デジタルカメラで撮影した写真データは、一般的に短辺と長辺の比率が約 3 対 4（片方を 1 とすると 1：1.33）です。これに対して A4 や L 判といった用紙サイズの短辺と長辺は約 2：3（片方を 1 とすると 1：1.5）と、微妙に比率が異なります。そのため、用紙の比率に合うように写真データをトリミングなどして調整しないと、印刷後に余白ができたり、画像の端が切れてしまったりします。

写真データのサイズの調整方法については、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

印刷手順

1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

2. **［用紙設定］画面の各項目を設定して、［OK］ボタンをクリックします。**

1	用紙サイズ	印刷データの用紙サイズを、ポップアップメニューから選択します。
2	印刷方向	印刷方向を選択します。［用紙設定］画面の左部で、実際の印刷方向を確認できます。

3. **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

4. **［印刷］画面の各項目を設定します。**

1	部数	印刷部数を入力します。
2	用紙種類	セットした用紙の種類を選択します。 「用紙別プリンタドライバ設定一覧」124
3	カラー	［カラー］で印刷するか、［黒］（モノクロ）で印刷するかを選択します。
4	モード	印刷モードを設定します。 各モードの詳細についてはヘルプをご覧ください。ヘルプは ? ボタンをクリックすると、表示されます。

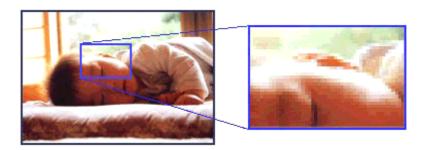
5. ［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

以上で、アプリケーションソフトを使って印刷する方法の説明は終了です。

写真をきれいに印刷するためのポイント

デジタルカメラで撮影した写真データをよりきれいに印刷するためには、以下の３つのポイントを押さえておきましょう。

ポイント１　デジタルカメラでは、印刷サイズに適した撮影サイズで撮影しましょう。

デジタルカメラで撮影した画像データは、細かい点（画素）の集まりで構成されています。同じサイズの用紙に印刷する場合には、この画素数が多いほど、なめらかで高画質な印刷ができます。また、印刷サイズが大きくなればなるほど、画素数の多い画像データが必要になります。

デジタルカメラの撮影時には、以下の表を参考にして、印刷サイズに適した撮影サイズで撮影してください。

デジタルカメラ	一般的な記録画素数（ピクセル）	印刷サイズ			
		A6	A5	B5	A4
35 万画素	640 × 480	○	△	△	△
130 万画素	1290 × 960	◎	◎	○	○
211 万画素	1600 × 1200	◎	◎	○	○
300 万画素	2048 × 1536	※	◎	◎	◎

※オーバースペック：用紙サイズに対して画素数が多すぎます。印刷に時間がかかるだけで、印刷品質の向上は望めません。
◎推奨：用紙サイズに対し理想的な画素数です。高品質な印刷結果を出力できます。
○許容：用紙サイズに対し多少画素数が少なめですが、十分な品質の印刷物を出力できます。
△推奨外：用紙サイズに対し画素数が少なすぎます。印刷結果の品質は期待できません。

ポイント２　専用紙（写真用紙）に印刷しましょう。

せっかく完璧な印刷データを作っても、印刷する用紙が普通紙では、高い解像度で印刷することはできません。
PM 写真用紙などの専用紙に印刷すれば、高品位の印刷結果が得られます。
専用紙を使用する場合は、プリンタドライバの［用紙種類］の設定で、使用する専用紙に対応した用紙種類を選択してください。

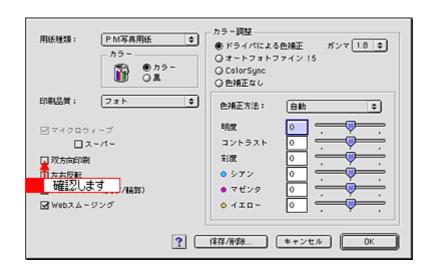
以上の 2 点に注意すれば、写真をきれいに印刷することができます。
しかし、このように印刷しても、印刷する画像によっては印刷結果に印刷ムラやスジが目立つことがあります。このような場合は、ポイント 3 をご覧ください。

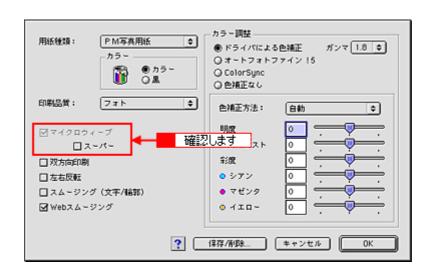
ポイント 3　プリンタドライバの設定を変更してみましょう。

印刷結果を良く見て、印刷ムラやスジが目立つ場合には、プリンタドライバの［手動設定］画面（Windows）/［詳細設定］画面（Macintosh）を表示して、以下の設定を変更してみてください。印刷ムラなどを目立たなくすることができます。

以下の設定を行うと印刷速度が遅くなります。

1. ［双方向印刷］がチェックされている場合は、チェックを外してください。

   双方向印刷は、より高速に印刷するために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときでも印刷する機能です。ただし、印刷品質が多少低下する場合があるため、チェックを外して印刷してみましょう。

2. ［双方向印刷］のチェックを外して印刷しても印刷ムラが目立つ場合は、［マイクロウィーブ］をチェックします。

   印刷時の紙送りピッチが少なくなり、印刷ムラが目立たなくなります。さらに［スーパー］をチェックすると、より改善されます。

ポイント

上記の設定を行っても、画像データによっては、印刷時間が長くなるだけで見た目上の印刷品質は変わらない場合があります。

このほかに、初心者の方でも簡単に画像データを高画質化できる「オートフォトファイン !5」があります。
オートフォトファイン !5 は自動的に画像を高画質化して印刷する EPSON 独自の画像補正機能です。印刷する際にプリンタドライバで設定すれば、元データに手を加えることなく画像を高画質化して印刷します。
「写真を自動補正して印刷（オートフォトファイン !5）」31

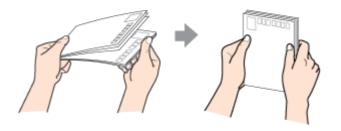
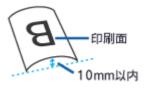
年賀状などのハガキデータを印刷

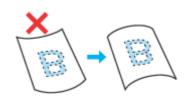
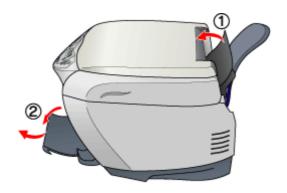
ハガキのセット方法

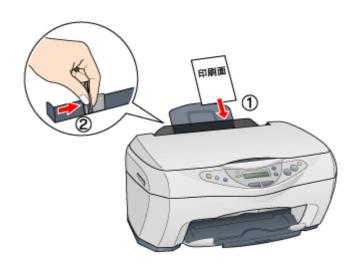
ここでは、ハガキのセット方法をご説明します。

ポイント
- EPSON 製ハガキをセットする場合は、ハガキに添付の取扱説明書もご覧ください。
- 用紙によっては、手の油分や水分が印刷品質に影響を与える場合があります。用紙を取り扱う場合は用紙の端を持つか、綿製の手袋などをすることをお勧めします。

セットするハガキの準備

1. ハガキを図のようによくさばき、端をそろえます。

2. 図のように少し反りを付けます。

注意
片面に印刷後、その裏面に印刷するときは、しばらく乾かした後、反りを付け直してください。
逆に反った状態（下記の×のイラスト）で印刷すると、印刷面が汚れるおそれがあります。

セット方法

1. **本機の電源をオンにします。**
2. **給紙口カバーを開けて、排紙トレイを引き出します。**

3. **印刷面を手前にしてハガキをセットし、エッジガイドをハガキの側面に合わせます。**

   宛先用の郵便番号枠を下側にして、縦方向にセットしてください。
   往復はがきは、折り目を付けずに、横方向にセットしてください。

ハガキのセット可能枚数／給紙補助の必要性

用紙によって、セット可能枚数が異なります。また、ハガキの種類によっては、給紙補助のためにシートをハガキの一番下に敷く必要がある場合があります。

用紙	セット可能枚数	給紙補助
官製ハガキ	30 枚	必要ありません
官製ハガキ（インクジェット紙）	30 枚	必要ありません
官製往復ハガキ	30 枚	必要ありません
フォト・クォリティ・カード 2	20 枚	給紙補助シート<タイプ C >
写真用紙<半光沢>はがき	20 枚	必要ありません
スーパーファイン専用ハガキ	30 枚	給紙補助シート

・ 給紙補助シートは、ご購入いただいた専用紙パックに同梱されています。

- 給紙補助シートは、セット可能枚数に含まれません。

4. 給紙口カバーを閉じます。

以上でハガキのセットは終了です。

次は 「ハガキへの印刷方法」20

ハガキへの印刷方法

ここでは、ハガキへの基本的な印刷方法を説明します。

印刷手順

1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

2. **［用紙設定］画面の各項目を設定して、［OK］ボタンをクリックします。**

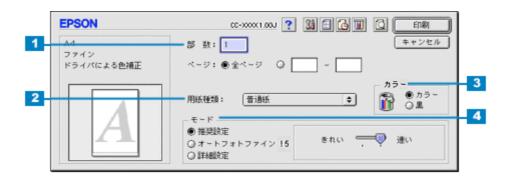
1	用紙サイズ	［ハガキ］を選択します。 往復ハガキに印刷する場合は、［往復ハガキ］を選択します。
2	印刷方向	印刷方向を選択します。 ［用紙設定］画面の左部で、実際の印刷方向を確認できます。

フチなし全面印刷をする場合のご注意
［四辺フチなし］をチェックすると、フチなし全面印刷ができます。
フチなし全面印刷機能では、原稿を少し拡大して印刷することによって、フチのない印刷を実現しています。そのため、拡大されて用紙からはみ出した部分（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm）は印刷されません。
文章を用紙の端ぎりぎりに配置すると、切れてしまう可能性がありますので、ご注意ください。また、宛名面に印刷する場合は郵便番号がずれてしまうため、フチなし全面印刷機能を使わないことをお勧めします。

［四辺フチなし］印刷をすると、画像によってはハガキの先端が傷付く場合があります。
先端の傷が気になる場合は、プリンタドライバで印刷可能領域を［最大］または［標準］に設定して印刷することをお勧めします。

3. **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

4. **［印刷］画面の各項目を設定します。**

1	部数	印刷部数を入力します。		
2	用紙種類	オートシートフィーダにセットしたハガキの種類を選択します。		
		セットした用紙		**用紙種類**
		官製ハガキ		普通紙
		官製ハガキ（インクジェット紙）	宛名面	普通紙
			通信面	官製ハガキ（インクジェット紙）
		フォト・クオリティ・カード 2	宛名面	普通紙
			通信面	EPSON 光沢紙
		スーパーファイン専用ハガキ	宛名面	普通紙
			通信面	EPSON スーパーファイン紙
		写真用紙＜半光沢＞はがき	宛名面	普通紙
			通信面	PM 写真用紙
3	カラー	［カラー］で印刷するか、［黒］（モノクロ）で印刷するかを選択します。		
4	モード	印刷モードを設定します。 各モードの詳細についてはヘルプをご覧ください。ヘルプは ? ボタンをクリックすると、表示されます。		

5. ［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

以上で、ハガキへの印刷手順は終了です。

文書 / ホームページを印刷

A4/L 判などの定形紙のセット方法

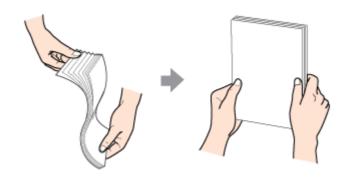
ここでは、普通紙 / 専用紙のセット方法についてご説明します。

ポイント

- EPSON 専用紙をセットする場合は、用紙に添付の取扱説明書もご覧ください。
- 各種用紙（普通紙を除く）は、一般の室温環境（温度 15 ～ 25 度、湿度 40 ～ 60%）でご使用ください。
- 用紙によっては、手の油分や水分が印刷品質に影響を与える場合があります。用紙を取り扱う際は、用紙の端を持つか、綿製の手袋などをすることをお勧めします。

セットする用紙の準備

1. **用紙を図のようによくさばき、端をそろえます。**

   PM 写真用紙＜光沢＞、PM 写真用紙＜半光沢＞、PM/MC 写真用紙＜半光沢＞を使用する場合は、用紙をさばかずにセット方法へ進みます。

2. **下表を参照して、用紙の反りを修正したり、または反りを少し付けたりします。**

PM 写真用紙＜光沢＞ PM 写真用紙＜半光沢＞ PM/MC 写真用紙＜半光沢＞	用紙が反っていても反りを修正しないでください。
PM マット紙	下図のように、少し反りを付けてください。 印刷面
上記以外の用紙	反りを修正してください。

フチなし全面印刷や印刷領域を［最大］に設定して印刷する場合、反りの修正が必要な用紙は、特に厳密に反りを修正してください。反ったまま使用すると、用紙下端がプリントヘッドとこすれて汚れるおそれがあります。

セット方法

1. **本機の電源をオンにします。**

2. **給紙口カバーを開き、排紙トレイを引き出します。**

3. **印刷面を手前にして用紙をセットし、エッジガイドを用紙の側面に合わせます。**

   用紙は縦方向にセットしてください。横方向にセットすると、正常に印刷や排紙ができません。

用紙のセット可能枚数／印刷面／給紙補助の必要性

用紙によって印刷面やセット可能枚数が異なります。また、給紙補助のためにシートまたは普通紙を用紙の一番下に敷く必要がありますので、下表をご確認ください。

用紙	セット可能枚数	印刷面	給紙補助
市販の普通紙	エッジガイドの▼マークまで	－	必要ありません
上質普通紙	エッジガイドの▼マークまで	－	必要ありません
両面上質普通紙＜再生紙＞	エッジガイドの▼マークまで	－	必要ありません
スーパーファイン紙	A4:30 枚	より白い面	必要ありません

<table>
<tr><td rowspan="3">PM 写真用紙 < 光沢 ></td><td>L 判：20 枚</td><td rowspan="3">より光沢のある面</td><td rowspan="3">必要ありません</td></tr>
<tr><td>2L 判：10 枚</td></tr>
<tr><td>A4：1 枚</td></tr>
<tr><td rowspan="2">PM 写真用紙 < 半光沢 ></td><td>L 判：20 枚</td><td rowspan="3">より光沢のある面</td><td rowspan="3">必要ありません</td></tr>
<tr><td>2L 判：10 枚</td></tr>
<tr><td>PM/MC 写真用紙＜半光沢＞</td><td>A4：1 枚</td></tr>
<tr><td>PM マット紙</td><td>A4：20 枚</td><td>より白い面</td><td>給紙補助シート</td></tr>
<tr><td>光沢紙</td><td>A4：20 枚</td><td>より光沢のある面</td><td>給紙補助シート</td></tr>
<tr><td>アイロンプリントペーパー</td><td>A4：1 枚</td><td>白紙の面（印刷がない面）
切り落とされた角がある場合は、その角が右上にくる面</td><td>必要ありません</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スーパーファイン専用光沢フィルム</td><td>A6：1 枚</td><td rowspan="4">切り落とされた角が右上にくる面
印刷面</td><td rowspan="2">普通紙
（A6 の場合は、給紙補助シート）</td></tr>
<tr><td>A4：30 枚</td></tr>
<tr><td>ミニフォトシール</td><td>ハガキサイズ：1 枚</td><td>給紙補助シート A/B</td></tr>
<tr><td>フォト光沢名刺カード</td><td>A4：1 枚</td><td>給紙補助シート</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン専用ラベルシート</td><td>A4：1 枚</td><td>EPSON ロゴの印刷されていない面</td><td>必要ありません</td></tr>
</table>

ポイント

- 給紙補助シートは、ご購入いただいた専用紙パックに同梱されています。
- 給紙補助シートは、セット可能枚数に含まれません。

4. 給紙口カバーを閉じます。

以上で用紙のセットは終了です。

次は 「文書 / ホームページの印刷方法」25

文書 / ホームページの印刷方法

ここでは、文書やホームページなどの基本的な印刷方法をご説明します。

印刷手順

1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を開きます。**

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

2. **［用紙設定］画面の各項目を設定して、［OK］ボタンをクリックします。**

1	用紙サイズ	印刷データの用紙サイズを、ポップアップメニューから選択します。
2	印刷方向	印刷方向を選択します。［用紙設定］画面の左部で、実際の印刷方向を確認できます。

3. **［印刷］画面を開きます。**

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

4. **［印刷］画面の各項目を設定します。**

1	部数	印刷部数を入力します。
2	用紙種類	セットした用紙の種類を、ポップアップメニューから選択します。 「用紙別プリンタドライバ設定一覧」124
3	カラー	［カラー］で印刷するか、［黒］（モノクロ）で印刷するかを選択します。
4	モード	印刷モードを設定します。 各モードの詳細についてはヘルプをご覧ください。ヘルプは ? ボタンをクリックすると、表示されます。

5. **［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。**

以上で、文書やホームページなどの基本的な印刷方法の説明は終了です。

封筒に印刷

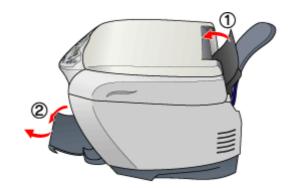
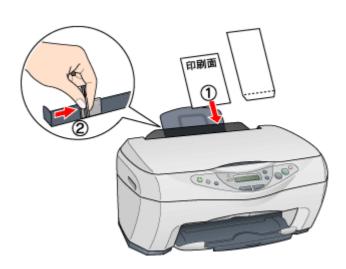
封筒のセット方法

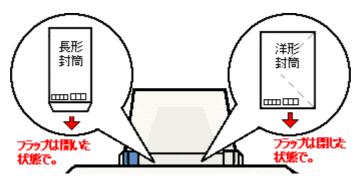
ここでは、封筒のセット方法をご説明します。

注意

- コピー機能を使用する場合、封筒は使用できません。
- 本機で使用できる封筒をご確認ください。
「封筒」122

セット方法

1. **本機の電源をオンにします。**
2. **給紙口カバーを開け、排紙トレイを引き出します。**

3. **印刷面を手前にして封筒をセットし、エッジガイドを封筒の側面に合わせます。**

ポイント

- 封筒は、下図の向きでオートシートフィーダにセットしてください。

- 封筒のセット可能枚数は 10 枚です。

4. **給紙口カバーを閉じます。**

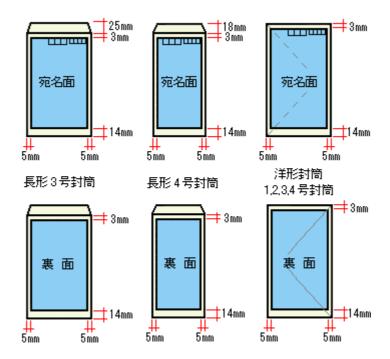
以上で封筒のセットは終了です。

次は 「封筒への印刷方法」29

封筒への印刷方法

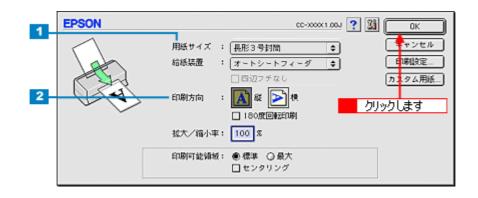
ここでは、封筒への基本的な印刷方法をご説明します。

封筒の印刷領域

封筒へ印刷する場合は、以下の領域に印刷してください。プリンタドライバで印刷領域を［最大］に設定して印刷すると用紙の下端において印刷品質が低下するおそれがあります。

印刷手順

1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**

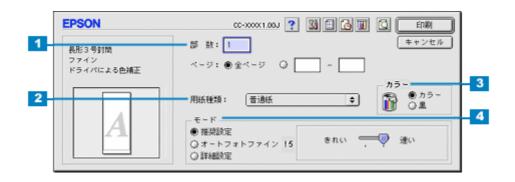
   「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

2. **［用紙設定］画面の各項目を設定して、［OK］ボタンをクリックします。**

1	用紙サイズ	印刷データの封筒サイズをポップアップメニューから選択します。

2	印刷方向	印刷方向を選択します。 ［用紙設定］画面の左部で、実際の印刷方向を確認できます。

3. **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

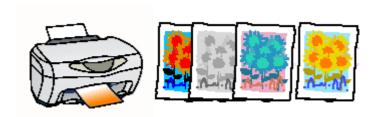
4. **［印刷］画面の各項目を設定します。**

1	部数	印刷部数を入力します。
2	用紙種類	［普通紙］を選択します。
3	カラー	［カラー］で印刷するか、［黒］（モノクロ）で印刷するかを選択します。
4	モード	印刷モードを設定します。ここでは、自動的に最適な設定で印刷する［推奨設定］を選択します。 各モードの詳細についてはヘルプをご覧ください。ヘルプは ? ボタンをクリックすると、表示されます。

5. **［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。**

以上で、封筒に印刷する方法の説明は終了です。

便利な印刷機能

写真を自動補正して印刷（オートフォトファイン !5）

オートフォトファイン !5 機能を使うことによって、初心者では難しかった写真の画像補正を自動的に行って印刷することができます。

印刷時に補正を加えるだけで、データそのものは補正されません。

印刷手順

1. **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

2. **［オートフォトファイン !5］を選択して、印刷データにかける効果を選択します。**

標準	EPSON 標準の色調にして印刷するモードです。
人物	人物が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷するモードです。
風景	風景が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷するモードです。
ソフトフォーカス	画像が柔らかいタッチになるような補正を加えて印刷するモードです。

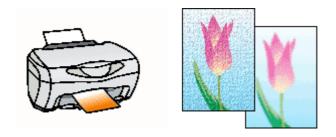
セピア	セピア調にして印刷するモードです。
イメージピュアライザ	デジタルカメラで撮影した画像などのノイズを低減して印刷します。

ポイント

- ［詳細設定］画面では、オートフォトファイン !5 の効果をさらに細かく設定することができます。
  ［詳細設定］画面を表示するには、モード設定で［詳細設定］をチェックして、［設定変更］ボタンをクリックします。
- エプソン製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !5 は使用しないでください。

3. **その他の設定を確認し、［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。**

ソフトフォーカスなど特殊効果を加えて印刷(オートフォトファイン!5)

オートフォトファイン !5 機能を使うことによって、写真にソフトフォーカスや和紙などの特殊効果を加えて印刷することができます。

印刷時に補正を加えるだけで、データそのものは補正されません。

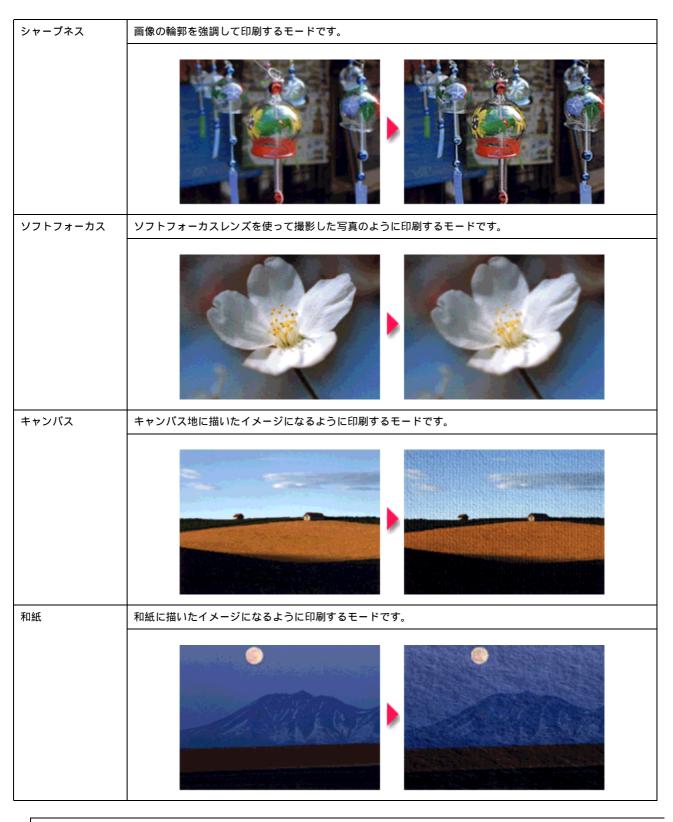
印刷手順

1. **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

2. **［詳細設定］を選択して、［設定変更］ボタンをクリックします。**

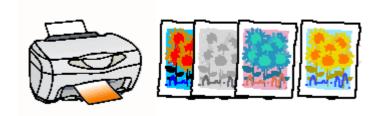
3. **［オートフォトファイン !5］をチェックして、印刷データにかける効果を選択します。**

シャープネス	画像の輪郭を強調して印刷するモードです。
ソフトフォーカス	ソフトフォーカスレンズを使って撮影した写真のように印刷するモードです。
キャンバス	キャンバス地に描いたイメージになるように印刷するモードです。
和紙	和紙に描いたイメージになるように印刷するモードです。

ポイント

弱／強のスライドバーで、効果の強さを調節することができます。

4.　［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、印刷を実行します。

色を微調整して印刷

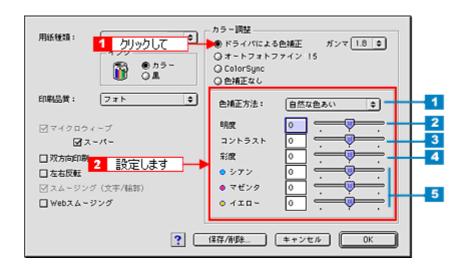
色合いや明度などを微調整して印刷することができます。

印刷時に補正を加えるだけで、データそのものは補正されません。

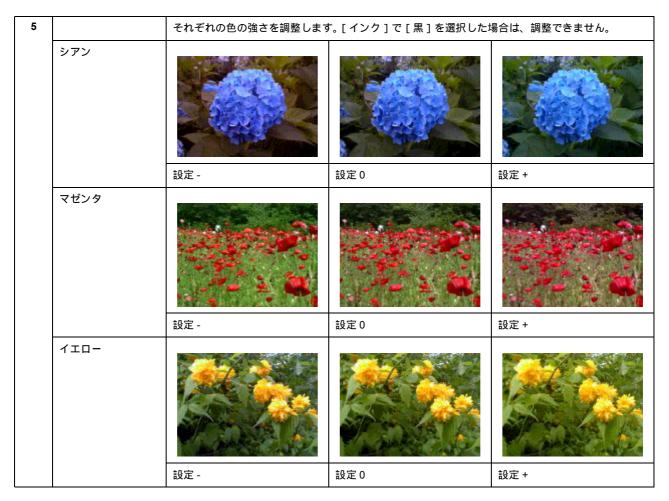
印刷手順

1. **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

2. **［詳細設定］を選択して、［設定変更］ボタンをクリックします。**

3. **［ドライバによる色補正］をチェックして、以下に説明する 1 から 5 の各項目を設定します。**

1	**色補正方法**	**次の「色補正方法」の設定に従い、印刷するデータの色バランスを整えます。**		
		自動	**文書内のオブジェクトに対して最適な色処理をします。通常は、この設定でご使用ください。**	
		自然な色あい	**より自然な発色状態になるように色処理します。**	
		あざやかな色あい	**彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする処理をします。**	
2	**明度**	**画像全体の明るさを調整します。標準を** 0 **として、マイナス（－）方向には暗く、プラス（＋）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。**		
		設定 -	**設定** 0	**設定** +
3	**コントラスト**	**画像の明暗比を調整します。標準を** 0 **として、プラス（**+**）方向にスライドさせると、コントラストが上がり、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。マイナス（－）方向にスライドさせると、コントラストが落ち、画像の明暗の差が少なくなります。**		
		設定 -	**設定** 0	**設定** +
4	**彩度**	**画像の彩度（色のあざやかさ）を調整します。標準を** 0 **として、プラス（**+**）方向にスライドさせると、彩度が上がり色味が強くなります。マイナス（－）方向にスライドさせると彩度が落ちて色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。** **［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。**		
		設定 -	**設定** 0	**設定** +

5		それぞれの色の強さを調整します。［インク］で［黒］を選択した場合は、調整できません。		
	シアン	設定 -	設定 0	設定 +
	マゼンタ	設定 -	設定 0	設定 +
	イエロー	設定 -	設定 0	設定 +

4. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、印刷を実行します。

ポイント

- ［詳細設定］画面の［保存 / 削除］ボタンをクリックすると、ここでの設定を保存しておくことができます。保存した設定値は、［印刷］画面のポップアップメニューから呼び出します。
- シアンをマイナス（-）方向にスライドすると、シアンの補色である赤色が強くなります。
- マゼンタをマイナス（-）方向にスライドすると、マゼンタの補色である緑色が強くなります。
- イエローをマイナス（-）方向にスライドすると、イエローの補色である青色が強くなります。

定形サイズ以外の用紙に印刷

例えば CD-ROM のブックレットサイズの用紙に印刷しようと思ったことはありませんか？
プリンタドライバに用意されていないサイズを自分で設定して印刷することができます。

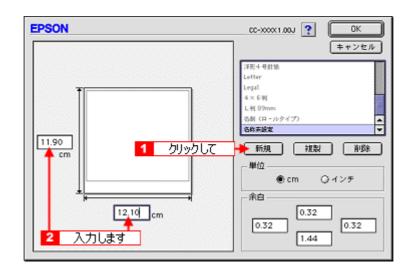
印刷手順

1. プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

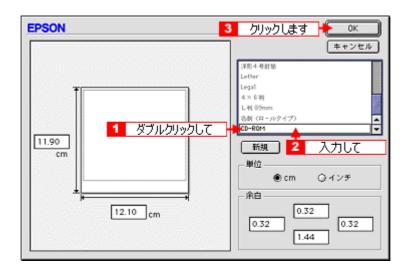
2. ［カスタム用紙］ボタンをクリックします。

3. ［新規］ボタンをクリックしてから、用紙サイズを入力します。

指定できるサイズの範囲は、以下の通りです。
用紙幅 : 8.89 ～ 55.88cm（3.5 ～ 22.00 インチ）
用紙長 : 8.89 ～ 111.76cm（3.5 ～ 44.00 インチ）

ポイント

- 以前に登録した内容を変更したいときは、右のリストから用紙サイズ名をクリックしてください。
- 登録されている用紙サイズを複製したいときは、右のリストから用紙サイズ名を選択して［複製］ボタンをクリックしてください。
- 登録されている用紙サイズを削除したいときは、右のリストから用紙サイズ名を選択して［削除］ボタンをクリックしてください。
- 上記画面では、余白の設定もできます。余白の入力欄に直接入力するか、左のプレビュー部でグレーのラインをドラッグしたまま移動して設定します。

4. **リスト内の［名称未設定］と表示されている部分をダブルクリックして、登録したい名称を入力します。**

用紙サイズ名の入力可能文字数は、全角 15 文字、半角 31 文字です。

ポイント

- 本機で印刷できないサイズを登録して印刷すると、自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）されます。
- 登録できる用紙サイズは 100 個までです。

5. **［OK］ボタンをクリックします。**

これで用紙サイズのポップアップメニューに設定した用紙サイズが登録されました。
この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷

印刷データに「仮」や「重要」などのマークや単語を、スタンプのように重ね合わせて印刷することができます。

ポイント

スタンプマーク印刷機能は、フチなし全面印刷（四辺フチなし印刷）時は使用できません。

印刷手順

1. **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

2. **ボタンをクリックします。**

［レイアウト］画面が表示されます。

3. **［スタンプマーク］をチェックして、重ね合わせるマークを選択します。**

必要に応じてカラーや濃度などを設定してください。ただし、新規に登録したオリジナルマークのカラー変更はできません。

ポイント

- スタンプマークの位置やサイズを変更したい場合は、画面左側に表示されているスタンプマークにマウスカーソル合わせて操作してください。
- ［テキスト編集］と［マウスによる回転］は、新規に登録したオリジナルの単語を選択した場合のみ有効になります。

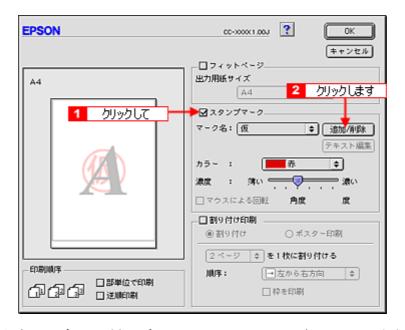
4. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、印刷を実行します。

オリジナルのスタンプマークを登録

登録されているマークのほかに、お好みの画像や任意の単語を登録して印刷することができます。

ポイント

- 画像を登録したい場合は、以下の操作を始める前に、画像を準備しておいてください。なお、登録できる画像のファイル形式は PICT だけです。
- 画像と単語を各 10 個まで登録できます。

1. ［スタンプマーク］をチェックしてから、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

2. 画像を登録する場合は、［ピクチャ追加］ボタンをクリックして、オリジナルマークの保存場所を選択して［開く］ボタンをクリックします。
単語を登録する場合は［テキスト追加］ボタンをクリックして、テキストを入力し、フォントやスタイルを設定して［OK］ボタンをクリックします。

ポイント

［ユーザーマーク］のリストに表示されているマークの名称をクリックすると、マーク名を変更することができます。

3. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］画面に戻ります。

これでマーク名のポップアップメニューにオリジナルマークが加わりました。

ポスター印刷（拡大分割して印刷）

ポスター印刷機能は、印刷データを自動的に拡大分割して印刷することのできる機能です。印刷結果をつなぎ合わせれば、大きなポスターやカレンダーを作ることができます。

ポスター印刷機能は、フチなし全面印刷（四辺フチなし印刷）時は使用できません。

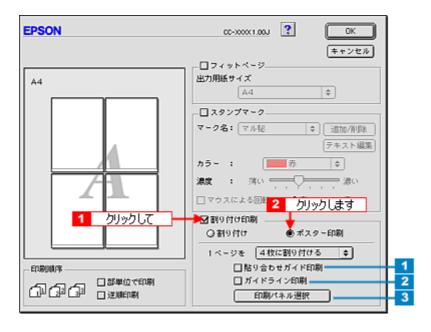
操作手順

1. **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

2. **ボタンをクリックします。**

［レイアウト］画面が表示されます。

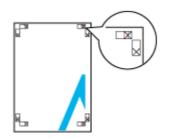
3. **［割り付け印刷］をチェックして、［ポスター印刷］をクリックし、何分割で印刷するかを設定します。また、その他の項目も設定します。**

1	貼り合わせガイド印刷	チェックすると、貼り合わせる際に用紙を重ねられるように、部分的に重複して印刷されます。また、貼り合わせるためのガイドも印刷されます。
2	ガイドライン印刷	チェックすると、余白部分を切り取る際のガイド線が印刷されます。
3	印刷パネル選択	各ページをクリックすることで、分割したページの印刷する / しないを選択できます。全体の中の一部を印刷したいときに便利です。印刷しない部分は、グレーで表示されます。

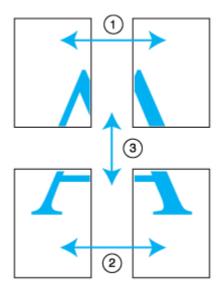
ポイント

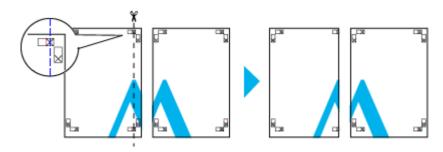
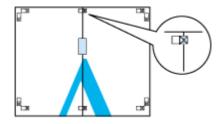
- 設定した枚数と同じ枚数を、オートシートフィーダにセットしてください。
- 分割数が多いほど、印刷に使用する用紙の枚数が増え、大きなポスターを作成できます。
- まったくガイドを印刷しないときと、[ガイドライン印刷] を選択して印刷したときの仕上がりサイズは同じになりますが、[貼り合わせガイドを印刷] を選択した場合は、重ね合わせ分だけ小さくなります。

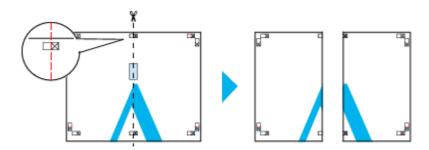
4. [OK] ボタンをクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、印刷を実行します。

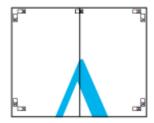
貼り合わせガイド印刷時の用紙の貼り合わせ方

[貼り合わせガイドを印刷] を選択して印刷した場合、下図のような貼り合わせガイドが印刷されます。ここでは、その貼り合わせガイドを使用した用紙の貼り合わせ方をご説明します。

ポイント

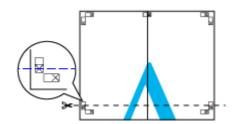
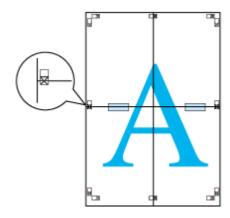
ここでは 4 枚の用紙を貼り合わせる方法について説明します。下図の順番で貼り合わせます。

1. 上段2枚の用紙を用意して、まず左側の用紙の貼り合わせガイド（縦方向の青線）を結ぶ線で切り落とします。

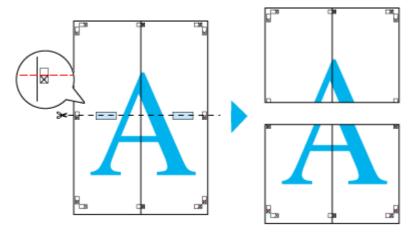
   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

2. 切り落とした左側の用紙を、右側の用紙の上に重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。

3. 2 枚の用紙を重ねたまま、貼り合わせガイド（縦方向の赤線）を結ぶ線で切り落とします。

   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

4. **2 枚の用紙の切り落とした辺を貼り合わせます。**

   裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。

5. **下段の 2 枚の用紙も、手順 1 ～ 4 に従って貼り合わせます。**

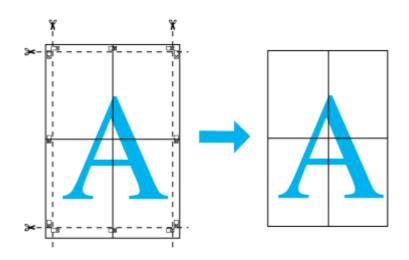
6. **上段の用紙の貼り合わせガイド（横方向の青線）を結ぶ線で切り落とします。**

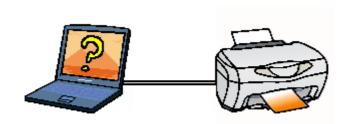
   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

7. **切り落とした上段の用紙を、下段の用紙の上に重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。**

8. **2 枚の用紙を重ねたまま、貼り合わせガイド（横方向の赤線）を結ぶ線で切り落とします。**

   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

9. **2 枚の用紙の切り落とした辺を貼り合わせます。**

   裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。

10. **すべての用紙を貼り合わせたら、外側の切り取りガイドに合わせて余白を切り取ります。**

    これで、大きなポスターの完成です。

画面表示と色合いを合わせて印刷

デジタルカメラやスキャナで取り込んだ画像をプリンタで印刷すると、多くの場合、ディスプレイで見た色と実際の印刷結果には、色合いにズレが生じます。その原因は、「取り込み」、「表示」、「印刷」の 3 者間で、色の発色方法が異なっているからです。そのため、完全に同じ色合いにすることはできません。
「色について」269
しかし、以下の操作を行うことで、色合いをできるだけ近付けることができます。

設定手順

機器間のカラーマッチング（色合わせ）を行い、原画とディスプレイ表示、および印刷結果を一致させるために、ColorSync という方法を使います。

画像入力機器・画像取り込みアプリケーションソフトが ColorSync に対応している必要があります。

コンピュータでの設定

お使いのディスプレイのシステム特性を設定してください。

1. ［アップルメニュ -］から［コントロールパネル］を選択し、［Color Sync］をクリックします。

2. ［システム特性］にご使用のディスプレイタイプが選択されているかを確認します。選択されていない場合は、ポップアップメニューから選択します。

画面は、Color Sync2.5.1 の場合です。
画面左上のクローズボックスをクリックして画面を閉じると設定は終了です。

スキャナでの設定

画像を取り込む際にスキャナの取り込みソフトで［ColorSync］を選択します。

プリンタドライバでの設定

［印刷］画面で、［詳細設定］を選択し［ColorSync］を選択します。

ポイント

- ColorSync を使用して色合わせを行う場合は、RGB の画像データを使用してください。CMYK、Lab などのデータでは、正しく色合わせを行うことができません。
- ColorSync を使用して印刷したにもかかわらず、ディスプレイ上の色合いと印刷結果が異なる場合は、ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）が正しく行われていないか、またはディスプレイの経年変化（劣化）によって色表示にズレが生じていることが考えられます。このような場合は、以下のページを参照して、印刷して結果に合わせるようにディスプレイの調整（モニタキャリブレーション）を行ってください。
「ディスプレイについて」271

- 一部のアプリケーションソフトでは、ソフト上で ColorSync の設定が行えます（AdobePageMaker6.5J 以降、Photoshop4.0J 以降、Illustrator7.0J 以降など）。ソフト上で ColorSync の設定を行う場合は、プリンタドライバでは［ColorSync］を選択せず、カラー調整の［色補正なし］を指定してください。

フチなし全面印刷

標準の印刷では、プリンタ部の構造上どうしても余白ができてしまい、用紙全面に印刷することができません。しかし、フチなし全面印刷機能を使用すると、フチ（余白）のない印刷ができます。

定形紙（L 判 /2L 判 / ハガキ /A4 サイズ）にフチなし全面印刷

フチなし全面印刷の推奨用紙

フチなし全面印刷を行う場合は、以下の用紙をお使いになることをお勧めします。

プリンタドライバで設定できる用紙サイズ	用紙種類
A4	光沢紙 /PM マット紙
ハガキ	官製ハガキ / 官製ハガキ（インクジェット紙） スーパーファイン専用ハガキ / フォト・クォリティ・カード 2/ 写真用紙<半光沢>はがき
L 判 /2L 判	PM 写真用紙<光沢> /PM 写真用紙<半光沢>

注意

- 上記以外の用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。
- スーパーファイン専用光沢フィルム・アイロンプリントペーパーには、フチなし全面印刷はできません。

フチなし全面印刷の手順

フチなし全面印刷をする手順をご説明します。

1. **アプリケーションソフトで印刷データの画像サイズを調整します。**

   フチなし全面印刷をするデータのサイズは、用紙サイズいっぱいに作成してください。余白設定のできるアプリケーションソフトをご使用の場合は、余白を「0mm」に設定してください。

2. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**

   「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

3. **［四辺フチなし］をチェックします。**

フチなし全面印刷は、原稿を用紙サイズより少し拡大し、はみ出させて印刷します。そのため、用紙からはみ出した部分（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm）は印刷されません。本番の印刷前に、試し印刷することをお勧めします。

4. **その他の設定を確認し、[OK] ボタンをクリックして画面を閉じ、[印刷] 画面を表示して印刷を実行します。**

ポイント

用紙の上下端では、印刷品質を保持するために、印刷速度が極端に遅くなります。

拡大 / 縮小印刷

原稿を拡大または縮小して印刷することができます。

設定方法には以下の２種類があります。

- 拡大 / 縮小率を自動的に設定してくれるフィットページ印刷
  例えば、A4 サイズで作った原稿をハガキに印刷したいときなどに、縮小したい用紙サイズを選択するだけで自動的に縮小印刷をしてくれます。
- 拡大 / 縮小率を自由に設定できる任意倍率設定

拡大 / 縮小印刷機能は、フチなし全面印刷（四辺フチなし印刷）時は使用できません。

拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページで拡大 / 縮小印刷

本機にセットした用紙サイズを選択するだけで、拡大 / 縮小率を自動的に設定して印刷することができます。

印刷手順

1. **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

   「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

2. **ボタンをクリックします。**

   ［レイアウト］画面が表示されます。

3. **［フィットページ］をチェックして、［出力用紙サイズ］から、オートシートフィーダにセットした用紙サイズを選択します。**

［用紙設定］画面で設定してある用紙サイズ（＝原稿のサイズ）に対して、拡大 / 縮小率が自動的に設定されます。

4. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、印刷を実行します。

拡大 / 縮小率を自由に設定できる任意倍率設定

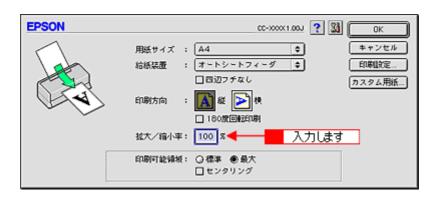
拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷することができます。

印刷手順

1. プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。

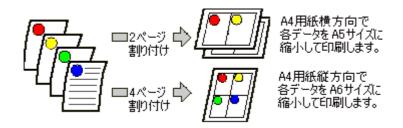
「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

2. ［拡大 / 縮小率］を入力します。

25 ～ 400% の間で倍率を指定できます。

3. その他の設定を確認し、［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、［印刷］画面を表示して印刷を実行します。

用紙を節約して印刷（割付印刷）

1 枚の用紙に 2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを割り付けて印刷することができます。

A4 サイズで作成した連続データを割り付け印刷すると以下のように印刷されます。

ポイント

- 割付印刷機能は、フチなし全面印刷（四辺フチなし印刷）時は使用できません。
- 拡大 / 縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用することで、印刷データと異なるサイズの用紙にも割り付けて印刷できます。

印刷手順

1. **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

2. **ボタンをクリックします。**

［レイアウト］画面が表示されます。

3. ［割り付け印刷］をチェックし、［割り付け］をクリックして、割り付けるページ数や割り付け順を設定します。

ポイント

［枠を印刷］をチェックすると、割り付けたページに枠線が印刷されます。

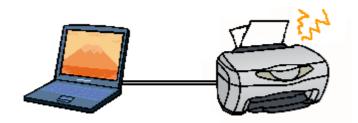
4. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、印刷を実行します。

ポイント

印刷可能領域いっぱいに印刷データを作成すると、レイアウトが変わる場合があります。

トラブル対処方法

詰まった用紙の取り除き方法

紙詰まりが発生した場合は、無理に引っ張らずに、次の手順に従って用紙を取り除いてください。

1. **電源をオフにして、スキャナユニットを開けます。**

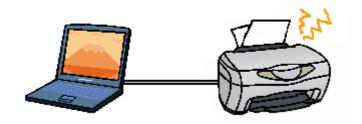
2. **用紙を静かに引き抜きます。**

   途中から破れてしまった場合は、内部に用紙が残らないように完全に取り除いてください。

3. **スキャナユニットを閉じ、電源をオンにして、用紙をセットし直します。**

用紙が切れて内部に残り、取れなくなってしまった場合は、無理に取ろうとしたり本機を分解したりせずに、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。 お問い合わせ先は、『スタートアップガイド』の巻末をご覧ください。

正しく給紙されない

用紙をオートシートフィーダにセットして印刷を実行すると、給紙されない、複数枚重なって給紙される、斜めに給紙される。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

用紙はオートシートフィーダに正しくセットされていますか？

用紙が正しくセットされていないと給紙不良の原因になります。以下の項目をチェックしてください。

- 用紙をオートシートフィーダの右側に沿わせていますか？
- エッジガイドを用紙の側面に合わせていますか？
- 用紙を本機内部へ無理に押し込んでいませんか？
- 用紙は縦方向にセットされていますか？（往復ハガキは横方向）
- オートシートフィーダにセットしてある用紙の量が多すぎませんか？
- 用紙をよくさばきましたか？

以下のページを参照して、正しい用紙のセット方法をご確認ください。

「A4/L 判などの定形紙のセット方法」22
「ハガキのセット方法」17
「封筒のセット方法」27

チェック

本機で使用できない用紙をお使いではありませんか？

お使いの用紙によっては、給紙できなかったり、正常に印刷できない場合もあります。以下の項目をチェックしてください。

- 用紙にシワや折り跡はないですか？
- 厚すぎたり、薄すぎる用紙をお使いではありませんか？
- 用紙が湿気を含んでいませんか？
- 用紙が反っていませんか？
- ルーズリーフ用紙やバインダ用紙などの、穴の空いている用紙ではありませんか？

使用できる用紙の種類については、以下のページをご参照ください。

「使用できる用紙」120

チェック

ご使用の専用紙には給紙補助が必要ではないですか？

EPSON 純正の専用紙によっては、用紙をセットする前に、専用紙に同梱されている給紙補助シート、もしくは同じサイズの普通紙をセットしないと、最後の 1 枚を正常に給紙できない場合があります。
以下のページを参照して、給紙補助の必要 / 不要をご確認ください。
「A4/L 判などの定形紙のセット方法」22
「ハガキのセット方法」17

チェック

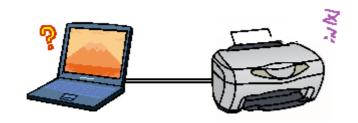
本機は水平な場所に設置されていますか？また、一般の室温環境下に設置されていますか？

設置場所が水平でなかったり、設置場所と本機の間に何か物が挟まれていたり、本機底面のゴム製の脚が台からはみ出ていたりすると、内部機構に無理な力がかかって本体が歪み、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。一見すると水平に見える場所でも実際は設置面が歪んでいることもあり、このような場所に設置した場合にも同様の症状が現れることがあります。設置面が水平であること、すべての脚が正しく設置していることをご確認ください。
また、一般の室温環境下（室温：15 〜 25 度、湿度：40 〜 60%）以外で使用した場合にも、専用紙や専用ハガキを正常に紙送りできない場合があります。

ポイント

上記を確認してもトラブルが解決しない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド』の巻末をご覧ください。

本機が反応しない

本機の電源は入っているけれど、コンピュータから印刷を実行しても印刷が始まらない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

コンピュータの画面に「プリンタが接続されていません。」「用紙がありません。」などのメッセージが表示されていませんか？

画面上に何らかのメッセージ（エラーの内容と対処方法）が表示されている場合は、メッセージに従って原因を解決してください。
何もメッセージが表示されていない場合、またはメッセージが表示されていても原因や対処方法がよくわからない場合は、この項目以降に記載されている各項目を確認して、エラー解除などを行ってください。

チェック

操作パネルにエラーメッセージが表示されていませんか？

操作パネルに表示されているメッセージによっては、本機は給紙動作を行わない場合があります。（発生しているエラーの内容によって、給紙できる場合とできない場合があります。）
電源ランプが点灯しているにもかかわらず本機がまったく給紙動作をしないといった場合のほとんどは、エラーが発生しているケースのため、まずは操作パネルのメッセージを確認してください。

エラーの内容については、以下のページをご参照ください。
「操作パネルのエラー表示一覧」279

チェック

操作パネルのスイッチ操作でノズルチェックパターンを印刷して、本機が故障していないか確認しましょう。

コンピュータと接続していない状態で、ノズルチェックパターンを印刷することによって、本機が故障していないかを確認することができます。
「操作パネルのスイッチ操作で行う」93

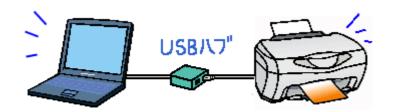
チェック

本機とコンピュータはしっかりと接続されていますか？

本機側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにUSBケーブルがしっかり接続されていますか？ケーブルが断線していませんか？変に曲がっていませんか？しっかり接続されていないと印刷されない場合がありますので、よく確認してください。

チェック

USB ハブをご利用の場合に、コンピュータに直接接続されているハブに本機を接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機を接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目のハブに接続するか、コンピュータ本体に直接接続してください。

チェック

本機とコンピュータの間に、プリンタ切替機やバッファなどを使用していませんか？

一台のプリンタを複数のコンピュータで共有する場合などに使われるプリンタ切替機や、プリンタバッファなどを使用していると、本機とコンピュータの情報データのやり取りがうまくいかず、印刷できない場合があります。
本機とコンピュータを直接接続して、正常に印刷できるかご確認ください。

チェック

本機用のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

セレクタに本機のアイコンが表示されていますか？
本機のアイコンがない場合は、プリンタドライバがインストールされていませんので、『スタートアップガイド』の手順説明に従って、インストールをしてください。

上記画面は、［アップル］メニューの［セレクタ］をクリックして開きます。

チェック

「印刷先」の設定は正しいですか？

ネットワーク環境で Macintosh をご利用の場合は、セレクタ上に USB ポートとネットワークプリンタの両方が表示される場合があります。印刷したいプリンタ（USB ポートに直接接続されているプリンタか、ネットワーク上のプリンタか）を選択してください。

上記画面は、［アップル］メニューの［セレクタ］をクリックして開きます。

チェック

EPSON Monitor IVのステータスが「一時停止」になっていませんか？

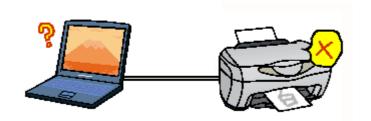
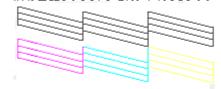
印刷の途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷を停止したりした場合、「一時停止」状態のままになります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。
［プリントキューの開始］ボタンまたは ▶ ボタンをクリックして印刷を再開します。

「印刷状況を確認する画面」108

ポイント

- 以上のチェック項目を確認の上で、再度印刷を実行しても印刷が始まらないときは、プリンタドライバが正常にインストールされていない可能性があります。
  プリンタドライバを一旦アンインストール（削除）してから、再度インストールしてみてください。
  「ソフトウェアの削除方法」260
- 上記を確認しても印刷できない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド』の巻末をご覧ください。

動作はするが何も印刷しない

用紙を給紙して本機は正常に動作しているようなのに、何も印刷しない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認してください。
「ノズルチェックとヘッドクリーニング」91

正常　ノズルは目詰まりしていません。印刷できます。

異常　ノズルが目詰まりしています。クリーニングを実行してください。

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。
「ノズルチェックとヘッドクリーニング」91

チェック

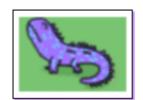
本機を長期間使用しないでいませんでしたか？

本機を長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。
この場合は、ヘッドクリーニングとノズルチェックを繰り返し実行してください。
5 回繰り返してもノズルチェックパターンの印刷結果がまったく改善されない場合は、本機の電源をオフにして一晩以上経過した後、再度印刷を実行してください。ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。なお、ヘッドの目詰まりを防ぐためには、定期的に印刷していただくことをお勧めします。
「ノズルチェックとヘッドクリーニング」91

ポイント

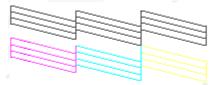
それでも印刷できない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド』の巻末をご覧ください。

印刷品質が悪い

印刷を実行すると印刷結果がぼやけたり、色が薄い、文字や罫線に白いスジが入る。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認してください。
「ノズルチェックとヘッドクリーニング」91

正常　ノズルは目詰まりしていません。印刷できます。

異常　ノズルが目詰まりしています。クリーニングを実行してください。

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。
「ノズルチェックとヘッドクリーニング」91

チェック

写真などを普通紙に印刷していませんか？

カラー画像やグラフィックスなど、文字などに比べ印刷面積の大きい原稿を普通紙に印刷すると、インクがにじむことがあります。カラー画像などを印刷するときや、より良い品質の印刷をするためには、専用紙のご使用をお勧めします。

チェック

印刷後の用紙（PM 写真用紙<光沢>、PM 写真用紙<半光沢>、PM/MC 写真用紙<半光沢>、写真用紙<半光沢>はがき）を重なった状態で放置していませんか？

印刷後の用紙が重なっていると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。印刷後の用紙は、速やかに１枚ずつ広げて乾燥（※）させてください。そうすれば、跡はなくなります。重なっている状態で放置すると、１枚ずつ広げて乾燥させても跡が消えなくなりますのでご注意ください。
※１枚ずつ広げておよそ一昼夜（24 時間）程度乾燥させるか、15 分程度放置した後、普通紙などの吸湿性のある用紙を印刷面に重ねて乾燥させてください。

チェック

インクカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品に添付のプリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。
また、純正品以外のカートリッジをお使いになると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。

インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
なお、必ず本機に合った型番のものを使用してください。
「インクカートリッジ型番と交換時のご注意」83

チェック

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

インクカートリッジは、開封後 6 ヵ月以内に使い切ってください。
古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。
（未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。）
「インクカートリッジの交換方法」86

チェック

双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがズレていませんか？

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷する「双方向印刷」を行っているときに、印刷結果がぼやける場合は、プリントヘッドのギャップがズレている可能性があります。

（ギャップのズレとは、プリントヘッドが左に動くときと右に動くときとで、印刷位置にズレが生じる状態です。縦罫線の場合は、線がガタガタにズレます。写真の印刷のような場合は、インクが正しく重ならなくなるため、印刷結果がぼやけます。）

このようなときは、ギャップのズレを調整してください。
「ギャップ調整」96

チェック

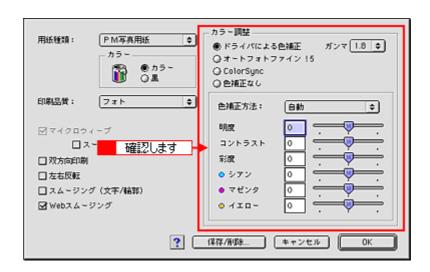
プリンタドライバで設定した用紙種類と実際に使用している用紙の種類は同じですか？

実際に使用する用紙の種類と、プリンタドライバで設定する「用紙種類」の設定が合っていないと、印刷品質に影響を及ぼします。
実際に使用する用紙の種類とプリンタドライバの設定は、必ず合わせてください。

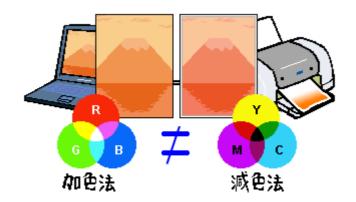
「用紙別プリンタドライバ設定一覧」124

チェック

プリンタドライバでカラー調整の設定をしていませんか？

プリンタドライバの［手動設定］画面の「カラー調整」にて「明度」や「コントラスト」を調整したままだと、印刷結果の濃さが変化します。
プリンタドライバの［手動設定］画面の設定を確認してください。

チェック

出力装置（ディスプレイ、本機）の発色方法の違いによる差です。

ディスプレイ表示と本機で印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

「色について」269

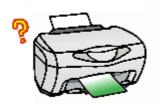
これらの差異を抑え、各機器間の色合いを合わせる機能として、ICM という機能があります。これらの機能を使用して印刷してみてください。
「画面表示と色合いを合わせて印刷」49

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」259
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、『スタートアップガイド』の巻末をご覧ください。

印刷面がこすれる

印刷を実行すると印刷面がこすれて汚れている。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

仕様外の厚い用紙を使用していませんか？

本機で使用できる EPSON 純正品以外の用紙の厚さは、単票用紙で 0.08 ～ 0.11mm までです。この規定以上の厚紙を使用すると、プリントヘッドが印刷面をこすってしまい、印刷結果が汚くなることがあります。仕様に合った用紙を使用してください。

チェック

印刷領域を［最大］に設定して印刷していませんか？

プリンタドライバで印刷領域を［最大］に設定して印刷すると、紙送りの機構上、用紙の下端 3mm ～ 14mm の範囲で印刷品質の低下が生じることがあります。また、プリントヘッドが用紙下端とこすれることにより、まれに用紙の最下端部分が汚れることがあります。この場合は、用紙の反りを修正してから本機にセットしてください。

チェック

［四辺フチなし］に設定して印刷していませんか？

フチなし全面印刷（四辺フチなし印刷）を行う場合は、下記の用紙をお使いになることをお勧めします。

- 光沢紙 /PM マット紙
- L 判 /2L 判の PM 写真用紙
- ハガキサイズの専用紙 / 官製ハガキ

上記以外の用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。

チェック

本機内部が汚れていませんか？

本機の内部がインクで汚れていたりすると、用紙に汚れが付着し、印刷結果を汚すおそれがあります。
定期的に本機のお手入れをしてください。
「本機のお手入れ方法」100

チェック

用紙を横方向にセットしていませんか？

用紙は、往復ハガキを使用する場合を除いて、すべて縦方向にセットしてください。
横方向にセットした場合、プリントヘッドが印刷面をこすってしまうことがあります。

チェック

反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙の裁断のときにでる「かえり」）のある用紙を使用していませんか？

反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙の裁断のときに出る「かえり」）のある用紙に印刷すると、用紙の端がプリントヘッドをこすってしまうことがあります。用紙の反りやバリを取ってから、オートシートフィーダにセットしてください。

チェック

エプソン製の専用紙に印刷後、すぐに重ねていませんか？

EPSON 製の専用紙は、普通紙などと比較してインクの乾きが遅いため、印刷直後に手や別の用紙などが印刷面に触れると、汚れることがあります。
印刷直後は印刷面に触れないように、排紙トレイから 1 枚ずつ取り去って十分に乾かしてください。

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

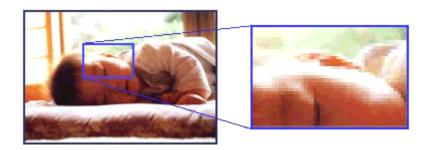
- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」259
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、『スタートアップガイド』の巻末をご覧ください。

デジタルカメラで撮影した写真が、きれいに印刷できない

デジタルカメラで撮影した写真が、きれいに印刷できない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

写真データの撮影サイズが、印刷サイズに適していますか？

デジタルカメラで撮影した画像データは、細かい点（画素）の集まりで構成されています。この画素数が多いほど、なめらかで高画質な印刷を行うことができます。また、L 判の用紙に印刷する場合と、A4 サイズの用紙に印刷する場合では、必要な画素数が違います。印刷サイズが大きくなればなるほど、画素数の多い写真データが必要になります。

チェック

専用紙に印刷していますか？

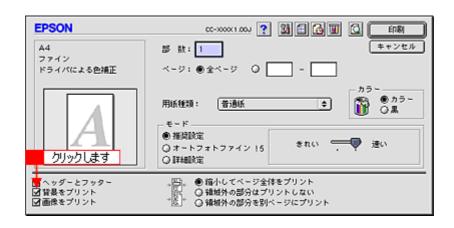
画像数の適切な写真データでも、印刷する用紙が普通紙では、高い解像度で印刷することはできません。
PM 写真用紙などの専用紙をご利用ください。
その際、プリンタドライバの［用紙種類］の設定は、使用する専用紙に対応した用紙種類を選択してください。
「用紙別プリンタドライバ設定一覧」124

ホームページを画面通りに印刷できない

ホームページを画面と同じように印刷できない場合には、次のチェック項目を確認してください。

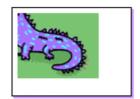
ホームページの背景色が印刷されない

Microsoft Internet Explorer の初期設定では、ホームページの背景色や背景の画像は印刷しない設定になっています。次の設定を変更すれば、背景色などが印刷できるようになります。

［印刷］画面で［背景をプリント］をチェックして、印刷します。

ホームページの画像がきれいに印刷できない

ホームページ上の画像は、データ通信を優先するため、基本的に低解像度に設定されています。このため、ディスプレイ上ではきれいな画像が、専用紙を使用して［フォト］印刷など高解像度で印刷しても期待した印刷品質が得られない場合があります。

印刷位置 / サイズが正しくない

印刷を実行すると、用紙の思ったところに印刷してくれない場合は、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリンタドライバで設定した用紙サイズと、実際に印刷している用紙サイズは同じですか？

プリンタドライバの用紙サイズの設定を、実際に使用する用紙サイズと合わせてください。

また、印刷データのサイズがオートシートフィーダにセットした用紙サイズよりも大きい（または小さい）場合は、プリンタドライバの「フィットページ」の機能を使って、拡大 / 縮小印刷してください。

「拡大 / 縮小印刷」54

チェック

ポスター印刷や拡大 / 縮小印刷などのプリンタドライバの機能を使用して印刷していませんか？

本機のプリンタドライバは、印刷結果をさまざまな用途でお使いいただくための機能をご用意しています。これらの機能が有効になっていると、画面上での表示と異なる印刷結果を出力することがあります。プリンタドライバの設定を確認してください。

「用紙を節約して印刷（割付印刷）」56
「拡大 / 縮小印刷」54

チェック

フチなし全面印刷をしていませんか？

フチなし全面印刷（四辺フチなし印刷）時は、裁ち落とし印刷（用紙より少しはみ出した印刷）をするために、写真を用紙サイズよりも少し拡大処理します（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm）。
拡大処理されて用紙からはみ出した部分は印刷されませんので、ディスプレイ上に表示されている内容と印刷結果でわずかに違いが生じます。

チェック

用紙とエッジガイドの間に、すき間はありませんか？また、用紙が曲がってセットされていませんか？

一旦用紙を取り出して、用紙をよく整えてください。
オートシートフィーダの右側に沿って用紙をセットし、エッジガイドを用紙の側面に正しく合わせてください。

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」259
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、『スタートアップガイド』の巻末をご覧ください。

文字が化けて印刷される

印刷を実行すると意味不明な文字や記号が印刷される。また、意味不明な文字や記号を少しずつ印刷しながら、大量の用紙を排紙する。
こういった現象は、コンピュータから本機に送られてくるデータが始めから壊れていたり、送られてくるデータが途中で壊れてしまうことが原因として考えられます。
以下のチェック項目を確認してください。

チェック

USB ケーブルが外れかかっていませんか？

コンピュータと本機に、USB ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認してください。外れかかっていると、印刷や動作がおかしくなる場合があります。

チェック

本機とコンピュータの間に、プリンタ切替機やバッファなどを使用していませんか？

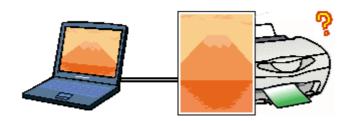
一台のプリンタを複数のコンピュータで共有する場合などに使われるプリンタ切替機や、プリンタバッファなどを使用していると、本機とコンピュータの情報データのやり取りがうまくいかず、文字化けなどが発生する場合があります。
本機とコンピュータを直接接続して、正常に印刷できるかご確認ください。

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」259
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、『スタートアップガイド』の巻末をご覧ください。

フチなし全面印刷ができない

フチなし全面印刷を実行したつもりなのにフチなしにならない場合は、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

印刷時の設定で、フチなし全面印刷をするように設定しましたか？

プリンタドライバで、フチなし全面印刷をするように設定したか確認して、再度印刷してください。
「フチなし全面印刷」52

チェック

定形紙にフチなし全面印刷を行う場合、フチなし全面印刷の推奨用紙を使用していますか？

定形紙でフチなし全面印刷を行う場合は、以下の用紙をお使いになることをお勧めします。

- 光沢紙 /PM マット紙
- L 判 /2L 判の PM 写真用紙
- ハガキサイズの専用紙 / 官製ハガキ

なお、上記以外の用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。また、スーパーファイン専用光沢フィルム・アイロンプリントペーパーには、フチなし全面印刷はできません。

チェック

フチなし全面印刷（定形紙）をするデータのサイズは、用紙サイズいっぱいに作成されていますか？

フチなし全面印刷をするデータのサイズは、用紙サイズいっぱいに作成しておく必要があります。
「フチなし全面印刷」52

チェック

規格サイズ (*) よりも長さが短い用紙を使っていませんか？

規格サイズよりも長さが約 3mm 以上短い用紙をお使いになると、本機は用紙下端に 3mm 程度の余白を残して印刷を終了します。
規格サイズの用紙をお使いください。
* A4:210 × 297mm / ハガキ：100 × 148mm / L 判：89 × 127mm / 2L 判：127 × 178mm

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
「インターネット FAQ のご案内」259

- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、『スタートアップガイド』の巻末をご覧ください。

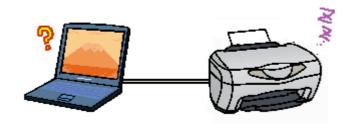
コンピュータの画面にエラーメッセージが表示される

チェック

「プリンタが接続されていません。」「用紙がありません。」などのメッセージが表示されていませんか？

画面上に何らかのメッセージ（エラーの内容と対処方法）が表示されている場合は、メッセージに従って原因を解決してください。
何もメッセージが表示されていない場合、またはメッセージが表示されていても原因や対処方法がよくわからない場合は、以下のページを参照して、エラー解除などを行ってください。
「本機が反応しない」61

電源が入らない

本機の［電源］ボタンを押しても電源ランプが点灯しない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

電源プラグがコンセントから抜けていませんか？

差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。また、壁に固定されたコンセントに電源プラグを差し込んでいるか再度確認してください。

チェック

コンセントに電源はきていますか？

ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確認してください。ほかの電気製品が正常に動作するときは、本機の故障が考えられます。

ポイント

以上の２点を確認の上で［電源］ボタンを押しても電源がオンにならない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド』の巻末をご覧ください。

その他のトラブル

チェック

クリーニングが動作しない

プリントヘッドのクリーニングを実行しても本機がまったく動作しない場合は、液晶ディスプレイに表示されている内容をご確認ください。
インク残量が少なくなっているとき、およびインクがなくなっているときは、ヘッドクリーニングができません。
（インク残量が少なくなると、インク残量を示すアイコンが点滅します。インクがなくなるとメッセージが表示されます。）
新しいインクカートリッジに交換してからクリーニングを実行してください。
「操作パネルのエラー表示一覧」279
「インクカートリッジの交換方法」86

チェック

インクカートリッジの取り付け時、誤って黄色いテープと一緒に青いラベルをはがしてしまった

誤って青いラベルをはがしてしまったインクカートリッジは、ご使用になれません。
新しいインクカートリッジを用意して、黄色いテープのみをはがした状態で取り付けてください。
青いラベルまではがした場合には、必要以上にカートリッジ内に空気が入り、時間が経つにつれてインクカートリッジ内のインクの粘度が増し、印刷時に目詰まりを起こす原因となります。
この状態に陥ってからインクカートリッジを交換してクリーニングを行っても目詰まりを解消することが難しくなりますので、ご注意ください。

チェック

黒印刷しかしていないのに、いつの間にかカラーインクが減っている

黒印刷しかしない場合でも、以下の動作時にカラーインクが消費されます。
また、カラーインクしか使用しない場合でも、同様の理由で黒インクが消費されます。

- **ヘッドクリーニングをするとき**
  黒インクのみ使用していても、ヘッドクリーニング時は黒・カラーのインクを同時に使用するため、カラーインクも消費されます。

- **セルフクリーニング時**
  セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能です。印刷を開始するときなどに定期的に行われます。（すべてのインクを微量吐出して、ノズルの乾燥を防ぎます。）

クリーニング時に黒とカラーインクを同時に使用する理由
プリントヘッドのノズルにインクが詰まると、インクが出なくなったりかすれたり、正常に印刷できなくなります。黒のみの印刷をしていても、ある日突然カラー印刷をしたくなった際に正常にインクが出ないということでは、プリンタの性能を発揮できない結果になります。
そのため、目詰まり防止策として、どちらか一方のノズルだけをクリーニングするのではなく、黒・カラー両方のノズルをクリーニングして、双方のノズルを常に良好な状態にしておく仕組みになっています。

チェック

印刷後の用紙（PM 写真用紙<光沢>、PM 写真用紙<半光沢>、PM/MC 写真用紙<半光沢>、写真用紙<半光沢>はがき）に、重なった際の跡が残る

印刷後の用紙を重なった状態で放置していませんか？
印刷後の用紙が重なっていると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。印刷後の用紙は、速やかに 1 枚ずつ広げて乾燥（※）させてください。そうすれば、跡はなくなります。重なっている状態で放置すると、１枚ずつ広げて乾燥させても跡が消えなくなりますのでご注意ください。
※１枚ずつ広げておよそ一昼夜（24 時間）程度乾燥させるか、15 分程度放置した後、普通紙などの吸湿性のある用紙を印刷面に重ねて乾燥させてください。

チェック

印刷に時間がかかる、印刷が始まらない

Macintosh 本体のシステムの空きメモリ容量が少ないと、印刷に時間がかかる（または印刷がなかなか始まらない）場合があります。
この場合は、使用していないアプリケーションソフトを終了するなどメモリの空き容量を増やして Macintosh が使用できるメモリ領域を確保してください。
システムの空きメモリ容量とは、［このコンピュータについて ...］を選択したときのウィンドウに表示される「最大未使用ブロック：」の値です。
必要な空きメモリ容量が得られない場合は、暫定的に Macintosh の仮想メモリを使用してください。（[システムが使用するメモリ］+［印刷に必要な空きメモリ容量］以上の値を割り当ててください。）ご使用の環境にもよりますが、より快適にご使用になれる場合があります。

チェック

セレクタ画面にプリンタドライバが表示されない

本機に同梱のプリンタドライバは漢字 Talk7.5 以降に添付されている Quick Draw　GX には対応しておりませんので、Quick Draw GX がインストールされている Macintosh のセレクタ画面には、本機のプリンタドライバは表示されません。この場合、Quick Draw GX を使用停止にしてから、セレクタ画面を開いてください。
以下の手順で Quick Draw GX を使用停止にしてください。

1. 「caps lock」キーを解除しておきます。
2. スペースバーを押したままにして Macintosh を起動します。（機能拡張マネージャが開きます。）
3. Quick Draw GX 拡張機能をクリックして［使用停止］にします。
（チェック印のない状態になります。）
4. 機能拡張マネージャを閉じます。

チェック

操作パネルの [ストップ] ボタンを押して、コンピュータからの印刷を中止したら、「キャンセルチュウ」の表示が消えない。

印刷の状況によってまれに「キャンセルチュウ」の表示が消えないことがあります。この場合は、本機の電源を一旦オフにするか、コンピュータから再度印刷を実行してください。

チェック

最新のプリンタドライバを入手したい

通常は本製品に同梱されているプリンタドライバで問題なくご利用いただけますが、アプリケーションソフトなどのバージョンアップに伴い、プリンタドライバのバージョンアップが必要な場合があります。
そのような場合は、以下のページを参照して、プリンタドライバを入手してください。
「最新ソフトウェアの入手方法」265

チェック

コンピュータ、マウスがまったく動かなくなってしまったら？

以下の方法でコンピュータを再起動してください。ただし、保存していないデータは失われます。
通常、プリンタドライバが原因でコンピュータやマウスが動かなくなってしまうことはありません。このようなことが頻繁に起こる場合には、原因の 1 **つとして、コンピュータのシステムや** OS **の環境によることが考えられます。**OS **やコンピュータにインストールされているユーティリティなどの取扱説明書を参照して確認を行ってください。**
「Command**」キー、「**control**」キー、「**Power On**」キーの** 3 **つのキーを同時に押してください。**

※ USB **接続のキーボードを使用している** Macintosh **の場合、上記の方法でコンピュータを再起動することができない場合があります。この場合、コンピュータのリセットボタンを押し、**Macintosh **を再起動してください。**

インクカートリッジの交換

インクカートリッジ型番と交換時のご注意

使用できるインクカートリッジ

本機で使用できるインクカートリッジの当社純正品は、下記の通りです。

インクカートリッジの種類	型番
黒インクカートリッジ	ICBK29
カラーインクカートリッジ	ICCL29

注意

本機に添付のプリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。

インクカートリッジ取り扱い上のご注意

インクカートリッジを交換する前に、以下の注意事項をご確認ください。

使用上のご注意

- インクカートリッジは、取り付ける直前に開封してください。開封した状態で長時間放置すると、正常に印刷できなくなる場合があります。また、開封後は6ヶ月以内に使い切ってください。古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります（未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります）。
- インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは分解しないでください。
- 本機で使用するインクカートリッジは IC チップでインク残量などカートリッジ固有の情報を管理しているため、途中で抜いても再使用が可能です。ただし、再装着の際には本機の信頼性を確保するため、インクが消費されます。
- 使用途中で取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にほこりが付かないように注意して、本機と同じ環境下で保管してください。なお、インク供給孔内部には弁があるため、ふたや栓をする必要はありませんが、供給孔部で周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクカートリッジのインク供給孔部には触らないでください。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温で放置してから使用してください。
- インクカートリッジは、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。期限を過ぎたものをご使用になると、印刷品質に影響を与える場合があります。
- インクカートリッジは強く振らないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。
- EPSON マークの印刷されたラベルは、絶対にはがさないでください。EPSON マークの印刷されたラベルをはがしたインクカートリッジを使用すると、インクの粘度が増し、プリントヘッドが目詰まりして印刷できなくなる場合があります。

注意

- インクカートリッジを取り扱うときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。目に入った場合はすぐに水で洗い流し、皮膚に付着した場合はすぐに水や石けんで洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一、異常がある場合は、すぐに医師にご相談ください。
- インクは飲まないでください。また、インクが手などに付いてしまった場合は、時間がたつと落ちにくくなるので、すぐに石けんや水で洗い流してください。インクが目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

保管上のご注意

- インクカートリッジは、冷暗所で保管してください。
- インクカートリッジは、子供の手の届かない所に保管してください。また、インクは飲まないでください。

交換時のご注意

- インクカートリッジへのインクの補充はしないでください。正常に動作・印刷ができなくなるおそれがあります。インクカートリッジは IC チップにインク残量を記憶しています。このため、インクを補充しても IC チップ内の残量値が書き換わることはなく、使用できるインク量は変わりません。
- 電源が入っていない状態で無理にインクカートリッジを交換しないでください。インク残量の検出が正しく行われず、正常な印刷ができなくなります。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インクカートリッジを取り外したまま、本機を放置しないでください。プリントヘッドが乾燥して印刷できなくなる場合があります。
- 交換作業中は本機の電源をオフにしたり、電源コードをコンセントから抜いたりしないでください。プリントヘッドが乾燥して印刷できなくなる場合があります。
- インクカートリッジは、黒・カラー両方ともセットしてください。どちらか片方だけセットされた状態では、印刷できません。
- 充てん中（電源ランプが点滅中）は、電源をオフにしないでください。充てんが完全に行われずに、印刷ができなくなる場合があります。
- 使用済みのインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付着している場合がありますので注意してください。交換作業後、使用済みのインクカートリッジはポリ袋などに入れて、リサイクルに出すか、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

インク消費について

各インクカートリッジは、印刷時以外にも次の場合にインクが消費されます。

- 印刷を開始するときなどに定期的に実施されるセルフクリーニング時
- プリントヘッドのクリーニング時
- インクカートリッジ装着時

インクカートリッジの回収にご協力ください

弊社では、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」をエプソン製品取扱い店に設置し、使用済みカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、最寄りの回収ポストまでお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。

最寄りの回収ポスト設置店舗は、エプソン販売のホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）でご案内しています。

EPSON

インクカートリッジの交換方法

黒 / カラーどちらか片方のインクがなくなると、操作パネルに［クロインクナシ］または［カラーインクナシ］と表示されて印刷できなくなります。
インクがなくなったときは、以下のどちらかの方法で、インクカートリッジを交換してください。

- 「交換方法 1　コンピュータに表示されるメッセージに従って交換」86
  インクがなくなったときや、残り少なくなったときには、コンピュータの画面にメッセージが表示されます。そのメッセージ画面の［対処方法］ボタンをクリックすると、インクカートリッジの交換手順が表示されます。
- 「交換方法 2　操作パネルのボタン操作で交換」86
  上記の方法で交換できない場合は、操作パネルのボタン操作で交換してください。

注意

- インクカートリッジを交換する前に、インクカートリッジ取り扱い上の注意事項をご確認ください。
  「インクカートリッジ型番と交換時のご注意」83
- 黒１色のモノクロ印刷を行う場合でも、カラーインクがなくなっていると本機は動作しません。

ポイント

インク残量は、コンピュータの画面からも確認することができます。
「本機の状態を画面で確認」116

交換方法 1　コンピュータに表示されるメッセージに従って交換

インクがなくなったときや、残り少なくなったときには、コンピュータの画面に以下のメッセージが表示されます。画面上の［対処方法］ボタンをクリックすると、インクカートリッジの交換手順が表示されますので、その表示に従って交換してください。通常は、こちらの交換方法をお勧めします。

交換方法 2　操作パネルのボタン操作で交換

交換方法 1 の画面が表示されない場合は、以下の説明に従って交換してください。

1. **新しいインクカートリッジを用意します。**

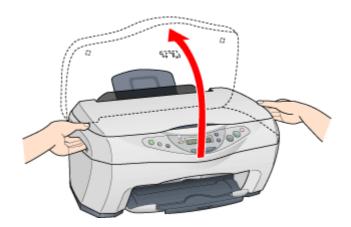
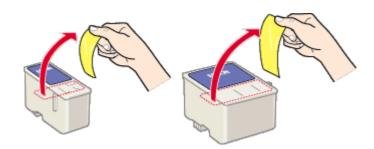
   本機で使用できるインクカートリッジの当社純正品は、以下のページでご確認ください。
   「インクカートリッジ型番と交換時のご注意」83

2. **本機の電源をオンにします。**

3. **インクがなくなった場合は、［カラーコピー］ボタンを押します。**
   インクが残り少ない場合、または十分にある場合は、［設定項目］スイッチを何回か押し、操作パネルに［インクカートリッジコウカン］と表示させてから、［カラーコピー］ボタンを押します。

   プリントヘッドが移動して、電源ランプが点滅します。

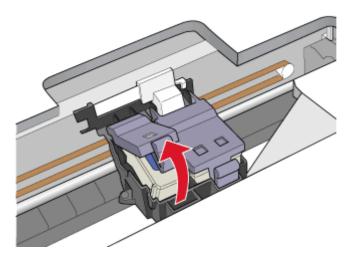
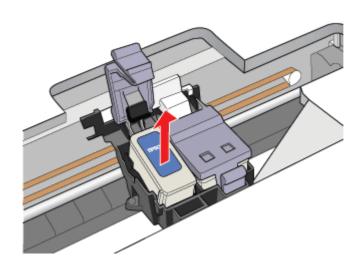
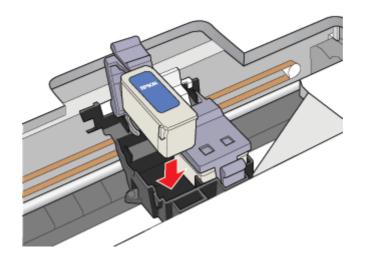
4. **スキャナユニットを開けます。**

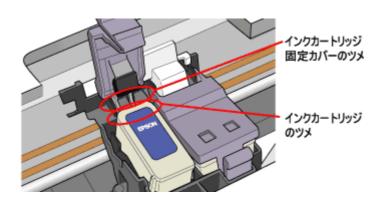
- **スキャナユニットの開閉の際には、指などを挟まないように注意してください。**
- **スキャナユニットの開閉は、原稿カバーを閉じた状態で行ってください。**
- **スキャナユニットを開く際は、原稿カバーの上に物を置かないでください。**

5. **新しいインクカートリッジを袋から取り出し、黄色いテープのみをはがします。**

（以降の説明は、黒インクカートリッジを交換する例です。カラーインクカートリッジも同じ手順で交換できます。）

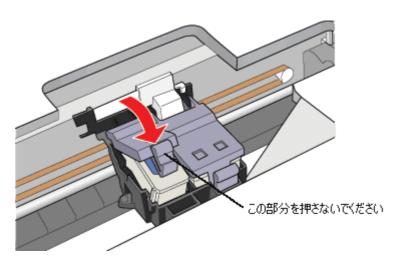
注意

- **黄色いテープは必ずはがしてください。はがさないままセットすると印刷できません。また、そのインクカートリッジは使用できなくなります。**
- EPSON **マークの印刷されたラベルは、絶対にはがさないでください。**EPSON **マークの印刷されたラベルをはがすと、インクの粘度が増し、プリントヘッドのノズルが目詰まりして印刷できなくなるおそれがあります。**
- **インクカートリッジ底面の透明フィルムは、はがさないでください。**

- インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。

6. インクカートリッジ固定カバーを引き上げます。

7. 古いインクカートリッジを取り出します。

8. 新しいインクカートリッジを図の向きに置きます。

注意

インクカートリッジのツメをインクカートリッジ固定カバーのツメの下にもぐらせないでください。固定カバーを破損するおそれがあります。

9. **インクカートリッジ固定カバーを倒し、インクカートリッジを固定します。**

固定する際には、多少力が必要です。

10. **スキャナユニットを閉じます。**

プリントヘッドが右に移動して、インクの充てんが始まります。

11. **インク充てんの終了を確認します。**

    インクの充てんには、約 1 分かかります。
    電源ランプの点滅が点灯に変わったら、インクの充てんは終了です。

注意

- インク充てん中（電源ランプの点滅中）は、絶対に電源をオフにしないでください。充てんが完全に行われず、印刷できなくなるおそれがあります。
- 取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付着している場合がありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

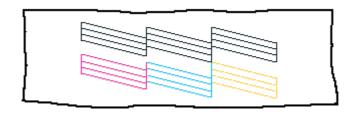
ポイント

インクカートリッジの回収にご協力ください
弊社では、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」をエプソン製品取扱い店に設置し、使用済みカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、最寄りの回収ポストまでお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。
最寄りの回収ポスト設置店舗は、エプソン販売のホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）でご案内しています。

以上でインクカートリッジの交換は終了です。

メンテナンス

ノズルチェックとヘッドクリーニング

インクはあるのに印刷がかすれたり、変な色で印刷されたりするときは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。ノズルチェック機能を使って、ノズルの目詰まりを確認してください。確認後、ノズルが目詰まりしている場合は、プリントヘッドをクリーニングしてください。

ノズルチェック	：	上図のパターンを印刷する機能で、そのパターンを見て、ノズルが目詰まりしていないかを確認します。
ヘッドクリーニング	：	ノズルが目詰まりしている場合に、インクの噴出と吸引を行うことによってプリントヘッド（ノズル）を清掃する機能です。インクが少しだけ消費されます。

ポイント

- インクが少なくなっているときは、ノズルチェックとヘッドクリーニングは行えません。まず、インクカートリッジを交換してください。
  「インクカートリッジの交換方法」86
- 本機は、ノズルチェックとヘッドクリーニングのほかに、自動メンテナンス機能でノズルの目詰まりを防止しています。
  「自動メンテナンス機能」94

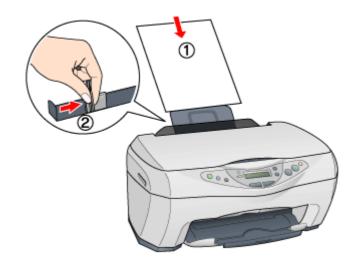
操作手順

ノズルチェックとヘッドクリーニングを行う方法は、２つあります。

- 「コンピュータで設定して行う」91
- 「操作パネルのスイッチ操作で行う」93

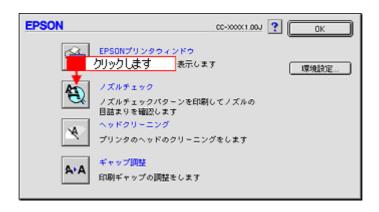
コンピュータで設定して行う

1. **本機の電源をオンにします。**

2. **A4 サイズの普通紙を複数枚、オートシートフィーダにセットします。**

3. **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

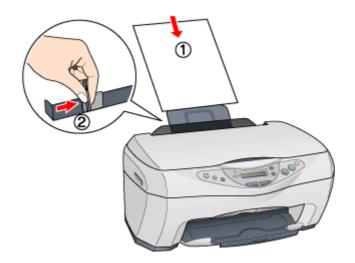
4. **ボタンをクリックします。**

5. **［ノズルチェック］ボタンをクリックします。**

6. **この後は、画面の指示に従って操作してください。**

ノズルチェックを行うと、ノズルの目詰まり状況を確認した後で、引き続きヘッドクリーニングを行えます。直接ヘッドクリーニングだけ行いたい場合は、［ヘッドクリーニング］ボタンをクリックしてください。

操作パネルのスイッチ操作で行う

ノズルチェック

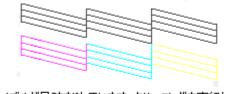
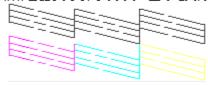
1. **A4 サイズの普通紙を複数枚、オートシートフィーダにセットします。**

2. **［メニュー］ボタン（左）を繰り返し押して、［ノズルチェック］と表示させます。**

3. **［カラーコピー］ボタンを押します。**

   ノズルチェックパターンが印刷されます。

4. **印刷されたノズルチェックパターンを確認します。**

   正常の例のようにすべてのラインが印刷されていれば、目詰まりしていません。
   かすれたり、印刷されないラインがある場合は、目詰まりしていますので、プリントヘッドをクリーニングします。次の手順にお進みください。

正常　ノズルは目詰まりしていません。印刷できます。

異常　ノズルが目詰まりしています。クリーニングを実行してください。

ヘッドクリーニング

1.　［メニュー］ボタン（左）を繰り返し押して、［ヘッドクリーニング］と表示させます。

2.　［カラーコピー］ボタンを押します。

電源ランプが点滅して、ヘッドクリーニングが約 1 分間行われます。電源ランプの点滅が点灯に変わったら、ヘッドクリーニングは終了です。

3.　ヘッドクリーニング後は、再度ノズルチェックを行って、ノズルの目詰まりが解消されたかをご確認ください。

自動メンテナンス機能

本機には、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷品質を得るための「セルフクリーニング機能」と「キャッピング機能」があります。

セルフクリーニング

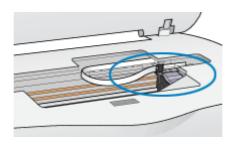
セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能で、印刷を開始するときなどに行われます。すべてのインクを微量吐出して、ノズルの乾燥を防ぎます。

セルフクリーニングが実行されているときに電源をオフにすると、クリーニングが終了してから電源が切れます。電源をオフにした後でも本機が動作しているときは、コンセントを抜かないでください。

キャッピング

キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。キャッピングは、次のタイミングで行われます。

- 印刷終了後（印刷データが途絶えて）、数秒経過したとき
- 印刷停止状態になったとき

キャッピング位置は本機の右端です。

キャッピングされていないときは、一度電源をオン・オフするとキャッピングされます。

注意

- キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。本機を使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることをご確認ください。
- 用紙が詰まったときやエラーが起こったときなど、キャッピングされていないまま電源をオフにした場合は、再度電源オンにしてください。しばらくすると、自動的にキャッピングが行われますので、キャッピングを確認した後で電源をオフにしてください。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。
- 電源がオンの状態で、コンセントを抜かないでください。キャッピングされない場合があります。

ギャップ調整

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷する「双方向印刷」をしている場合に、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、双方向の印刷位置（ギャップ）がズレている可能性があります。ギャップ調整機能を使って、双方向の印刷位置を調整してみてください。

ポイント

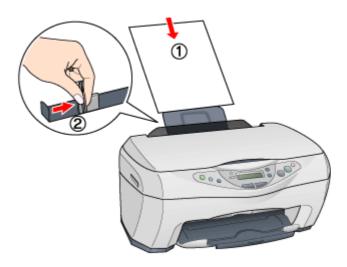
- 「双方向印刷」をする / しないは、プリンタドライバの［手動設定］画面 (Windows) / ［詳細設定］画面（Macintosh）で設定できます。
- 調整を始める前に、普通紙を数枚ご用意ください。

操作手順

ギャップ調整を行う方法は、２つあります。

- 「コンピュータで設定して行う」96
- 「操作パネルのボタン操作で行う」97

コンピュータで設定して行う

1. 本機の電源をオンにします。
2. A4 サイズの普通紙を複数枚、オートシートフィーダにセットします。

3. プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

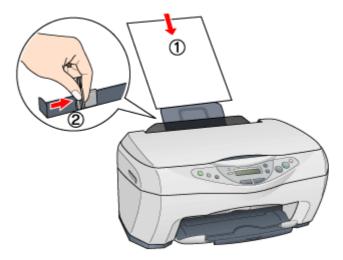
4. ボタンをクリックします。

5. ［ギャップ調整］ボタンをクリックします。

6. この後は、画面の指示に従って操作してください。

ギャップ調整用シートの印刷中は、本機の［ストップ］ボタンを押さないでください。印刷が正しく中止されない場合があります。

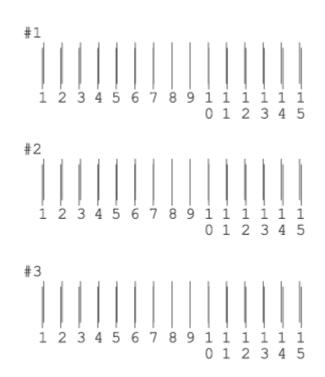
操作パネルのボタン操作で行う

1. A4 サイズの普通紙を複数枚、オートシートフィーダにセットします。

2. ［メニュー］ボタン（左）を繰り返押して、［ギャップチョウセイ］と表示させます。

3. **［カラーコピー］ボタンを押します。**

パターンが印刷されます。

4. **この後は、操作パネルの指示に従って操作してください。**

ギャップ調整シートの見方
それぞれ最もズレのない直線の番号を選択します。
下図の場合は、それぞれ「8」を選択します。

長期間使用しないときは

プリンタ部を長期間使用しないときは、インクカートリッジを取り付けたまま、水平な状態で保管してください。
なお、プリンタ部を長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥し、目詰まりを起こすことがあります。
ノズルの目詰まりを防ぐために、定期的に印刷していただくことをお勧めします。

注意

- インクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- 本機は傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で保管してください。

ポイント

長期間使用していない本機をお使いになる場合は

- ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドのノズルの状態を確認してください。ノズルチェックパターンがきれいに印刷できない場合は、ヘッドクリーニングをしてから印刷してください。
  「ノズルチェックとヘッドクリーニング」91
- ヘッドクリーニングを数回行わないと、ノズルチェックパターンが正常に印刷されないことがあります。ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に 5 回以上繰り返しても、ノズルの目詰まりが改善されない場合は、本機の電源をオフにして一晩以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングをしてください。時間をおくことによって、目詰まりしているインクが溶解し、正常に印刷できる場合があります。
- ヘッドクリーニングは、連続で行わず、ノズルチェックパターンと交互に行ってください。

本機のお手入れ方法

いつでも快適にお使いいただくために、以下の方法で本機のお手入れをしてください。

外装面のお手入れ

1. **本機から用紙を取り除きます。**
2. **電源をオフにして、電源ランプが消えてから電源プラグをコンセントから抜きます。**
3. **柔らかい布を使って、ほこりや汚れを注意深く払います。**

   本機外装面の汚れがひどいときは、中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふきとります。最後に、乾いた柔らかい布で水気をふきとります。

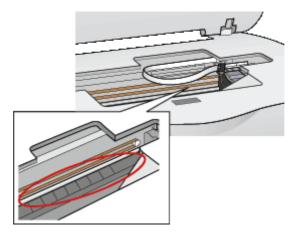
注意

- 内部に水気が入らないように、原稿カバーとスキャナユニットは閉めた状態でふいてください。内部が濡れると、電気回路がショートするおそれがあります。
- ベンジン・シンナー・アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。本機の表面や内部が変質・変形するおそれがあります。
- 硬いブラシを使用しないでください。本機表面を傷付けることがあります。

内部のお手入れ

1. **本機から用紙を取り除きます。**
2. **電源をオフにして、電源ランプが消えてから電源プラグをコンセントから抜きます。**
3. **スキャナユニットを開けて、よく絞った布で本機の内部をふきます。このとき、インクの吸収部分（スポンジ）、キャリッジ周辺部分およびプリントヘッド周りは絶対にふかないでください。**

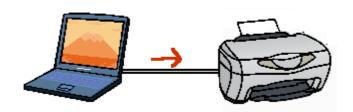
注意

- 内部の用紙送り部分をふく場合には、突起物がありますので、けがをしないよう注意してふいてください。

- プリントヘッド手前の金属部分には、帯状の油（グリス）が塗布されています。使用しているうちに黒くなってきますが、ふき取らずにそのままの状態でお使いください。
- 白いケーブルには、手を触れないでください。

各ソフトウェアのご案内

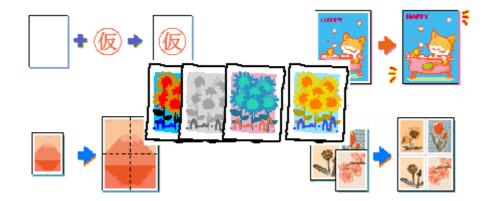
プリンタドライバとは？

本機をお使いいただくためにはプリンタドライバをコンピュータにインストールする（組み込む）必要があります。
プリンタドライバの主な働きは次の通りです。

プリンタドライバは、印刷の際にコンピュータから受け取った印刷データを本機に送ります。

プリンタドライバの設定画面では、印刷方向や用紙サイズなどの印刷条件の設定ができます。

便利な機能がたくさん搭載されています。

本機のプリンタドライバには上記のような基本的な機能のほかに、「画像を最適に補正して印刷する機能」や「縮小して印刷する機能」「マークを重ねて印刷する機能」などの便利な機能がたくさん搭載されています。エプソンプリンタの機能をフルに活用いただけるよう、本機専用のプリンタドライバのご使用をお勧めします。

「写真を自動補正して印刷（オートフォトファイン !5）」31
「拡大 / 縮小印刷」54

ポイント

いろいろな改良が加えられた最新のプリンタドライバをお使いいただくことで、さらに快適に印刷ができるようになる場合もあります。必要に応じてご確認ください。

「最新ソフトウェアの入手方法」265

プリンタドライバの選択方法

印刷を実行する前に、[セレクタ] で、本機用のプリンタドライバを選択しておく必要があります。以下の手順に従って、プリンタドライバを選択してください。なお、一度選択すれば、本機を使っている限り、再選択する必要はありません。

プリンタドライバのインストール後に選択した場合は、ここでの作業は必要ありません。

操作手順

1. **コンピュータと本機がケーブルでしっかり接続されていることを確認して、本機の電源をオンにします。**

2. **[アップル] メニューをクリックして、[セレクタ] をクリックします。**

3. **本機のアイコンをクリックし、[USB ポート] が選択されていることを確認します。**

ポイント

- [USB] ポートが表示されない場合は、本機の電源がオンになっていない、またはケーブルがしっかり接続されていない可能性がありますので、再度ご確認ください。
- [バックグラウンドプリント] の [入] をチェックすると、印刷中に、文書作成や画像編集など別の作業ができるようになります。
  「バックグラウンドプリントの設定」110

4. **画面左上の □ ボタンをクリックして、画面を閉じます。**

これ以降は、本機を使って印刷ができるようになります。

プリンタドライバの設定画面を表示する方法

プリンタドライバの設定画面は、以下の 2 種類があり、それぞれ表示する手順が異なります。

- 「[印刷] 画面を表示する」105
  印刷品質に関する設定をする画面です。
- 「[用紙設定] 画面を表示する」105
  用紙設定に関する設定をする画面です。

お使いのアプリケーションソフトによって、画面を表示する手順が異なる場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

[印刷] 画面を表示する

[印刷] 画面を表示するときは、次のようにします。

1. アプリケーションソフトで、[ファイル] メニューをクリックして、[印刷](または [プリント] など)をクリックします。

[印刷] 画面が表示されます。

[用紙設定] 画面を表示する

[用紙設定] 画面を表示するときは、次のようにします。

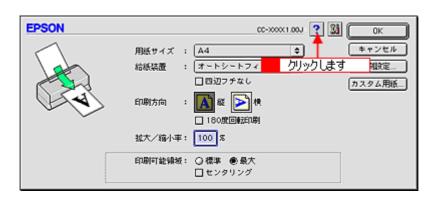
1. アプリケーションソフトで、[ファイル] メニューをクリックして、[用紙設定] (または [プリント] など) をクリックします。

［用紙設定］画面が表示されます。

各画面の説明

プリンタドライバの各画面、各項目の説明は、「ヘルプ」をご覧ください。

ヘルプの表示方法

1. プリンタドライバ画面の右上にある ? ボタンをクリックしてください。

ヘルプが表示されます。

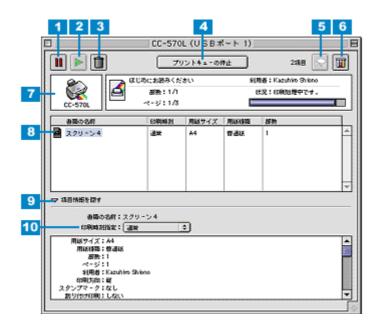
印刷状況を確認する画面

EPSON Monitor IVで印刷状況を確認することができます。

EPSON Monitor IV

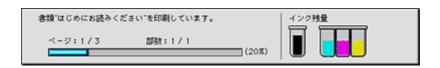
EPSON Monitor IVは、現在印刷している書類やこれから印刷する書類を確認したり、印刷を中止したりすることができます。
EPSON Monitor IVを表示するには、印刷中に画面右上のアプリケーションメニューから［EPSON Monitor IV］を選択します。印刷していないときは、機能拡張フォルダにある［EPSON Monitor IV］アイコンをダブルクリックします。

ポイント

- EPSON Monitor IVを使用する場合は、バックグラウンドプリントを［入］にしておく必要があります。
  「バックグラウンドプリントの設定」110
- 機能拡張フォルダは、［システムフォルダ］内の［機能拡張］アイコンをダブルクリックして開きます。

1	ボタン	印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から選択された印刷データを一時保留状態にするボタンです。
2	ボタン	保留状態を解除するボタンです。印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から保留状態になっているデータを選択して、ボタンをクリックしてください。
3	ボタン	印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から選択された印刷データを削除するボタンです。
4	［プリントキューの停止］	印刷の停止と解除（開始）を選択します。［プリンタキューの停止］を選択すると、すべての印刷を停止します。（印刷データは、Macintosh を終了してもすべて保持されます。）この場合、［プリントキューの開始］を選択することで、印刷が開始されます。
5	ボタン	プリントヘッドのノズルをクリーニングするボタンです。印刷中は実行できません。
6	ボタン	インク残量モニタを表示するボタンです。
7	状態表示部	印刷中の書類の名称や進行状況などが表示されます。
8	スプールファイルリスト	印刷待ちの書類が表示されます。

9	項目情報を隠す / 表示	チェックすると、項目情報（画面下部の表示）の表示 / 非表示を切り替えることができます。	
10	項目情報	状態表示部またはスプールファイルリストから選択した書類の名称やプリンタドライバの設定状況などが表示されます。「印刷時刻指定」では、[至急]［通常]［保留］[印刷時刻指定]を選択でき、印刷の順番を指定することができます。	
		至急	プリントキュー内のほかの印刷データより優先して印刷する場合に選択します。
		通常	プリントキューに記憶された順番で印刷する場合に選択します。
		印刷時刻指定	印刷を実行する日時を指定することができます。
		保留	印刷データをプリントキューに記憶した状態のままにする場合に選択します。

ポイント

バックグラウンドプリントを［切］に設定してある場合は、以下の画面が表示されます。印刷の進行状況とインクの残量のみ表示されます。

バックグラウンドプリントの設定

バックグラウンドプリントとは、印刷しながら、ほかのアプリケーションソフトを使えるようにする印刷処理のことです。バックグランドプリントの設定を［入］にすると、印刷中に文書作成や画像編集など別の作業ができるようになります。また、EPSON Monitor IVが有効になります。

「EPSON Monitor IV」108

バックグラウンドプリントを設定するには、以下の２つの方法があります。

バックグラウンドプリントを行うと、Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷に時間がかかる場合があります。

バックグラウンドプリントの設定 1

1. ［アップル］メニューをクリックして、［セレクタ］をクリックします。

2. 「バックグラウンドプリント」を［入］にします。

3. 画面左上の □ ボタンをクリックして、画面を閉じます。

以上で、バックグラウンドプリントの設定は終了です。

バックグラウンドプリントの設定 2

1. プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

2. ボタンをクリックします。

3. 「バックグラウンドプリント」を［入］にして、［OK］ボタンをクリックします。

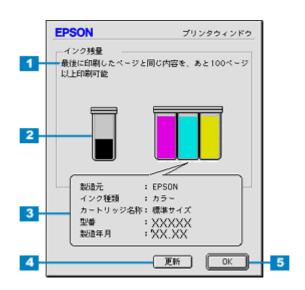
以上で、バックグラウンドプリントの設定は終了です。

EPSON プリンタウィンドウとは？

EPSON プリンタウィンドウとは、コンピュータの画面で、本機の稼動状況などを確認できるユーティリティソフトです。インク切れなど、エラーが発生するとエラー箇所を示すイラストを表示して、適切な対処方法をお知らせします。

画面の表示方法

「本機の状態を画面で確認」116

画面の説明

1	印刷可能枚数の表示	インク残量が 50%以下になった場合に、最後に印刷したページの印刷可能枚数の目安が表示されます。
2	インク残量	インク残量の目安が表示されます。カラーインクは、一番少ないインクに合わせて全色同じレベルで表示されます。
3	インクカートリッジ情報	画面上のインクカートリッジをクリックすると、セットされているインクカートリッジの型番や製造年月日などの情報が表示されます。印刷実行時などには表示されません。
4	[更新]	本機の最新の情報を取得する場合に、クリックします。
5	[OK]	EPSON プリンタウィンドウを終了する場合に、クリックします。

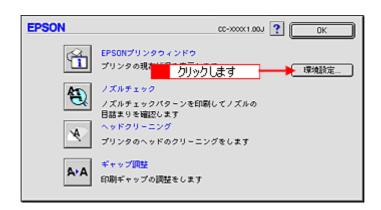
EPSON プリンタウィンドウの設定

EPSON プリンタウィンドウの環境を設定する方法をご説明します。
どのような場合にエラー表示するか、音声通知するかなどを設定できます。

1. プリンタドライバの設定画面（[印刷] 画面または [用紙設定] 画面）を表示します。

「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

2. ボタンをクリックします。

3. [環境設定] ボタンをクリックします。

4. 各項目を設定して、[OK] ボタンをクリックします。

1	エラー通知	本機で発生したエラーの通知方法を選択します。
2	警告通知	警告の通知方法を選択します。
3	スプールファイル保存フォルダ	印刷データを一時的に保存しておくためのフォルダを変更する場合は［選択］ボタンをクリックします。
4	コピー印刷ファイル保存フォルダ	同じ印刷データを複数枚印刷する際に、一時的に印刷データを保存しておくためのフォルダを変更する場合は、［選択］ボタンをクリックしてください。
5	印刷データをハードディスクに保存した後、プリンタに送信する	チェックすると、印刷データをハードディスクに一旦保存してから、プリンタに送信します。同じデータを複数部印刷する場合に印刷速度が向上することがあります。また、動作の遅い Macintosh でご使用いただくと、印字中に一時的にプリントヘッドが停止するようなことが回避され、印字品質の低下を防ぐことができます。
6	印刷前にエラーを確認する	印刷を実行する前に、プリンタでエラーが発生していないかどうかを確認する場合は、チェックします。
7	印刷前にインクニアエンドを確認する	印刷を実行する前に、インク残量が少ないかどうか確認する場合は、チェックします。
8	初期状態に戻す	設定値を初期の状態に戻す場合にチェックします。
	［OK］	環境設定を保存して終了する場合にチェックします。

以上で、EPSON プリンタウィンドウの設定は終了です。

プリンタ部の基本操作

電源のオンとオフ

本機の電源は、［電源］ボタンでオン／オフします。

電源のオン／オフは必ず［電源］ボタンで行ってください。電源がオンの状態で電源プラグを抜くなどすると、終了処理が行われず、正常に印刷できなくなる場合があります。

電源オン

［電源］ボタンを押すと電源がオンになり、電源ランプが点灯します。

電源オフ

［電源］ボタンを押すと電源がオフになり、電源ランプが消灯します。

電源をオフにしても電源ランプが点滅している場合がありますが、これは終了処理をしている状態ですので、数秒間お待ちいただければ電源ランプは消灯します。

本機の状態を画面で確認

本機が印刷できる状態か、インク残量はどのくらいか、エラー状態になっていないかなどを、コンピュータの画面で確認することができます。
以下の手順で、確認画面を表示させてください。

確認画面の表示方法

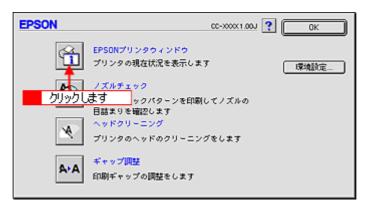
1. **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

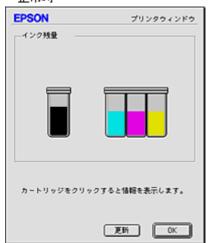
   「プリンタドライバの設定画面を表示する方法」105

2. **ボタンをクリックします。**

   ［ユーティリティ］画面が表示されます。

3. **［EPSON プリンタウィンドウ］をクリックします。**

   EPSON プリンタウィンドウが表示されます。

4. **本機の状態を確認します。**

正常時

エラー時

エラー状態になっている場合は、表示されているメッセージに従ってエラーを解除してください。

印刷の中止方法

印刷を中止したいと思ったときは、どちらかの操作を行ってください。

- コンピュータの画面上から印刷を中止する
  「コンピュータから印刷を中止する」118
- 本機の操作パネルの［ストップ］ボタンを押す
  「操作パネルの［ストップ］ボタンで印刷を中止する」118

操作パネルの［ストップ］ボタンで印刷を中止する

操作パネルの［ストップ］ボタンを押します。

本機は印刷を中止して、印刷中の用紙を排紙します。

ポイント

- コンピュータ内に印刷待ちのデータが蓄積されている場合、それらは削除されません。蓄積されているデータを削除したい場合は、「印刷待ちデータを削除する」をご覧ください。
- 印刷を実行したアプリケーションソフトの仕様や、印刷中のデータの種類によっては、ページ単位でしか印刷が中止されない場合があります。また、連続して印刷を実行している場合などは、印刷処理中のデータも併せて削除される場合があります。
- ギャップ調整用シートの印刷中は、本機の［ストップ］ボタンを押さないでください。印刷が正しく中止されない場合があります。
- 「キャンセルチュウ」の表示が消えないときは、本機の電源を一旦オフにするか、コンピュータから印刷を実行してください。

コンピュータから印刷を中止する

バックグラウンドプリント使用時の場合

バックグラウンドプリントプリントを［入］に設定している場合は、画面上に表示される EPSON Monitor IVを使用して印刷を中止します。

1. **アプリケーションメニューから［Monitor IV］を選択します。**

   EPSON Monitor IVの画面が表示されます。

2. **印刷文書のアイコンをクリックして、 ボタンをクリックします。**

画面上に印刷キャンセルに関するダイアログが表示された場合は、画面の表示に従ってください。これで印刷が正常に止まります。

ポイント

- 印刷待ちのデータを削除したい場合は、削除したいデータを選択して、 をクリックします。

- コンピュータの画面上で［印刷中止］ボタンをクリックしても、すでにプリンタ側に送られてしまったデータは削除できません。このため、何らかの理由により文字化け（意味不明な文字列の連続印刷）などが発生した場合は、印刷が止まらないことがあります。このような場合は、操作パネルの［ストップ］ボタンを押して印刷を中止してください。

バックグラウンドプリント未使用の場合

バックグラウンドプリントを使用していない場合は、Macintosh の機能を使用して印刷を中止します。

1. **コマンド（⌘）キーを押しながらピリオド（.）キーを押します。**

画面上に印刷キャンセルに関するダイアログが表示された場合は、画面の表示に従ってください。これで印刷が正常に止まります。

その他の情報

使用できる用紙

EPSON では、お客様のさまざまなご要望にお応えできるよう各種用紙をご用意しております。市販の普通紙にも印刷することはできますが、よりきれいに印刷するためには、EPSON 専用紙のご使用をお勧めします。
以下では、本機で印刷できる EPSON 専用紙と市販用紙についてご説明します。

A4/L 判サイズなどの用紙 ： 「EPSON 専用紙」120
「市販用紙」121
ハガキ ： 「EPSON 専用ハガキ」122
： 「官製ハガキ」122
封筒 ： 「封筒」122

A4/L 判サイズなどの用紙

EPSON 専用紙

注意
一部専用紙に同梱されている「クリーニングシート」は、本機では紙送りの機構上ご使用になれません。

写真用紙

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
PM 写真用紙＜光沢＞	長期間色あせにくい高品質な写真を印刷できます。つややかに仕上がるのでデジタルカメラで撮った記念写真などをアルバムに入れたり、フォトフレームに入れて飾ったりと、まさに写真として使えます。	L 判	20	KL20PSK
			50	KL50PSK
			100	KL100PSK
		2L 判	20	K2L20PSK
		A4	20	KA420PSK
			50	KA450PSK
			250	KA4250PSKN
PM 写真用紙＜半光沢＞	長期間色あせにくい高品質な写真を印刷できる光沢感をおさえた写真用紙です。アルバムやフォトフレームに入れて飾ったり、グラフィックアートのプリントに使ったりと幅広い使い方ができます。	L 判	20	KL20MSH
		2L 判	20	K2L20MSH
PM/MC 写真用紙＜半光沢＞		A4	20	KA420MSH

光沢紙

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
光沢紙	デジタルカメラで撮った写真や CG などの作品を印刷するのに適した厚口タイプの光沢紙です。	A4	20	KA420GP
			50	KA450GP
			100	KA4100GP

光沢フィルム

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
スーパーファイン専用光沢フィルム	写真高画質を美しく実現する専用光沢フィルムです。破れにくく、写真や CG 作品などが豊かな質感に仕上がります。	A6	10	MJA6CP1
		A4	20	MJA4SP6

マット紙

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
PM マット紙	しっかりとした厚みのあるマットタイプの高耐光紙です。光沢のない落ち着いた質感で、写真やカレンダー、POP、ペーパークラフトなどの作成に適しています。	A4	50	KA450PM
スーパーファイン紙	デジタルカメラで撮影した写真や CG 作品、写真 / グラフ入りの文書の印刷に適した専用紙です。	A4	100	KA4100NSF
			250	KA4250NSF

普通紙

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
上質普通紙	ビジネス文書の大量印刷やホームページの印刷などに適したインクジェット用の普通紙です。細かい文字や罫線なども、にじみを押さえくっきり鮮明に印刷できます。 両面上質普通紙は、古紙 100% 配合の再生紙です。	A4	250	KA4250NP
両面上質普通紙 ＜再生紙＞		A4	250	KA4250NPD

特殊用紙

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
ミニフォトシール	自分で撮った写真やイラストを使って、ハガキサイズに 16 分割の楽しいオリジナルシールを作ることができます。 ※ハガキサイズ 16 分割シールに対応したアプリケーションソフトが必要です。	ハガキサイズ（16 分割）	5	MJHSP5
アイロンプリントペーパー	印刷した写真やイラストを、アイロンを使って衣類などに転写可能な特殊用紙です。 ※転写できる素材は、「綿 100%」または「綿 50%以上の混紡」です。	A4	5	MJTRSP1
フォト光沢名刺カード	写真高画質の四辺フチなし全面印刷であなただけのオリジナル名刺が作れます。A4 に 8 面の名刺を印刷することができます。 ※片面印刷用。ミシン目つき。	A4 サイズ（8 分割）	10	KNC10PP
スーパーファイン専用ラベルシート	オリジナルのステッカーが手軽に作ることができる、裏面糊付きのラベルシールです。好きな形に切り取れるノーカットタイプです。 ※全面シールです。ミシン目はありません。	A4	10	MJA4SP5

市販用紙

一般に販売されているコピー用紙、事務用普通紙をご利用ください。

注意

坪量 64 〜 90g/m^2、厚さ 0.08 〜 0.11mm の範囲のものをご使用ください。

ハガキ

EPSON 専用ハガキ

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
フォト・クォリティ・カード 2	デジタルカメラで撮った写真やイラストを使ったハガキの印刷に適した色あせにくい光沢ハガキです。宛名面には郵便番号枠が印刷済みです。	ハガキ	20	PMHSP1
スーパーファイン専用ハガキ	デジタルカメラで撮影した写真入りのハガキ印刷に適した光沢のないハガキです。	ハガキ	50	MJSP5
写真用紙<半光沢>はがき	写真そのものの美しい仕上がりになるハガキです。	ハガキ	20	KH20MSH

注意

一部のエプソン製ハガキに同梱されている「クリーニングシート」は、本機では紙送りの機構上ご使用になれません。

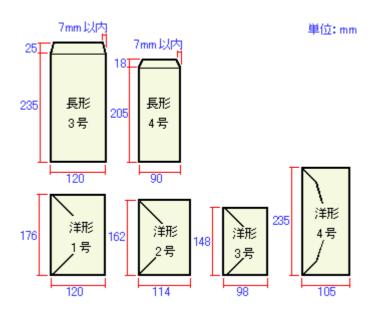
官製ハガキ

一般の官製ハガキをご利用ください。インクジェット対応の官製ハガキもご利用できます。

注意

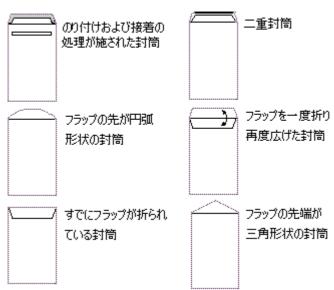
- 往復ハガキの場合は、中央に折り跡のないものをお使いください。
- 市販の再生紙ハガキなどは、正常に給紙できないおそれがあります。

封筒

本機で印刷できる封筒のサイズは、以下の通りです。

ポイント

- 上記の封筒であってもフラップの長さが異なる封筒をご使用の場合は、ユーザー定義サイズで封筒のサイズを設定してから印刷してください。ユーザー定義サイズで封筒のサイズを設定する場合、用紙の長さはフラップを含めた長さに設定してください。
  「定形サイズ以外の用紙に印刷」39
- ふくらんでいる封筒は、よくしごいて、ふくらみを取り除いてからご使用ください。

注意

- ご利用の封筒によっては、上記の定形サイズの封筒またはユーザー定義サイズで設定した封筒で印刷したにもかかわらず、印刷開始位置がずれることがあります。印刷前には必ず試し印刷することをお勧めします。試し印刷をして印刷開始位置がずれる場合は、アプリケーションソフトで余白の設定を調整してください。
- 印刷可能なサイズの封筒であっても、以下の封筒はご使用になれません。無理にご使用になると、給紙機構に悪影響を及ぼすおそれがありますので、絶対にご使用にならないでください。

用紙別プリンタドライバ設定一覧

各用紙によって、プリンタドライバの［用紙種類］の設定が異なります。以下をご確認ください。

「A4/L 判サイズなどの用紙」124
「ハガキ」125
「封筒」125

A4/L 判サイズなどの用紙

セットした用紙	プリンタドライバ設定 ［用紙種類］
PM 写真用紙＜光沢＞	PM 写真用紙
PM 写真用紙＜半光沢＞	
PM/MC 写真用紙＜半光沢＞	
光沢紙	EPSON 光沢紙
スーパーファイン専用光沢フィルム	専用光沢フィルム
PM マット紙	PM マット紙
スーパーファイン紙	EPSON スーパーファイン紙
上質普通紙	普通紙
両面上質普通紙	普通紙
ミニフォトシール	専用光沢フィルム
アイロンプリントペーパー	アイロンプリントペーパー
フォト光沢名刺カード	EPSON 光沢紙
スーパーファイン専用ラベルシート	EPSON スーパーファイン紙
一般に販売されているコピー用紙、事務用普通紙	普通紙

ハガキ

セットした用紙		用紙種類
官製ハガキ		普通紙
官製ハガキ（インクジェット紙）	宛名面	普通紙
	通信面	官製ハガキ（インクジェット紙）
フォト・クオリティ・カード 2	宛名面	普通紙
	通信面	EPSON 光沢紙
スーパーファイン専用ハガキ	宛名面	普通紙
	通信面	EPSON スーパーファイン紙
写真用紙＜半光沢＞はがき	宛名面	普通紙
	通信面	PM 写真用紙

封筒

［普通紙］を選択してください。

印刷後の用紙の保存方法

印刷後は、変色を防ぐために以下の内容を参考にして正しい展示・保存を行ってください。正しい展示・保存を行うことによって、印刷直後の色合いを長期間保つことができます。

ポイント

- 一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）していきます。エプソン製専用紙も同様ですが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができます。
- 各専用紙の詳しい印刷後の取り扱い方法は、専用紙のパッケージに添付されている取扱説明書をご参照ください。

乾燥方法

乾燥していない状態でアルバムなどに保存するとにじみが発生することがありますので、印刷後は印刷面が重ならないように注意して、十分に乾燥させてください。すべての印刷物を広げて乾燥させるスペースがない場合は、重ねて乾燥させることも可能ですが、その場合はまずそれぞれを 15 分程度乾燥させた後、必ず吸湿性のあるコピー用紙などを一枚ずつ印刷面に挟んで乾燥させてください。

注意

- ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。
- 直射日光に当てないでください。

保存・展示方法

乾燥後は、以下の説明を参照して速やかに保存・展示を行ってください。

クリアファイルやアルバムに入れ、暗所で保存

光や空気を遮断することで変色の度合いを極めて低く抑える、一番良い保存方法です。

ガラス付き額縁に入れて展示

空気を遮断する展示方法で、変色の度合いを抑えることができます。

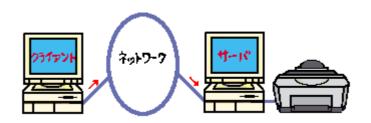
ポイント

- クリアファイルは、用紙よりも大きいサイズのものをご使用ください。
- 光沢フィルム・ミニフォトシールは、印刷面にシートが密着するタイプのアルバムなどには入れないでください。印刷結果がにじむ場合があります。間紙を挟んでクリアファイルに入れてください。

注意

- ガラス付き額縁などに入れた場合も、屋外での展示は避けてください。
- 写真現像室など化学物質がある場所での保存・展示は避けてください。

ネットワークでプリンタを共有する方法

ネットワーク環境が整っている場合は、本機をネットワーク上で共有プリンタとしてお使いいただくことができます。以下のイラストで示すように、インターフェイスカードやネットワークサーバを使用することなくプリンタをネットワーク上で共有する接続形態を「ピアトゥピア接続」と呼びます。ここでは、本機を直接接続し、ほかのユーザーに共有させるコンピュータをプリントサーバと呼び、そのプリンタを利用するユーザーをクライアントと呼びます。

ポイント

以下の手順は、各コンピュータにプリンタドライバがインストールされていることを前提に記述しています。

プリントサーバ機の設定

「プリントサーバ機の設定」129

クライアント機の設定

「クライアント機の設定」131

プリントサーバ機の設定

設定手順

Macintosh が稼動するプリントサーバ機を設定する場合は、以下の手順に従ってください。

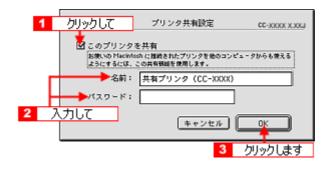
1. ［アップル］メニューから［セレクタ］をクリックします。

2. 本機のアイコンをクリックしてから［設定］ボタンをクリックします。

ポイント

- ［Apple Talk］の設定が［使用］になっていることを確認してください。
- Apple Talk ゾーンの一覧は、ネットワーク上でゾーンを設定している場合に表示されます。プリンタを接続したゾーンを選択してください。

3. ［このプリンタを共有］チェックして、［OK］ボタンをクリックします。

   ［名前］は、ネットワーク上で表示される名称です。
   パスワードを入力するとほかのコンピュータから共有プリンタに接続する際にパスワードの入力が必要になります。

4. **画面左上の □ ボタンをクリックして画面を閉じます。**

これでプリンタを共有するためのプリントサーバ機の設定は完了です。

続いて各クライアント機を設定してください。

「クライアント機の設定」131

クライアント機の設定

共有された本機を利用する場合は、以下の手順に従ってください。

設定手順

1. ［アップル］メニューから［セレクタ］をクリックします。

2. 本機のアイコンをクリックして、［ポートを選択］の一覧に表示されている共有設定をしたプリンタ（CC-XXXX）をクリックして選択します。

 ［Apple Talk］ゾーンが複数存在する場合は、目的のプリンタが接続された Macintosh を含む［Apple Talk］ゾーンを選択してください。

ポイント

- ［Apple Talk］の設定が［使用］になっていることを確認してください。
- プリンタの名称が変更されている可能性があります。プリンタを直接接続しているコンピュータで名称を確認してください。
- 以下の画面が表示された場合は、パスワードを入力して［OK］ボタンをクリックします。パスワードが不明な場合は、プリントサーバの設定をされた方にご確認ください。

3. **画面左上の □ ボタンをクリックして画面を閉じると、設定は終了です。**

ポイント

上の画面で［情報］ボタンをクリックすると、お使いの Macintosh（クライアント側）にはインストールされていて、プリンタを直接接続している Macintosh（プリントサーバ側）にはインストールされていないフォントや本機で印刷することのできないフォントが表示されます。印刷するデータによってはフォントが置き換わり、レイアウトなど見た目が変わることがあります。

以上でクライアント機の設定は終了です。

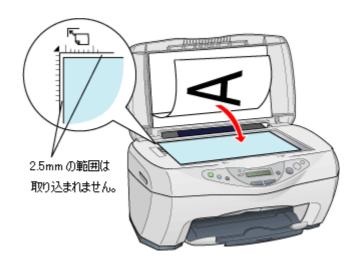
写真、雑誌など（反射原稿）の取り込み

写真、雑誌など（反射原稿）の取り込みの流れ

ここでは、付属のソフトウェア PhotoImpression を使った、写真、雑誌（反射原稿といいます）の取り込みの流れを説明します。

ここでは、取り込みの流れのみを説明しています。それぞれの手順の詳細は、各リンク先を参照してください。

1. 取り込む原稿を用意して、原稿台にセットします。

「写真、雑誌など（反射原稿）のセット」136
「使用できる原稿」138

2. TWAIN 対応のアプリケーションソフト（PhotoImpression など）を起動してから、TWAIN を起動します。

「EPSON TWAIN の起動」139

3. 全自動モードまたはマニュアルモードで原稿を取り込みます。

「全自動モードでの取り込み」142
「マニュアルモードでの取り込み」145

4. **取り込んだ画像を保存します。**

「取り込んだ画像の保存」152

以上で、基本的な取り込みの流れの説明は終了です。

添付の TWAIN 対応アプリケーションソフトについて

本機は、TWAIN 対応の画像処理アプリケーションソフトから画像を取り込むことができます。

本機には、次の TWAIN 対応アプリケーションソフトが付属しています。目的に合わせてご利用ください。

アプリケーションソフト名	説明
EPSON SMART PANEL	操作パネルの［スキャナビ］ボタンを押すと起動するアプリケーションソフトです。用途に応じて機能を選択することができます。簡単な操作で取り込んだ画像を活用することができます。
ArcSoft PhotoImpression	カードやカレンダーなどが簡単に作成できる画像加工アプリケーションソフトです。
読ん de!! ココ パーソナル	読み取った原稿から、文字データを抽出することのできるアプリケーションソフトです。

Adobe Photoshop や Paint Shop Pro、Imaging など、一般的な TWAIN 対応アプリケーションソフトを使用して画像を取り込むこともできます。

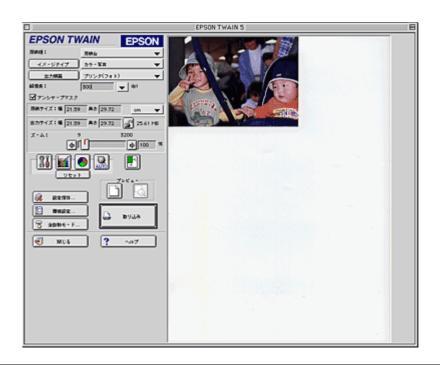
TWAIN について

TWAIN とは、スキャナなどの画像入力機器と、それを制御するアプリケーションソフトとの情報のやりとり（インターフェイス）に関する標準規格です。

TWAIN 対応のアプリケーションソフト（PhotoImpression など）と、TWAIN 対応のスキャナ（本機など）および専用ドライバ（EPSON TWAIN など）の組み合わせであれば、どのアプリケーションソフトからどの機種のスキャナでも同様の操作で扱うことができます。

EPSON TWAIN について

本機は、「EPSON TWAIN」という専用ドライバ（TWAIN 対応ドライバ）によってコンピュータから制御されます。

TWAIN 対応アプリケーションソフトから画像取り込みの指示をすると、EPSON TWAIN が起動し、指定された条件で画像の取り込みを行います。画面はマニュアルモードで EPSON TWAIN が起動した場合の例です。

ポイント

原稿をスキャナで取り込む際の各種の条件も、EPSON TWAIN の画面で設定します。

写真、雑誌など（反射原稿）のセット

ここでは、写真、雑誌など（反射原稿）のセット方法を説明します。

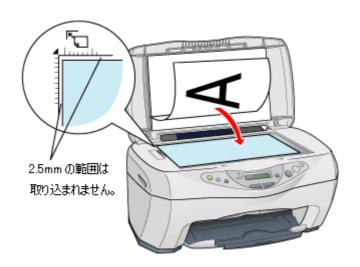
注意

- 原稿台や原稿カバーには強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- スキャナユニットを開いている時は、原稿カバーを開けないでください。また、画像の取り込み中はスキャナユニットを開けないでください。不具合や故障の原因となります。

1. **原稿カバーを開き、原稿の取り込む面を下に向け、原稿台にセットします。**

原稿の中央を原稿台の中央に合わせてセットします。

ポイント

- 原稿台の左端および上端から 2.5mm の範囲は取り込まれません。
  「使用できる原稿」138
- 原稿台よりも大きい原稿のセット方法については、以下の項目を参照してください。
  「原稿台よりも大きい原稿のセット」136

2. **原稿が動かないよう注意しながら、原稿カバーを静かに閉じます。**

原稿カバーは、静かに閉じてください。原稿が動くと、画像が斜めに取り込まれてしまいます。

注意

写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま長期間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。

ポイント

- 取り込み面が平らな原稿を使用してください。取り込み面がゆがんでいると、取り込んだイメージもゆがみます。
- 原稿台のガラス面はいつもきれいにしておいてください。
- 原稿を強く押さえつけないでください。強く押さえつけると、取り込んだ画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。

以上で原稿のセットは終了です。

原稿台よりも大きい原稿のセット

原稿台よりも大きい原稿や、本などの厚い原稿を取り込むときは、原稿カバーを外して原稿をセットすることができます。

1. **原稿カバーを開けて、上に持ち上げて取り外します。**

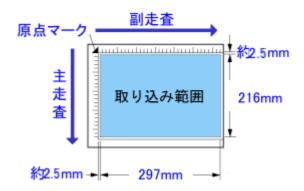
2. **原稿を静かにセットします。**

ポイント

- 原稿カバーを外した状態で原稿をセットするときは、原稿を上から押さえて原稿台に密着させ、横から光が入らないようにしてください。
- 原稿を押さえるときは、原稿が動かないように、また力を加えすぎないように注意してください。

使用できる原稿

使用できるサイズ

最大 A4 サイズまでの大きさの原稿を取り込むことができます。
原稿台の左上端から 2.5mm の範囲は取り込まれません。

主走査：キャリッジ上のセンサで読み取る画素の 1 ラインごとの読み取り方向
副走査：キャリッジの移動による読み取り方向

ポイント

- 取り込み範囲を越えるサイズの原稿をセットした場合、下端および右端が黒ずむ場合があります。
- 図面のように直行する線の多い原稿や、直線の多いイラストを取り込むときは、線の向きを主走査または副走査にそろえるようにして原稿をセットすると、線のギザギザが少なくなります。

原稿の条件について

本機で写真や雑誌などの反射原稿（光を反射する原稿）を取り込む場合、原稿の種類によってはうまく取り込めないこともあります。以下の点にご注意ください。

- 写真や印刷物など、表面が平らで滑らかな原稿を使用してください。
- 貼り付けなどで表面に段差がある原稿を取り込んだ場合、段差のところに色にじみやゆがみが生じることがあります。また、厚みのある原稿を取り込んだ場合も、にじみが生じることがあります。
- OHP シートを取り込む場合、下に白い用紙を置いて原稿がはっきり見えるように書かれていれば、取り込むことができます。
- 原稿が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りして取り込まれることがあります（黒い紙を原稿の裏側に重ねて取り込むと、改善できる場合があります）。

EPSON TWAIN の起動

ここでは、付属の TWAIN 対応アプリケーションソフト PhotoImpression を使って、EPSON TWAIN を起動する方法を説明します。

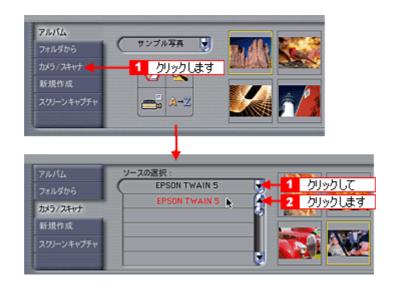
ポイント

- PhotoImpression の使い方について詳しくは、PhotoImpression のヘルプをご覧ください。
- Adobe Photoshop や Paint Shop Pro など、一般の TWAIN 対応アプリケーションソフトからも EPSON TWAIN を起動することができます。一般的には、［ファイル］メニューの［読み込み］や［インポート］で［EPSON TWAIN 5］を選択します。詳しくは、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

1. PhotoImpression を起動します。

デスクトップ上の ［PhotoImpression］アイコンをダブルクリックします。

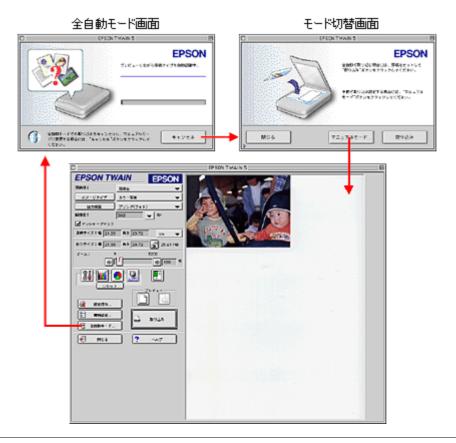
2. 起動する TWAIN データソースを選択します。

本機で使用する TWAIN データソースは［EPSON TWAIN 5］です。

ポイント

TWAIN のデータソースが複数表示された場合は、［EPSON TWAIN 5］を選択してください。EPSON TWAIN 5 をご使用いただくと、本機の能力を最大限に活かすことができます。

3. EPSON TWAIN を起動します。

4. **EPSON TWAIN を起動すると、EPSON TWAIN 画面が表示されます。**

初期設定では、「全自動モード」が起動します。
EPSON TWAIN では、「全自動モード」と「マニュアルモード」の 2 種類のモードを切り替えて使用することができます。

ポイント

スキャナでの画像の取り込みにあまり慣れていない方は、全自動モードでお使いになることをお勧めします。細かい設定をしなくても、適切な条件で簡単に画像を取り込むことができます。

以上で、EPSON TWAIN の起動は終了です。
「全自動モードでの取り込み」142
「マニュアルモードでの取り込み」145

写真、雑誌など（反射原稿）の取り込みモード選択

EPSON TWAIN には、「全自動」と「マニュアル」の２つの取り込みモードがあります。用途に応じてどちらかのモードを使用してください。

また、［スキャナビ］ボタンと EPSON SMART PANEL を使用するモードでは、簡単に目的に応じた画像取り込みを行うことができます。

モード	機能	用途
全自動 「全自動モードでの取り込み」142	・原稿タイプが自動認識され、自動で画像が取り込まれます。 ・原稿タイプが、「写真」/「文字 / 線画」に認識された場合は、セットした原稿が少し傾いていても、自動的に水平に補正します（傾き補正機能）。	・詳細設定が不要な場合 ・いろいろなタイプの原稿を続けて取り込む場合
マニュアル 「マニュアルモードでの取り込み」145	・設定画面で、取り込み条件を手動で設定して取り込みます。	・全自動モードで原稿が認識されない場合 ・全自動モードで、意図した原稿タイプで認識されない場合 ・全自動モードで取り込んでも思い通りの画質にならない場合 ・取り込み条件を詳細に設定したい場合 ・特殊な効果をつけて取り込みたい場合 など
スキャナビ 「［スキャナビ］ボタンでの取り込み」149	・ボタンを押すだけで、セットした原稿のタイプが自動認識され、自動で画像を取り込むことができます。	・簡単に取り込んだ画像を保存したい場合 など

ポイント

スキャナでの画像の取り込みにあまり慣れていない方は、「スキャナビ」または「全自動」モードでお使いになることをお勧めします。細かい設定をしなくても、適切な条件で簡単に画像を取り込むことができます。

全自動モードでの取り込み

全自動モードでは、自動的に原稿のタイプを判別して、セットした原稿に最適な設定で取り込むことができます。ここでは、本機に付属の PhotoImpression を使用して、プリントされたカラー写真を取り込む手順を例に説明します。原稿台にカラー写真をセットしておいてください。

ポイント

初めて本機をお使いになるときは、全自動モードで画像が取り込まれます。

1. **TWAIN 対応アプリケーションソフトで、EPSON TWAIN を起動します。**

「EPSON TWAIN の起動」139

ポイント

画像を取り込む手順は、お使いの TWAIN 対応アプリケーションソフトによって異なります。Adobe Photoshop や Paint Shop Pro など一般の TWAIN 対応アプリケーションソフトの場合、［ファイル］メニューの［読み込み］や［インポート］で［EPSON TWAIN 5］を選択します。詳しくは、お使いの TWAIN 対応アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

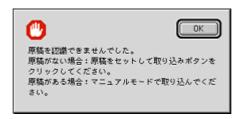
2. **EPSON TWAIN が起動して原稿が仮取り込み（プレビュー）され、原稿タイプが自動認識されます。**

ポイント

- 手順 1 の後、上記の画面でなく［EPSON TWAIN］画面が表示された場合は、設定がマニュアルモードになっています。全自動モードで取り込むには、［全自動モード］ボタンをクリックして全自動モードに切り替えてから、［取り込み］ボタンをクリックしてください。
  「基本設定」208
- 上記の画面で［キャンセル］ボタンをクリックすると、モード切り替え用の画面が表示されます。この画面でマニュアルモードに切り替え、取り込み条件を設定することもできます。
  また、全自動モードで取り込む原稿の種類や出力の解像度をあらかじめ設定しておくこともできます。
  「マニュアルモードでの取り込み」145
  「全自動モードの設定を変更しよう」183

3. **原稿タイプに適した設定で原稿が自動的に取り込まれます。**

ポイント

- 手順 2 の後、上記の画面でなく次の画面が表示された場合は、次のいずれかの操作を行ってください。

原稿を確認してから、再度全自動モードで画像を取り込む
［OK］ボタンをクリックし、表示される画面で［取り込み］ボタンをクリックして、再度全自動モードで画像を取り込んでください。

マニュアルモードに切り替える
再度、全自動モードで取り込んでも原稿が認識されないときは、マニュアルモードで取り込みます。［OK］ボタンをクリックし、表示される画面で［マニュアルモード］ボタンをクリックして、マニュアルモードに切り替えてください。
「マニュアルモードでの取り込み」145

- 表示された原稿タイプが、意図した原稿タイプでなかった場合は、マニュアルモードに切り替えて取り込んでください。
- 複数の原稿を同時に取り込む場合、［原稿タイプ］の下に［1 / 2］など何枚目を取り込んでいるかが表示されます。

4. **取り込まれた画像が、TWAIN 対応アプリケーションソフトの画面に表示されます。**

以上で、画像の取り込みは終了です。
「取り込んだ画像の保存」152

原稿タイプと取り込み設定

原稿は、次のいずれかのタイプとして自動認識されます。

原稿タイプ	原稿の例
カラー写真	一般的なカラー写真
カラー書類	カラーの新聞、雑誌など
白黒写真	一般的な白黒写真
白黒書類	白黒の新聞、雑誌など
イラスト	グラフやロゴ、地図など色数の少ないもの
文字 / 線画	文字のみの文書、塗りつぶされていない絵など

ポイント

写真を含む原稿が［カラー写真］または［白黒写真］として認識された場合は、写真だけが取り込み範囲となります。それ以外のタイプとして認識された場合は、原稿全体が取り込まれます。

原稿は、自動認識された原稿タイプに従って、それぞれ以下の設定で取り込まれます。

原稿タイプ	傾き補正	アンシャープマスク	表現色	モアレ除去	カラースムージング	自動露出オプション	解像度
カラー写真	する	On	24bit カラー	Off	Off	写真	300dpi
カラー書類	しない	On	24bit カラー	On	Off	書類	150dpi
白黒写真	する	On	8bit グレー	Off	–	写真	300dpi
白黒書類	しない	On	8bit グレー	On	–	書類	150dpi
イラスト	しない	–	24bit カラー	Off	On	書類	150dpi
文字 / 線画	する	–	モノクロ	–	–	–	400dpi

ポイント

- 「傾き補正」は、原稿が少し傾いてセットされている場合でも、傾きを自動的に補正して取り込む機能です。全自動モードのみの機能です。ただし、取り込まれる原稿の種類や傾きの大きさによっては、補正されない場合があります。
- 全自動モードでは、認識された取り込み範囲に対して、露出（明るさ）が自動的に調整されます。
- アンシャープマスクは、画像がはっきりしていない場合に、画像をシャープにする機能です。
- 雑誌、カタログなどの印刷物を取り込んだ画像に、暗い斑点模様や虹のような模様が発生する場合があります。このような模様を「モアレ」といいます。モアレ除去は、モアレを軽減する機能です。
- カラースムージングでは、カラー原稿を、特定の色に減色して（割り当てて）取り込むことができます。近似色は一つの色に割り当てられるため、色数の少ないグラフ、ロゴ、地図などの取り込みで色むらを発生させません。

マニュアルモードでの取り込み

マニュアルモードは、解像度や色合いなどを手動で設定して取り込むことのできるモードです。ここでは、本機に付属の PhotoImpression を使用して、プリントされたカラー写真を取り込む手順を例に説明します。原稿台にカラー写真をセットしておいてください。

1. TWAIN 対応アプリケーションソフトで、EPSON TWAIN を起動します。

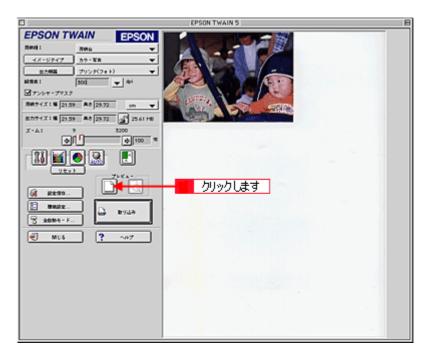
「EPSON TWAIN の起動」139

ポイント

画像を取り込む手順は、お使いの TWAIN 対応アプリケーションソフトによって異なります。Adobe Photoshop や Paint Shop Pro など一般の TWAIN 対応アプリケーションソフトの場合、［ファイル］メニューの［読み込み］や［インポート］で［EPSON TWAIN 5］を選択します。詳しくは、お使いの TWAIN 対応アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

2. 全自動モードが起動したら、次の画面が表示されている間に［キャンセル］ボタンをクリックし、［マニュアルモード］ボタンをクリックします。

   マニュアルモードが起動した場合は、手順 3 に進みます。

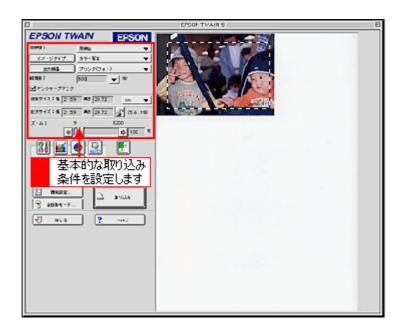
3. EPSON TWAIN 画面が表示されたら、をクリックしてプレビューを実行します。

4. **取り込み範囲を設定します。**

原稿の一部だけを取り込む場合は、プレビュー画像上でマウスを使用して取り込み範囲を指定します。ボタンをクリックすると、画像のある範囲を自動的に選択することもできます。

＋	カーソルが＋のときに、取り込む範囲をドラッグして指定します。

↕	カーソルを取り込み範囲の線上に移動すると矢印の形になります。このとき、取り込み範囲をドラッグして、拡大 / 縮小できます（縦横比を維持するには Shift キーを押しながらドラッグします）。
(手の形)	カーソルを取り込み範囲の中に移動すると手の形になります。このとき、取り込み範囲をドラッグして移動できます（縦または横位置を固定して移動するには、Shift キーを押しながらドラッグします）。

5. **基本的な取り込み条件を設定します。**

通常は［イメージタイプ］をセットした原稿の種類に設定し、［出力機器］を印刷したい機器に設定すると自動的に最適な設定で取り込むことができます。
「取り込み後のサイズ（出力サイズ）を指定する」154
「基本設定」208

6. **ボタンをクリックして取り込み範囲をズーム表示し、取り込む領域を微調整します。**

初期設定では、ズームプレビュー後、自動的に露出を調整します。

7. **必要に応じて、詳細な取り込み条件を設定し、［取り込み］ボタンをクリックして画像を取り込みます。**

取り込んだ画像が、TWAIN 対応アプリケーションソフト上に新規ファイルとして表示されます（EPSON TWAIN の後ろに隠れて見えない場合があります）。

「写真をきれいに取り込もう」158
「基本設定」208

8. ［閉じる］ボタンをクリックし、EPSON TWAIN を閉じます。

以上で、マニュアルモードでの取り込みは終了です。

「取り込んだ画像の保存」152

［スキャナビ］ボタンでの取り込み

［スキャナビ］ボタンを押すと、EPSON SMART PANEL が起動します。簡単な操作で、用途に合わせた画像の取り込みができます。

1. **原稿台に原稿をセットします。**

2. **［スキャナビ］ボタンを押します。**

   EPSON SMART PANEL が起動します。

3. **EPSON SMART PANEL が自動的に起動したら、使用する機能のアイコンをクリックします。**

ポイント

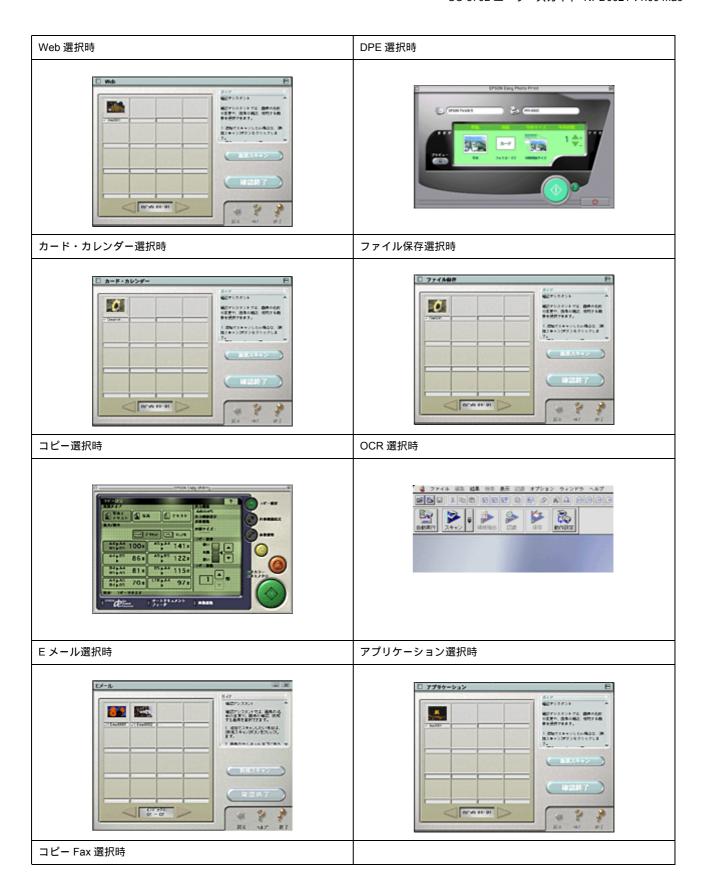
EPSON SMART PANEL 内の複数の機能の中から、［スキャナビ］ボタンを押したときに起動する機能を、特定することができます。

「メイン画面（EPSON SMART PANEL）」235

4. **それぞれの機能の画面で、設定を行い取り込みを実行します。**

   EPSON SMART PANEL での詳しい取り込み方法については、ヘルプ ボタンをクリックして、EPSON SMART PANEL のヘルプを参照してください。

「メイン画面（EPSON SMART PANEL）」235

Web 選択時	DPE 選択時
カード・カレンダー選択時	ファイル保存選択時
コピー選択時	OCR 選択時
E メール選択時	アプリケーション選択時
コピー Fax 選択時	

取り込んだ画像の保存

ここでは、本機に付属の PhotoImpression を使用して、取り込んだ画像の保存方法を説明します。お使いの TWAIN 対応アプリケーションソフトによって画面や手順が異なりますので、詳しくはお使いの TWAIN 対応アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

1. **TWAIN 対応アプリケーションソフトで保存します。**

   PhotoImpression では、[保存] ボタンをクリックして、[名前を付けて保存] をクリックします。

ポイント

保存の手順は、お使いの TWAIN 対応アプリケーションソフトにより異なります。Adobe Photoshop や Paint Shop Pro など一般の TWAIN 対応アプリケーションソフトの場合、通常 [ファイル] メニューの [名前を付けて保存]、[別名で保存] などで保存します。詳しくは、お使いの TWAIN 対応アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

2. **保存するフォルダを選びます。**

   後で画像を開くときにフォルダを指定しますので、フォルダ名は覚えておいてください。

3. **ファイル形式を選択して、ファイル名を入力します。**

4. ［保存］や［OK］などのボタンをクリックして保存します。

以上で、取り込んだ画像の保存は終了です。

画像ファイル形式について

主な画像のファイル形式を紹介します。お使いのアプリケーションソフトが各形式に対応しているかご確認の上、ファイル形式を決めてください。
Windows では BMP 形式、Macintosh では PICT 形式で保存しておけば、ほとんどのアプリケーションソフトで開くことができます。

形式（拡張子）	説 明
TIFF 形式 （＊.TIF）	グラフィックソフト、DTP ソフトなど、多くのソフトウェアでデータ交換するために作られたファイル形式です。
EPS 形式 （＊.EPS）	ポストスクリプト形式のファイルです。ほとんどのイラストレーションソフトや、DTP ソフトが対応しています。
BMP 形式 （＊.BMP）	多くのアプリケーションソフトが対応しているファイル形式（Windows のみ）です。ワープロソフトをはじめ、ほとんどの Windows 用アプリケーションソフトが対応しています。
PICT 形式（Macintosh のみ）	Macintosh 標準の画像ファイル形式です。ワープロ（Macintosh のみ）ソフトをはじめ、ほとんどの Macintosh 用アプリケーションソフトが対応しています。
JPEG 形式 （＊.JPG）	圧縮形式のファイルです。圧縮品質を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータは復元不可）、さらに保存のたびに劣化していきます。レタッチなどの加工が前提の場合、TIFF 形式などで保存してください。

EPSON TWAIN ドライバの機能を使った取り込み

取り込み後のサイズ（出力サイズ）を指定する

例えば、写真を取り込んで壁紙として利用したり、ハガキに印刷するような場合は、原稿のサイズを用途に合わせて拡大 / 縮小して取り込みます。
ここでは、800 × 600 ピクセルの壁紙を作る手順を例に、出力サイズを指定して取り込む方法を説明します。

1. 本機の原稿台に、カラー写真をセットします。

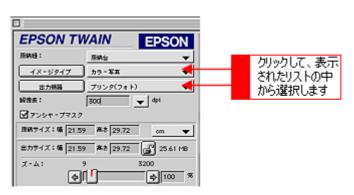
2. TWAIN 対応アプリケーションソフトを起動し、EPSON TWAIN（マニュアルモード）を起動します。

TWAIN が起動して、画像がプレビューされます。
「マニュアルモードでの取り込み」145

ポイント

プレビューされない場合は、ボタンをクリックしてプレビューを実行します。マニュアルモードの起動時にプレビューを自動で実行するかどうかは、［環境設定］ダイアログで設定できます。
「環境設定」232

3. ［イメージタイプ］、［出力機器］を目的に合わせて設定します。

ここでは、壁紙を作りますので、出力機器に［スクリーン /Web］を選択します。［イメージタイプ］はセットした原稿の種類に合わせて選択してください。
［出力機器］と［イメージタイプ］を選択することで、用途に合った最適な解像度で取り込まれます。

［出力機器］は、用途に応じて次のように設定してください。

画像の用途	出力機器の設定
壁紙用	スクリーン / Web
プリンタでのファイン印刷用	プリンタ（ファイン）
プリンタでのフォト / スーパーファイン印刷用	プリンタ（フォト）

4. ［原稿サイズ］の単位を［ピクセル］に設定します。

ここでは、コンピュータ用壁紙を作りますので、画面サイズの単位である［ピクセル］を選択します。ハガキなどに印刷する場合は、［cm］を選択します。

ポイント

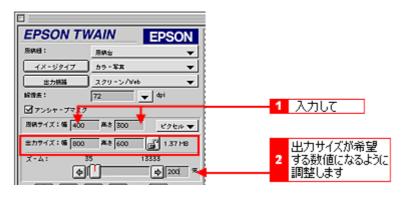
サイズの表示単位は、インチ、ピクセル、cm のいずれかを選択することができます。

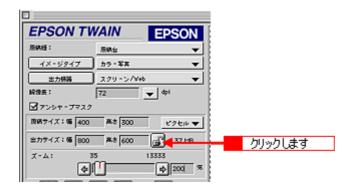
5. ［原稿サイズ］（原稿中の取り込む範囲）を入力して、［出力サイズ］を設定します。

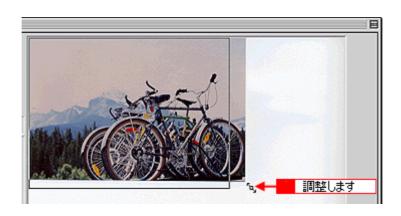
ここでは、［出力サイズ］が 800 × 600 ピクセルの壁紙を作りますので、原稿サイズにも幅 800 高さ 600 を入力します。

原稿台を越えるサイズ（プレビューの直後に表示されている以上のサイズ）は入力できません。［原稿サイズ］が原稿台を超える場合は、［ズーム］を調整し、［原稿サイズ］が原稿台に収まり、［出力サイズ］が用途に合ったサイズになるように調整します。
以下の表のように［原稿サイズ］を 400 × 300、［ズーム］を 200%に設定しても、［出力サイズ］は 800 × 600 になります。

出力サイズ	原稿サイズ（幅）	原稿サイズ（高さ）	ズーム
1024 × 768 ピクセル	512	384	200%
800 × 600 ピクセル	400	300	200%
640 × 480 ピクセル	320	240	200%

※ 入力した数値は、多少変動することがあります。

6. ロックボタン ( ) をクリックして［出力サイズ］をロックします。

［出力サイズ］をロックすると、［原稿サイズ］の微調整が簡単にできます。

7. **取り込み範囲の枠をドラッグして範囲を拡大／縮小し、取り込む範囲を決めます。**

取り込み範囲の中にカーソルを移動すると手の形になり、ドラッグして移動できます。

8. **［ズームプレビュー］（ ）ボタンをクリックし、必要に応じて範囲を微調整します。**

原稿が再プレビューされ、選択した範囲が拡大表示されます。露出（画像の明暗）も自動調整されます。

9. **［取り込み］ボタンをクリックして画像を取り込みます。**

指定したサイズで画像が取り込まれます。

ポイント

ここで設定した内容を、[設定保存] ボタンをクリックして保存しておくことをお勧めします。設定を保存しておくと、[原稿サイズ] や [出力サイズ] などの各種設定を再利用することができます。

「設定保存」230

10. [閉じる] ボタンをクリックして、EPSON TWAIN の画面を閉じます。

11. TWAIN 対応アプリケーションソフトで画像を保存します。

「取り込んだ画像の保存」152

ポイント

- **壁紙用の画像は、**Windows **は** BMP、Macintosh **は** PICT **形式で保存してください（アプリケーションソフトの機能を使って壁紙に設定する場合を除く）。**
- **ここで紹介した手順で取り込みを行えば、希望するサイズ / 解像度の画像ファイルを作成できます。壁紙の作成・印刷用画像の作成・ホームページ用のサムネイル画像の作成などにお役立てください。**

写真をきれいに取り込もう

写真をきれいに取り込むためには、特に明るさの補正が効果的です。明るさの補正をした後、濃度などの微調整を行います。写真をきれいに取り込むと、フォト レタッチソフトなどでの補正が少なくてすみます。
ここでは、画像を きれいに取り込むための、EPSON TWAIN での調整のポイントを紹介します。

ポイント

通常は、取り込み範囲を設定すると自動的に明るさ（露出）の補正がされます。以下の補正は、自動補正でも思うような効果が得られない場合にしてください。

明るさの調整

きれいな画像にするためには、「画像のもっとも明るい部分」（ハイライト）、「画像のもっとも暗い部分」（シャドウ）、および「その中間の明るさの部分」（ガンマ）の明暗を適切に設定することが必要です。

画像の明るさの調整では、画像全体の明るさだけではなく、ハイライト、シャドウ、およびガンマをそれぞれ個別に調整できます。一つの画像の中で、ハイライトレベルの明るい白からシャドウレベルの黒までを適切な範囲に収めます。

●適切な画像
（ハイライトも、シャドウも適切）

●ハイライトが弱く、シャドウは適切

●ハイライトは適切、シャドウが弱い

●ハイライトもシャドウも弱い

●ガンマが暗い方向に寄っている

ポイント

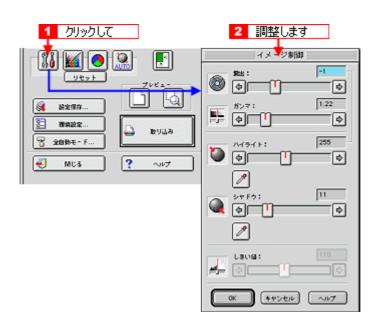
- 画質調整はプレビュー画像が表示されているときに有効ですので、プレビューを実行してください。プレビュー画像では、調整効果をリアルタイム に確認することができます。
- 厳密な調整を行いたい場合は、ディスプレイを調整することをお勧めします。ディスプレイが調整されていないと、取り込んだ画像が適切な明るさ / 色合いで表示されません。そのため、印刷結果も予測できません。
  「ディスプレイについて」271

1. TWAIN 対応アプリケーションソフトを起動し、EPSON TWAIN （マニュアルモード）を起動します。

画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。

2. ボタンをクリックし、［ハイライト］/［シャドウ］/［ガンマ］を調整します。

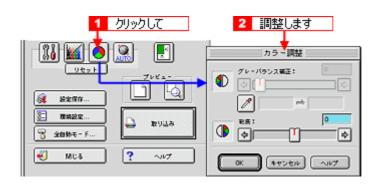
ハイライト	画像のもっとも明るい部分の色を調節します。
シャドウ	画像のもっとも暗い部分の色を調節します。
ガンマ	画像の明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、ハイライトとシャドウの中間部分（ミッドトーン）の明るさを調節します。

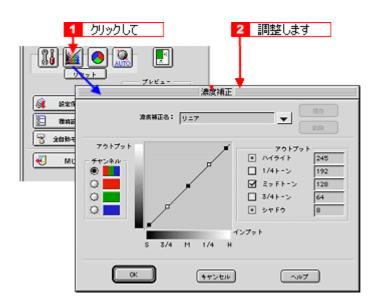
「ハイライト（画像の最も明るい部分）を調整しよう」161
「シャドウ（画像の最も暗い部分）を調整しよう」164
「中間調部分（ミッドトーン）を調整しよう」167

ポイント

ハイライトを調整すると、露出も連動して設定されます。

3. ボタンをクリックし、［グレーバランス］を調整します。

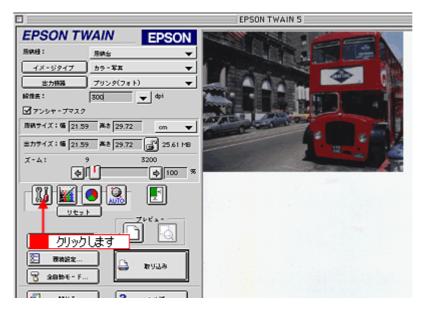
グレーバランスとは、選択した色が無彩色（白黒、グレー）となるように、画像全体の色かぶりを取り除くことができる機能です。

「グレーバランスを調整しよう」169

4. 必要に応じて ボタンをクリックし、濃度を追加補正します。

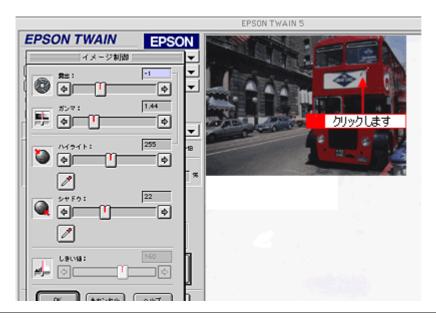
「濃度を調整しよう」171

以上で、画像補正方法の流れの説明は終了です。

ハイライト（画像の最も明るい部分）を調整しよう

ハイライトは画像の最も明るい部分を意味します。ハイライトを調整することで画像全体の明暗を補正することができます。

1. ［イメージ制御］( ) ボタンをクリックします。

2. ハイライトの［スポイト］( ) アイコンをクリックします。

［スポイト］アイコンをキャンセルしたい場合は、キーボード上の［esc］キーを押してください。

3. 画像の一番明るい部分をクリックします。

ポイント

出力値（濃度）は 255（白）ではなく 245（やや濃度のある白）になりますので、白としてとびません（出力値は［濃度補正］ダイアログで編集可能）。

4. スライダーを左右に動かして、明るさを調整します。

調整が終了したら、［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

調整前　調整後

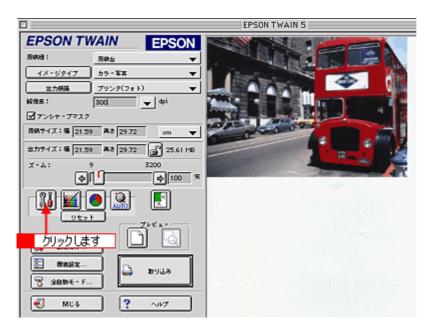
ポイント

- ハイライトを調整すると、露出も連動して補正されます。
- 右上のテキストボックスに数値を直接入力して、微調整することもできます。
- ハイライトの範囲は 61 ～ 490 です。

設定 100	**設定** 150	**設定** 200

シャドウ（画像の最も暗い部分）を調整しよう

シャドウは、画像の最も暗い部分を意味します。暗い部分が黒くつぶれてしまわないように、［イメージ制御］ダイアログで調整します。

1. ［イメージ制御］( ) ボタンをクリックします。

2. シャドウの［スポイト］( ) アイコンをクリックします。

   ［スポイト］アイコンをキャンセルしたい場合は、キーボード上の［esc］キーを押してください。

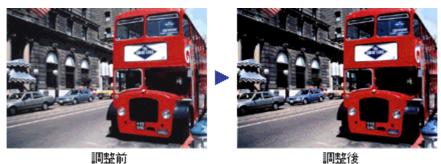
3. 画像の一番暗い部分をクリックします。

ポイント

出力値（濃度）は 0（黒）ではなく 8（濃いグレー）になりますので、黒ベタにはなりません（出力値は［濃度補正］ダイアログで編集可能）。

4. **スライダーを左右に動かして、明るさを微調整します。**

調整が終了したら［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

調整前　調整後

ポイント

- 右上のテキストボックスに数値を直接入力して、微調整することもできます。
- シャドウの範囲は 0 ～ 60 です。

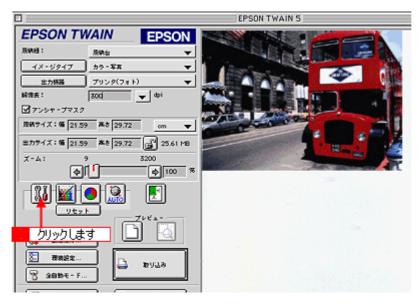
設定 0	**設定** 10	**設定** 20

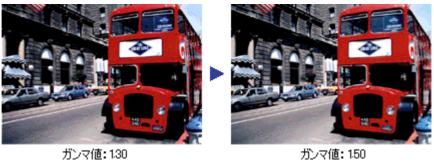
中間調部分（ミッドトーン）を調整しよう

中間調部分（ミッドトーン）は、画像の最も明るい部分と画像の最も暗い部分の中間の明るさを意味します。[イメージ制御］ダイアログのガンマにて調整を行います。

ポイント

中間調部分が薄い、あるいは濃い場合に、明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、中間部分の濃度のみを調整できます。

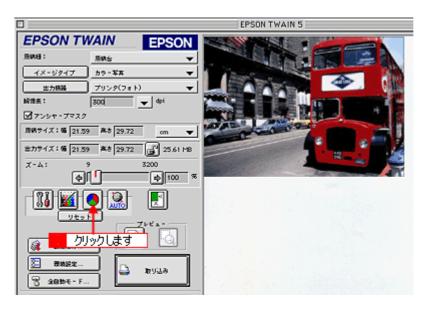
1. ［イメージ制御］（ ）ボタンをクリックします。

2. ガンマのスライドバーで中間部分（ミッドトーン）のレベルを調整します。

調整が終了したら、［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

ポイント

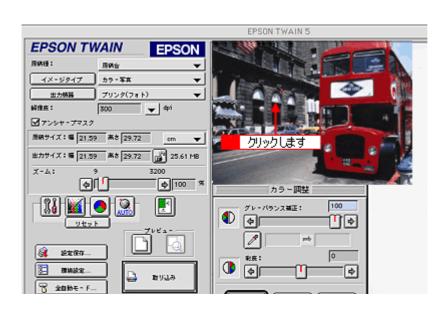
- 右上のテキストボックスに数値を直接入力して、微調整することもできます。
- ガンマの範囲は 0.50 ～ 5.00 です。

グレーバランスを調整しよう

画像の周りの色の影響（色かぶり）を取り除く場合は、グレーバランスを調整します。グレーバランスの調整値によっては、明暗が多少変化することがあります。

1. ［カラー調整］（ ）ボタンをクリックします。

2. グレーバランス補正の［スポイト］（ ）アイコンをクリックします。

   ［スポイト］アイコンをキャンセルしたい場合は、キーボード上の［esc］キーを押してください。

3. 画像の中で、白黒またはグレー（無彩色）となるべき部分をクリックします。

4. **スライダーを右に動かして、グレーバランスを調整します。**

調整が終了したら、[OK] ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

調整前

調整後

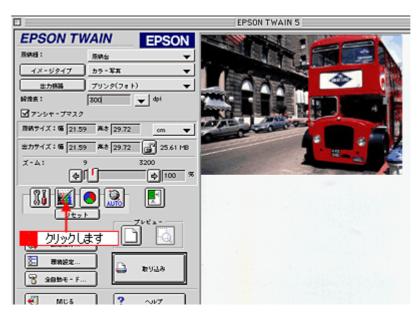
ポイント

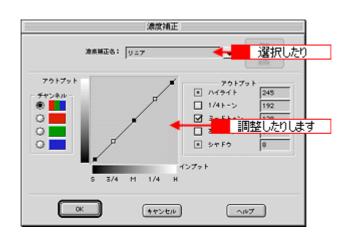
- 左側のボックスには、スポイトで選択した色が表示されます。右側のボックスには、調整された色が表示されます。
- 右上のテキストボックスに数値を直接入力して微調整することもできます。
- グレーバランスの範囲は 0 ～ 100 です。
  数値を上げるほど、画像の周りの色の影響（色かぶり）を取り除くことができます。100 に設定すると、選択した色が完全な無彩色（白黒、グレー）となり、画像全体の色かぶりが取り除かれます。
  0 に設定した場合は、グレーバランス機能は無効になります。

設定 25	設定 50	設定 75

濃度を調整しよう

自動露出やイメージ制御で調整しきれない微妙な濃度の調整は、[濃度補正] で補正します。

1. [濃度調整] ( ) ボタンをクリックします。

2. トーン曲線で追加補正したい部分を補正します。

調整が終了したら、[OK] ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

リニア(補正なし)　　シャドウ部を出す選択時

ポイント

- 補正前の濃度に戻すには、[濃度補正名] で [リニア] を選択します。

- 露出オーバーの補正など、代表的なトーン曲線がメニューに用意されていますので、メニューから選択した後、画像にあわせて微調整することをお勧めします。

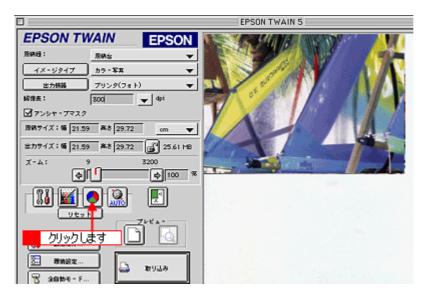
以上で、明暗の調整は終了です。次の［色を鮮やかにして取り込もう］以降で色合いの調整方法を説明していますが、明暗調整をしっかり行えば、通常、色合いの調整は必要ありません。

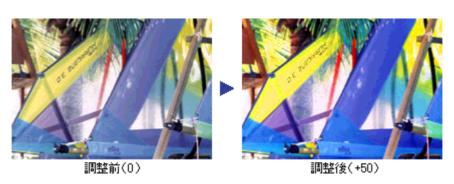
色を鮮やかにして取り込もう

ここでは、原稿に鮮やかさが足りない場合に、色合いを調整して鮮やかに取り込む方法を説明します。

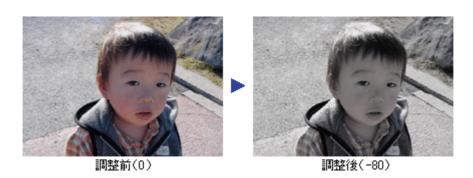
1. TWAIN 対応アプリケーションソフトを起動し、EPSON TWAIN（マニュアルモード）を起動します。
2. ［写真をきれいに取り込もう］を参照して、一通り画質の調整を行います。

「写真をきれいに取り込もう」158

3. ［カラー調整］（ ）ボタンをクリックします。

4. スライダーを左右に動かして、色合いを調整します。

調整前（0）　調整後（+50）

ポイント

- 右上のテキストボックスに数値を直接入力して微調整することもできます。
- 色の範囲は -100 ～ 100 です。設定を -（マイナス）にすると、色みがなくなり（無色彩化され）、グレーに近くなります。白黒写真風のカラー画像にして取り込むことができます。

調整前(0)　調整後(-80)

5. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

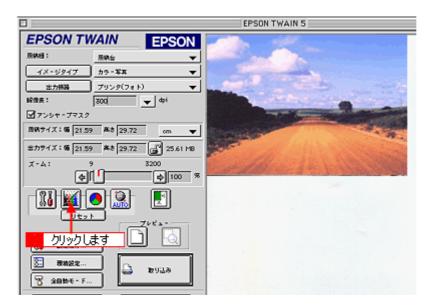
以上で、画像の鮮やかさの調整は終了です。

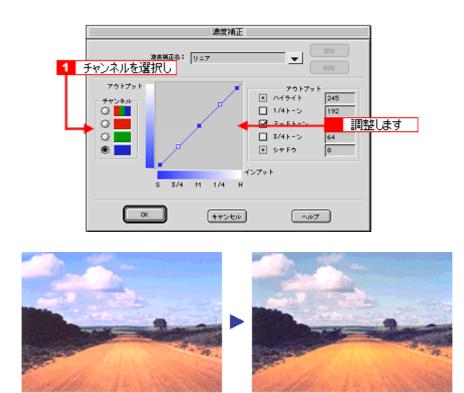
特定の色の濃度を補正して取り込もう

ここでは、写真中の色が本来の色と異なる場合に、不要な色を取り除いたり特定の色の濃度を補正する方法を紹介します。

1. TWAIN 対応アプリケーションソフトを起動し、EPSON TWAIN （マニュアルモード）を起動します。
2. ［写真をきれいに取り込もう］を参照して、一通り画質の調整を行います。

「写真をきれいに取り込もう」158

3. ［濃度補正ボタン］( ) をクリックします。

4. 補正したい色（チャンネル）を選択し、トーン曲線を補正します。

補正前

補正後（青さを補正した例）

ポイント

画像の彩度を下げた後、R（赤）のアウトプット値を上げ、G（緑）と B（青）のアウトプット値を下げると、セピア調のカラー画像にして取り込むことができます。

5. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

以上で、濃度を補正しての取り込みは終了です。

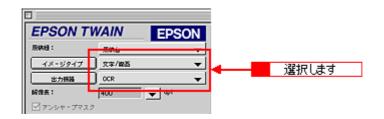
文字原稿の認識率を上げて取り込もう

本機から OCR（光学文字認識）ソフトに文字原稿を取り込むと、原稿上の文字を文字データに変換することができます。ここでは、OCR（光学文字認識）に利用しやすいように取り込む場合の設定方法について説明します。

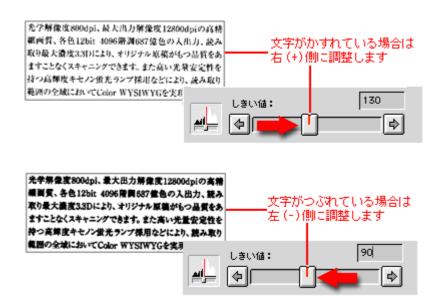
ポイント

付属の読ん de!! ココ パーソナル（OCR ソフト）からの取り込みでは、OCR ソフト独自の取り込み画面で取り込むことができます。詳しくは、読ん de!! ココ パーソナルの取扱説明書（PDF ファイル）をご覧ください。

イメージタイプ・出力機器を設定する

[イメージタイプ] を [文字 / 線画]、[出力機器] を [OCR] に設定します。取り込みの各条件は次のように設定されます。

	項目	設定値
イメージタイプ	表現色	モノクロ
	品質	–
	モアレ除去	–
	カラースムージング	–
	自動露出オプション	–
	ドロップアウト	なし
	モノクロオプション	–
	中間調	–
出力機器	モノクロ解像度	400dpi
	グレー／カラー解像度	400dpi

1. [イメージ制御]（ ）ボタンをクリックします。

2. プレビュー画像で効果を確認しながら、[しきい値] を調整します。

しきい値とは、白として取り込む部分と、黒として取り込む部分の明るさの境界を決めるものです。
最適なしきい値は原稿の状態によって異なりますので、繰り返し確認しながら、最適な調整値を見つけてください。

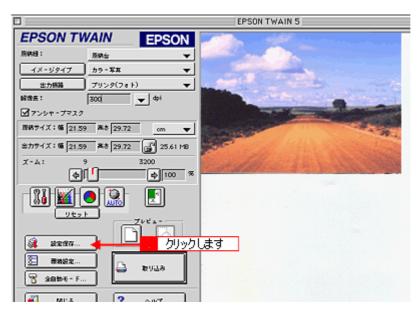
それでも認識率が向上しないときは

しきい値を調整しても認識率が向上しない場合は、OCR ソフト側の補正機能（かすれ補正など）を使用してください。また、文字のフォントサイズによって認識領域を分けるなどの工夫をしてみてください。詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

取り込み設定を保存しよう

取り込み範囲・出力機器・画質調整などの設定をまとめて保存することができます。また、保存した設定を複数選択して、それぞれの設定で一括取り込みすることができます。

取り込み設定を保存する

1. 原稿をプレビューし、取り込み枠の設定・イメージタイプや出力機器の設定・画質調整などを行います。
2. ［設定保存］ボタンをクリックします。

3. 取り込み設定の名称を入力します。

ポイント
入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。

4. ［保存］ボタンをクリックして取り込み設定を保存し、［OK］ボタンをクリックします。

・ 必ず、［保存］ボタンをクリックしてから［OK］ボタンをクリックしてください。

保存した設定を利用して取り込む

保存した取り込み設定を利用して画像を取り込みます。TWAIN対応アプリケーションソフトが対応している場合のみ、複数の取り込み設定を同時に利用することもできます。

1 つの設定での取り込み手順

1. 取り込みに利用する設定保存名を選択します。

2. ［取り込み］ボタンをクリックして、画像を取り込みます。

複数の設定での取り込み手順

1. ［Shift］キーを押しながら複数の設定をクリックし、［一括取り込み］ボタンをクリックします。

ポイント

- 任意の設定保存名を 1 つずつ選択するには、［Ctrl］キーを使用します。
- TWAIN 対応アプリケーションソフトが複数の設定での取り込みに対応している必要があります。TWAIN 対応アプリケーションソフトの取扱説明書でご確認ください。

取り込み設定を削除する

保存した取り込み設定を削除します。

1. 削除したい設定保存名をリストから選択し、［削除］ボタンをクリックします。

2. ［はい］または［削除］ボタンをクリックします。

3. ［OK］ボタンをクリックします。

誤って削除した場合や、削除を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

全自動モードの設定を変更しよう

全自動モードで画像を取り込むときの、出力の解像度をあらかじめ設定しておくことができます。

1. TWAIN 対応アプリケーションソフトを起動し、EPSON TWAIN を起動します。
2. EPSON TWAIN が起動して、以下の画面が表示されたら、［キャンセル］ボタンをクリックします。

3. ▷ ボタンをクリックします。

4. 全自動モードの設定を変更します。

1	解像度を指定	出力の解像度を設定します。 チェックボックスをクリックしてから、解像度を選択します。 初期設定では、反射原稿（写真や雑誌など）の出力解像度は 300dpi に設定されています。
2	▽ ボタン	元の画面に戻ります。

画像を取り込むときは、[取り込み］ボタンをクリックします。

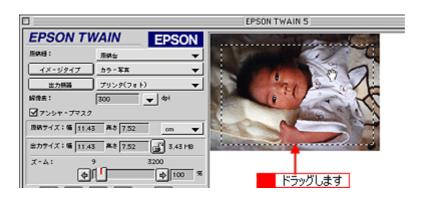
5. ［閉じる］ボタンをクリックします。

以上で、全自動モードの設定変更は終了です。

取り込み範囲を調整して取り込もう

原稿の一部分だけ取り込みたい場合は、プレビュー画面で範囲を指定します。例えば雑誌のページから写真部分だけを指定して、画像を取り込むことができます。

取り込み範囲をマウスで指定する

ドラッグして取り込み範囲を指定します。

ポイント

プレビュー画面にポインタを移動すると、ポインタの形が「+」に変わります。

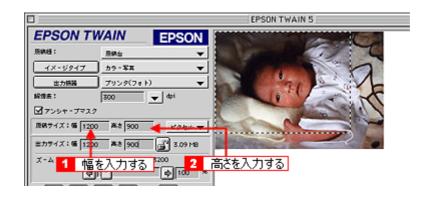
取り込み範囲を数値で指定する（原稿サイズ）

取り込む画像のサイズが決まっている場合は、取り込み範囲を幅（W）と高さ（H）の数値で指定します。サイズを指定した後、取り込む位置を指定します。

1. **取り込み範囲サイズの表示単位を選択します。**

ポイント

サイズの表示単位は、「インチ」「ピクセル」「cm」の 3 種類です。

2. **取り込み範囲のサイズを入力します。**

ポイント

- 取り込み範囲を指定すると、画像のデータ容量が［出力サイズ］の右横に表示されます。
- 取り込み範囲を解除したい場合は、取り込み範囲の枠の中をダブルクリックします。

取り込み範囲を自動的に原稿に合わせる（自動範囲選択）

原稿の大きさ通りに、画像の選択範囲を指定することができます。

ポイント

- セットした原稿の種類によっては、範囲が正しく検出されない場合があります。その場合は、取り込み範囲をマウスで指定してください。
- 原稿カバーの裏側が汚れていると、範囲が正しく検出されない場合があります。

1. 原稿よりも大きな範囲を指定して、 ボタンをクリックします。

取り込み範囲を広げる、狭める

指定した取り込み範囲を広げます。または狭めます。

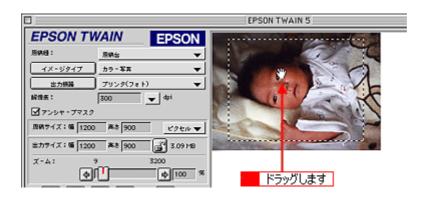
1. 広げたい、または狭めたい方向の線上に、ポインタを合わせてドラッグします。

ポイント

- 取り込み範囲を指定すると、取り込み範囲の幅と高さが［原稿サイズ］に表示されます。また、画像のデータ容量が［出力サイズ］の右横に表示されます。
- 取り込み範囲を解除したい場合は、取り込み範囲の枠の中をダブルクリックします。
- 縦横比を固定して調整するには、［Shift］キーを押しながらドラッグします。

取り込む位置を変更する

取り込み範囲を、別の位置に変更します。取り込み範囲のサイズは変わりません。

1. **取り込み範囲の中に、ポインタを合わせてドラッグします。**

ポイント

取り込み範囲内にポインタを移動すると、ポインタが手の形に変わります。

トラブル対処方法

本体の動作確認

電源をオン / オフして、動作を確認します。次の動作を確認してください。確認できれば正常です。

電源ランプが緑色に点灯し、操作パネルが図のように表示されているか確認してください。電源がオンにならない場合は、以下の項目をご覧ください。

「電源がオンにならない」189

電源がオンにならない

本機が動作しない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

電源プラグがコンセントから抜けていませんか？

差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。また、壁に固定されたコンセントに電源プラグを差し込んでいるか再度確認してください。

チェック

コンセントに電源はきていますか？

ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確認してください。ほかの電気製品が正常に動作するときは、本機の故障が考えられます。

ポイント

以上の２点を確認しても電源が入らない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド』の裏表紙をご覧ください。

電源オンでエラーになる

チェック

輸送用固定ノブがロックされた状態になっていませんか？

コンセントを抜いて電源をオフにしてから、輸送用固定ノブを の位置にスライドさせてください。

チェック

本機とコンピュータが正しく接続されていますか？

USB ケーブルが、本機ならびにコンピュータにしっかり接続されているかを確認してください。

ポイント

以上の項目を確認してもエラーが発生する場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド』の裏表紙をご覧ください。

スキャナとして認識されない

コンピュータから画像取り込みを実行してもスキャナとして認識されない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

本機の準備はできていますか？

本機の電源がオフになっていると、スキャナとして認識されません。必ず電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにしておいてください。
操作パネルの［電源］ボタンを押して電源をオンにしてください。

チェック

接続に問題はありませんか？

USB ケーブルをしっかりと接続してください。

チェック

ご利用のコンピュータは Mac OS 8.6 から 9.x ですか？

本機は、Mac OS8.6 から 9.x で使用できます。

チェック

インストールが不完全な状態で終了している可能性があります。

以上の項目を確認しても、症状が改善しない場合は、EPSON TWAIN をインストールし直してください。インストールの方法は、『スタートアップガイド』を参照してください。

ポイント

以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『スタートアップガイド』の裏表紙をご覧ください。

EPSON TWAIN を起動できない

取り込みを実行しようとしても TWAIN が起動しない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

本機の準備はできていますか？

本機の電源がオフになっていると、スキャナとして認識されません。必ず電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにしておいてください。

チェック

接続に問題はありませんか？

USB ケーブルをしっかりと接続してください。

チェック

スキャナの動作が不安定になっていませんか？

何らかの原因により、スキャナの動作が不安定になっていることも考えられます。電源をオフにした後、電源をオンにしてください。

チェック

アプリケーションソフトで TWAIN データソースを正しく選択していますか？

お使いの TWAIN 対応アプリケーションソフトの取扱説明書を参照し、TWAIN データソースの選択画面で［EPSON TWAIN 5］を選択してください。画面は、Adobe Photoshop Elements の例です。

チェック

他の TWAIN 対応アプリケーションソフトで試してみてください。

何らかの原因により、TWAIN 対応アプリケーションソフトの動作が不安定になっていることも考えられます。他の TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動してみてください。または、コンピュータを再起動してみてください。

チェック

ご利用のコンピュータは Mac OS 8.6 から 9.x ですか？

本機は、Mac OS8.6 から 9.x で使用できます。

チェック

TWAIN ドライバのインストールが不完全な状態で終了している可能性があります。

以上の項目を確認しても、症状が改善しない場合は、EPSON TWAIN をインストールし直してください。インストールの方法は、『スタートアップガイド』を参照してください。

チェック

違うバージョンの TWAIN がインストールされていませんか？

お使いの TWAIN 対応アプリケーションソフトの取扱説明書を参照し、TWAIN データソースの選択画面で、［EPSON TWAIN 5］を選択してください。それでも、TWAIN が起動できない場合は、いったん、TWAIN を削除してから、インストールし直してください。

ポイント

以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『スタートアップガイド』の裏表紙をご覧ください。

エラーが出て画像が取り込めない

取り込みを実行しようとしてもエラーが出て画像を取り込めない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

ハードディスクに、必要な空き容量がありますか？

ハードディスクには、最低でも取り込む画像データ容量の 2 倍以上の空き容量が必要です。不足している場合は、不要なデータを削除したり、ハードディスクを増設するなどして必要な容量を確保してください。取り込む画像データ容量の目安は、EPSON TWAIN の［出力サイズ］項目で確認できます。
なお、フォトレタッチソフトを使用している場合、フォトレタッチソフトが仮想記憶領域として多くの容量を使用していることがあります。必要に応じて、ハードディスクを増設してください。

チェック

メモリの空き容量は十分にありますか？

次のときは、メモリの空き容量が減って画像が取り込めないことがあります。これらの場合、ソフトウェアの動作が遅くなるなどの症状が現れますので、次のように対処して空きメモリを確保してください。

	状況	対処
1	複数のソフトウェアを同時に使用している場合	他のソフトウェアを終了してください。
2	他のソフトウェアで大きなデータを扱っている場合	他のソフトウェアでデータを保存の上、いったん他のソフトウェアを終了してください。
3	クリップボードに大きなデータがある場合	コンピュータを再起動してください。

必要なメモリ容量は画像データによって異なりますが、カラー原稿の取り込みでは、64MB 以上を推奨します（画像データによっては、さらに多くの容量を必要とします）。

チェック

アプリケーションソフトに割り当てたメモリ容量は十分ですか？

Macintosh の場合は、TWAIN 対応アプリケーションソフトに割り当てたメモリ容量が不十分だと、画像を取り込めないことがあります。このときは、次のように対処してください。

1. TWAIN 対応アプリケーションソフトを終了します。
2. TWAIN 対応アプリケーションソフトのアイコンをクリックし、［ファイル］メニューから［情報を見る］-［メモリ］を選びます。
3. ［メモリ必要条件］項目の［最小サイズ］と［使用サイズ］をそれぞれ設定します。最適な設定値はアプリケーションソフトによって異なりますので、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書で確認するか、またはアプリケーションソフトのメーカーにお問い合わせください。基本的には、取り込む画像データ容量の 2 倍以上の容量を割り当てることをお勧めします。

アプリケーションソフトに割り当てるメモリ容量を増やしすぎると、同時に使用する他のアプリケーションソフトの動作に支障が出ることがありますのでご注意ください。

チェック

スキャナとして認識されていますか？

「スキャナとして認識されない」191

チェック

TWAIN 対応アプリケーションソフトの動作が不安定になっていませんか？

他の TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動してみてください。または、コンピュータを再起動してみてください。何らかの原因により、TWAIN 対応アプリケーションソフトの動作が不安定になっていることが考えられます。

チェック

違うバージョンの TWAIN がインストールされていませんか？

お使いのTWAIN対応アプリケーションソフトの取扱説明書を参照し、TWAINデータソースの選択画面で、[EPSON TWAIN 5］を選択してください。それでも、TWAIN が起動できない場合は、いったん、TWAIN を削除してから、インストールし直してください。

ポイント

以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『スタートアップガイド』の裏表紙をご覧ください。

取り込みに時間がかかる

取り込みに時間がかかる。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

画像を高解像度で取り込んでいませんか？

画像を高解像で取り込む設定にしていると、取り込みに時間がかかります。解像度を下げて、画像を取り込んでください。
適切な解像度がわからないときは、［全自動モード］で取り込んでください。

「全自動モードでの取り込み」142
「画像の解像度の調整方法」266

［スキャナビ］ボタンを押しても動作しない

［スキャナビ］ボタンを押してもアプリケーションソフトが何も起動しない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

本機の準備はできていますか？

本機の電源がオフになっていると、スキャナとして認識されません。必ず電源をオンにしておいてください。

チェック

接続に問題はありませんか？

USB ケーブルをしっかりと接続してください。

チェック

EPSON SMART PANEL をインストールしていますか？

EPSON SMART PANEL は、［スキャナビ］ボタンが押されたことを監視して、［コピー］などのさまざまなアプリケーションソフトを起動するソフトウェアです。
『スタートアップガイド』を参照し、EPSON SMART PANEL をインストールしてください。

チェック

EPSON USB Scaner xxxx 機能拡張が使用停止になっていませんか？

コントロールパネルの［機能拡張マネージャ］を開き、EPSON USB Scaner xxxx がチェックされているか確認してください。チェックされていない場合は、チェックして Macintosh を再起動してください。

チェック

ご利用のコンピュータは Mac OS 8.6 から 9.x ですか？

本機は、Mac OS8.6 から 9.x で使用できます。

チェック

インストールが不完全な状態で終了していませんか？

何らかの原因で、正常にインストールできない、取り込みができないなどの症状が発生した場合は、いくつかの項目をチェックして再度、インストール作業を実行する必要があります。詳しくは、スタートアップガイドをご覧ください。

ポイント

以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『スタートアップガイド』の巻末をご覧ください。

［スキャナビ］ボタンを押したときの動作が違う

［スキャナビ］ボタンを押したときの動作が意図した通りにならない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

EPSON SMART PANEL をインストールしていますか？

EPSON SMART PANEL は、［スキャナビ］ボタンが押されたことを監視して、［コピー］［ファックス］などのさまざまなアプリケーションソフトを起動するソフトウェアです。
『スタートアップガイド』を参照し、EPSON SMART PANEL をインストールしてください。

チェック

EPSON SMART PANEL での、［スキャナビ］ボタンの設定は意図通りになっていますか？

［スキャナビ］ボタン押下後の処理は EPSON SMART PANEL がコントロールします。
EPSON SMART PANEL での［スキャナビ］ボタンに関する設定を確認してください
「スキャナビボタンについて」254

ポイント

以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『スタートアップガイド』の巻末をご覧ください。

プレビュー画像の色がおかしい

プレビューを実行したときの画像の色合いがおかしい。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

[環境設定]ダイアログの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。

「環境設定」232

[環境設定]の[カラー]タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、AUTOボタンを使用して調整してください。

ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。

「基本設定」208

自動調整で意図通りの結果が得られない場合は、[イメージ制御]ダイアログでハイライト / シャドウ / ガンマを調整してください。

「イメージ制御」221

画像がぼけている・ゆがんでいる

取り込んだ画像がぼけていたり、ゆがんでいる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

取り込み中に本機を揺らしていませんか？

本機に振動を与えないように気を付けながら、もう一度取り込んでください。

チェック

「アンシャープマスク」のチェックが外れていませんか？

基本設定画面上のアンシャープマスクのチェックボックスをチェックしてください。
「基本設定」208

チェック

原稿自体のピントがずれていませんか？

取り込む原稿自体のピントがずれている可能性があります。EPSON TWAIN 画面上のアンシャープマスクのチェックボックスをチェックしてみてください。
「基本設定」208

ただし、その場合、モアレ（網目状の陰影）が生じるおそれがあります。モアレが生じる場合は、次の項目を参照して対処してください。
「イメージタイプ」214

チェック

[環境設定] ダイアログの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。
「環境設定」232

[環境設定] の [カラー] タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、AUTO ボタンを使用して調整してください。
ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。
「基本設定」208

チェック

解像度が適切に設定されていますか？

EPSON TWAIN の機能により、取り込む画像のきめ細かさ (解像度) を設定できます。適切な解像度を設定して取り込んでください。
「画像の解像度の調整方法」266

点がいくつか現れるだけで画像にならない

取り込んだ画像が真っ白、影のように点がいくつか現れる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

本機に原稿をセットしてありますか？

本機に原稿をセットしてください。原稿をセットしないで取り込むと、原稿カバーの裏を取り込むため、白い画像になるだけです。

チェック

原稿の取り込む面を下にしてセットしてありますか？

原稿の取り込みを行う面を下にしてセットしてください。

チェック

しきい値の設定は適切ですか？

基本設定のイメージタイプを「文字／線画」にしてイラストや文字原稿などを取り込む場合は、[イメージ制御] ダイアログの「しきい値」の設定を変更してみてください。設定を変更すると線や文字を取り込めるようになります。

「文字原稿の認識率を上げて取り込もう」177
「イメージタイプ」214
「イメージ制御」221

画像が暗い、細部が表現されない、裏写りする

取り込んだ画像が暗い、細かい部分が表現されない、原稿の裏の内容まで取り込まれる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

ディスプレイガンマの設定は適切ですか？

ディスプレイはメーカや型番によって、明るさ・コントラスト（明暗の差）が異なります（ガンマ値の設定にバラつきがあります）。そのため、画像をお使いのディスプレイに合わせて最適な明るさで取り込めるよう、［環境設定］の［カラー］タブで「ディスプレイガンマ」の設定を行ってください。

設定は、ご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。印刷しない場合は、1.8 に設定してください。なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。

「環境設定」232

チェック

［環境設定］ダイアログの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。

「環境設定」232

［環境設定］の［カラー］タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、AUTO ボタンを使用して調整してください。

ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。

「基本設定」208

チェック

原稿に裏が透けて見えるほどの薄い用紙を使用していませんか？

原稿の紙が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りして取り込まれることがあります。裏写りは、黒い紙や下敷きを原稿の裏側に重ねて取り込むと、改善できる場合があります。

「使用できる原稿」138

チェック

［イメージタイプ］ダイアログの自動露出オプションを、「書類」に設定していますか？

自動露出オプションを「書類」に設定すると、ハイライト（画像の最も明るい部分）が 255（真っ白）になるように調整されます。そのため、裏写りを防止できます。また次の効果もあります。

「イメージタイプ」214

- 文字がくっきりした画像になります。
- 背景地の黄色味などの色かぶりを除去できます。

画像にモアレ（網目状の陰影）が生じる

取り込んだ画像に網目状の陰影（モアレ）が生じる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

印刷物などのスクリーン処理された原稿を取り込んでいませんか？

印刷物などは、スクリーン処理がされているため、モアレ（網目状の陰影）が発生しやすい原稿です。モアレを完全になくすことはできませんが、次のいずれかの方法で少なくすることができます。

- EPSON TWAIN の「アンシャープマスク」のチェックを外して取り込む
  「基本設定」208
- ［イメージタイプ］で［カラー書類］または［白黒書類］を選択して取り込む
  「イメージタイプ」214
- 原稿の向きを変えて取り込み、アプリケーションソフトで本来の向きに回転する
- EPSON TWAIN の「ズーム」の設定を少し変更して取り込む
  「基本設定」208

ポイント

画像取り込みにおけるモアレ
スクリーン処理された印刷物の画像は、ドット（点）の集まりで構成されています。この画像を本スキャナで取り込んだときに、印刷上のドットと取り込み後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生します。

アンシャープマスクのチェックを外したり、イメージタイプを選択し直したり、原稿の向きを変えて取り込むことによって、ドットの一致をある程度防ぐことができますが、完全に防ぐことはできません。

印刷におけるモアレ
画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換します。網点は中心部ほど高濃度になっていて、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出されます。網点はハーフトーンスクリーンとも言い、網点の配列される角度をスクリーン角度といいます。

2 色以上で印刷する場合は、それぞれの色ごとにこの処理（スクリーン処理）を行い、印刷時に再び重ね合わせられますが、このときにそれぞれのスクリーン角度が一致（＝網点が重複）すると、モアレが発生します。

画像が画面に大きく表示される

取り込んだ画像が必要以上に画面に大きく表示される。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

画像を高解像度で取り込んでいませんか？

通常ディスプレイの解像度は 70 〜 90dpi しかありません。アプリケーションソフトによっては、取り込んだ画像データの各画素（画像を構成している細かな点の一つ一つ）を画面の解像度に対応させて表示するものがあります。
その場合、高解像度の画像データは大きく表示されます。アプリケーションソフト上で縮小してご確認ください。印刷すると原稿と同じ大きさになります。

文字原稿の認識率がよくない

OCR ソフト（読ん de!! ココ パーソナルなど）で取り込んだ文字原稿の文字の認識率がよくない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

原稿が斜めにセットされていませんか？

原稿が斜めにセットされていると、認識率は低下します。まっすぐにセットしてください。また、原稿カバーを閉じる時は、原稿が動かないようにゆっくり閉じてください。

チェック

［イメージタイプ］や［出力機器］を正しく設定していますか？

［イメージ制御］ダイアログの「しきい値」を調整してください。
しきい値とは、白として取り込む部分と、黒として取り込む部分の明るさの境界を決めるものです。
「文字原稿の認識率を上げて取り込もう」177

それでも認識率が向上しない場合は、OCR ソフト側の補正機能（かすれ補正など）を試してみてください。また、文字のフォントサイズによって認識領域を分けるなどの工夫をしてみてください。詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

チェック

原稿の品質に問題がありませんか？

文字原稿の認識率は、原稿の状態に左右されます。次の場合、認識率は下がることがあります。なお、手書き文字は認識できません。

- 何度もコピーした原稿（コピーのコピー）
- FAX 受信した原稿
- 文字間や行間が狭すぎる原稿
- 文字に罫線や下線がかかっている原稿
- 草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、8 ポイント未満の小さな文字が使われている原稿
- 折り跡やしわがある原稿
- 本の綴じ込み付近

ポイント

詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

画像の色が原稿と違う

取り込んだ画像がセットした原稿の色合いと異なる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

[イメージタイプ］を正しく設定していますか？

取り込む原稿の種類や画像の用途に合わせて、基本設定の「イメージタイプ」を正しく設定してください。
「イメージタイプ」214

チェック

ディスプレイの表示色数が 256 色以下になっていませんか？

フルカラー（1677 万色以上）のデータを表示させるのであれば、表示色を Windows の場合 High Color（65000 色）以上、Macintosh の場合 32,000 色以上にしなければきれいな表示は得られません。

チェック

[環境設定］ダイアログの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。
「環境設定」232

[環境設定］の［カラー］タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、AUTO ボタンを使用して調整してください。

ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。
「基本設定」208

チェック

ディスプレイの調整はできていますか？

ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、取り込んだ画像が適切な明るさ / 色あいで表示されませんし、また印刷結果が予測できません。ディスプレイを正しく調整してください。
「ディスプレイについて」271

チェック

アプリケーションソフトでのモニタ設定をしていますか？

Adobe Photoshop などのフォトレタッチソフトを使用している場合は、フォトレタッチソフト側の［モニタ設定］などで、モニタ（ディスプレイのことを多くのフォトレタッチソフトではモニタと表現しています）のキャリブレーションを行ってください。
モニタ設定を行うと、モニタやディスプレイアダプタによるクセをソフト上で取り除き、画像を適切に表示することができます。
詳しい手順については、お使いのフォトレタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

ポイント

印刷物とディスプレイの色は一致しない
印刷物は CMY（シアン・マゼンタ・イエロー / 色の三原色）、ディスプレイは RGB（赤・緑・青 / 光の三原色）で色を表現するため、すべての明るさや色あいを完全に一致させることはできません。
自分が最も気になる部分（肌色など）が合うように、EPSON TWAIN またはフォトレタッチソフトで調整してみてください。

ディスプレイと印刷結果の色が合わない

せっかくきれいに取り込んだ画像を印刷するとディスプレイと印刷結果の色合いが異なる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

カラーマッチング技術を使用してみましたか？

Windows の「ICM/sRGB」や Macintosh の「ColorSync」などのカラーマッチング技術を使用してみてください。Windows の場合は、[画面のプロパティ]で、お使いのディスプレイ用のカラープロファイル（色変換用の情報が入っているファイル）を追加しておくと、さらに、ディスプレイとの印刷結果の色を合わせることができます。

また、印刷に使用するアプリケーションソフトで sRGB の設定をしておいてください。そうしないと、sRGB を使用してもディスプレイと印刷結果の色は合いません。
「カラーマネージメントシステムについて」274

チェック

ディスプレイの調整はできていますか？

ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、印刷結果が予測できません。ディスプレイを正しく調整してください。
「ディスプレイについて」271

チェック

アプリケーションソフトでのモニタ設定をしていますか？

Adobe Photoshop などのフォトレタッチソフトを使用している場合は、フォトレタッチソフト側の［モニタ設定］などで、モニタ（ディスプレイのことを多くのフォトレタッチソフトではモニタと表現しています）のキャリブレーションを行ってください。
モニタ設定を行うと、モニタやディスプレイアダプタによるクセをソフト上で取り除き、画像を適切に表示することができます。
詳しい手順については、お使いのフォトレタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

ポイント

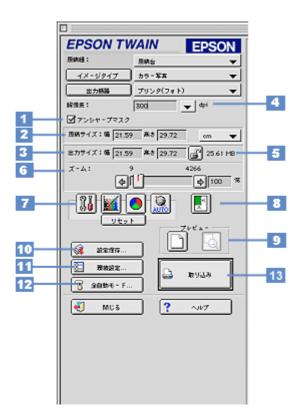
印刷物とディスプレイの色は一致しない
印刷物は CMY（シアン・マゼンタ・イエロー / 色の三原色）、ディスプレイは RGB（赤・緑・青 / 光の三原色）で色を表現するため、すべての色を完全に一致させることはできません。また、インクジェットプリンタで印刷する場合、プリンタで表現する画素（インクの粒）はインクの色そのままであるのに対し、ディスプレイは画素 1 つ 1 つの階調を豊富に表現できます。そのため、画像の階調表現力はディスプレイの方が圧倒的に勝ります。

自分が最も気になる部分（肌色など）の色や階調が合うように、EPSON TWAIN またはフォトレタッチソフトで画質を調整してみてください。

書籍のご案内
「カラーマネージメント !」
カラーマネージメントシステムの使いこなしテクニックが徹底解説されています。モニタキャリブレーションについても詳しく解説されています。
ISBN4-87280-336-1
発行所：株式会社 IDG コミュニケーションズ

EPSON TWAIN ドライバ

基本設定

「基本設定」画面では、原稿を取り込むために必要な基本的な設定とプレビュー画面の表示、取り込み範囲の指定や、取り込みを行うことができます。詳細な設定を行う画面も「基本設定」画面から開くことができます。

1	アンシャープマスク	［アンシャープマスク］チェックボックスをチェックすると、画像をシャープにすることができます。初期設定では、このチェックボックスはチェックされています。	
		チェックあり	チェックなし

ポイント

- 雑誌、カタログなど（反射原稿）の印刷物の取り込みで、暗い斑点模様や虹のような模様が発生した場合は、チェックを外してください。これらの模様（モアレ）を目立たなくできます。
- イメージタイプを［イラスト］［文字 / 線画］に設定している場合、この項目はグレー表示されて無効になります。

2	原稿サイズ	画像のサイズが幅（W）と高さ（H）で表示されます。プレビュー画面で取り込み範囲を指定すると、ここに取り込み範囲のサイズが連動して表示されます。任意の数値を入力することも可能です。	
		単位	サイズの単位は、ピクセル・インチ・cm のいずれかを選択することができます。［出力機器］をスクリーンにしたときはピクセル、スクリーン以外にしたときは cm を選択してください。 単位を変えると、原稿サイズおよび出力サイズの数値が連動して変化します。
3	出力サイズ	通常は、プレビュー画面で取り込み範囲を指定すると、ここに出力サイズが連動して表示されます。ズームの設定が 100% のときは、原稿サイズと同じ数値が表示されます。 原稿サイズの単位を変えると、この数値も連動して変化します。	
			このボタンをクリックして出力サイズをロックすると、出力サイズ固定のままで、取り込み範囲を拡大 / 縮小できます。このとき、縦横比は維持されるとともに、ズームの設定が連動して変化します。
4	解像度	解像度の設定を一時的に変更します。取り込み後の画像ファイルの解像度が、ここに表示されている数値になるように取り込みます。通常、ここに表示されている数値は、［出力機器］の設定で自動的に決まります。一時的に解像度を変えて画像を取り込みたい場合は、ここで解像度を変更することができます。 解像度を数千 dpi まで上げると、データ転送の規格上の制限などにより、取り込み可能サイズに制限が生じます。そのため、以下のケースではエラーメッセージが表示され、取り込みができない場合があります。 ・取り込む範囲が大きすぎる場合。 この場合は、解像度を下げるか、取り込む範囲を小さくしてください。 ・取り込む範囲が本スキャナの原点から離れている場合。 この場合は、解像度を下げるか、原稿を原点近くに置いてください。 ・取り込む範囲の横幅が広すぎる場合。 この場合は、解像度を下げるか、取り込む範囲の横幅を狭めてください。	

ポイント

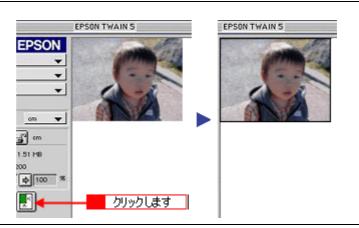
- リストの中に最適な解像度がない場合は、任意の数値を 1dpi 刻みで入力することができます。入力できる数値の範囲は、お使いのスキャナによって異なります。
（解像度を上げると、出力サイズの［ズーム］の値が制限されます。）
- この設定は、次に EPSON TWAIN を起動したときには元の設定に戻ります。設定した解像度を保存したい場合は、［出力機器］ボタンをクリックし、出力機器を新規登録してください。

5	保存サイズ	ここには、出力サイズなどに従って画像を取り込み、保存したときの容量の目安（BMP ファイルでの保存サイズ）が表示されます。 保存形式によってはサイズが異なります（JPEG 形式で圧縮した場合など）。
6	ズーム	スライドバーまたは［矢印］ボタンにより、拡大率 / 縮小率を 1%刻みで設定できます。なお、解像度を上げると、ズームの設定が 100%以上にできない場合があります。

7	調整ボタン		イメージ制御ボタン クリックすると［イメージ制御］ダイアログを表示します。 「イメージ制御」221	
			濃度補正ボタン クリックすると［濃度補正］ダイアログを表示します。 「濃度補正」226	
			カラー調整ボタン クリックすると［カラー調整］ダイアログを表示します。 「カラー調整」224	
			自動露出ボタン プレビュー画面中の、取り込み範囲内の露出（明暗）を自動調整します。自動露出を実行すると、［イメージ制御］のハイライト（露出も連動）/ シャドウ / ガンマが自動的に調整されます。これにより、ほとんどの画像で適切な露出が得られます。	
			実行前	実行後
			自動露出が有効に機能しない原稿 原稿に白や黒の部分がない場合は、［イメージ制御］のハイライト / シャドウ / ガンマなどで明暗を調整してください。自動露出では、取り込み範囲内の最も明るい部分を白に近く、暗い部分を黒に近くします。そのため、原稿に白い部分がない場合は全体が明るくなりすぎたり、黒い部分がない場合は全体が暗くなりすぎたりして適切な画像にならない場合があります。	
			本来の画像	自動露出で明るくなりすぎた画像
		［リセット］ボタン	全ての調整結果を、プレビュー後の画像に戻します。	

ポイント

- 初期設定では、全面およびズームプレビュー後に自動露出調整が行われますので、［自動露出］ボタンによる調整は不要です。［自動露出］ボタンは、次のときに使用してください。
- ［イメージ制御］ダイアログなどで画質を調整したあと、［リセット］ボタンにより調整前の状態に戻した場合。
- ズームプレビューしない場合。この場合は画像全面での露出調整になりますので、取り込み範囲内での露出は必ずしも適切にはなりません。そのため、［自動露出］ボタンをクリックするか、またはズームプレビューによって露出調整してください。
- イメージタイプを［文字 / 線画］に設定している場合、このボタンはグレー表示され、調整できません。

<table>
<tr><td rowspan="4">8</td><td rowspan="4">自動範囲選択
（反射原稿の場合）</td><td rowspan="4"></td><td>［自動範囲選択］ボタン
このボタンをクリックすると、原稿の配置を認識して、取り込み範囲を自動選択できます。</td></tr>
<tr><td></td></tr>
<tr><td>原稿に複数の画像がある場合は、取り込みたい画像のおおよその位置をマウスでドラッグして選択してから、［自動範囲選択］ボタンをクリックします。
そうすることにより目的の範囲をより簡単に選択することができます。</td></tr>
<tr><td></td></tr>
</table>

No.	項目	説明
9	プレビュー	［プレビュー］ボタン 本機の原稿台の全範囲をプレビューし、プレビュー画像を表示します。 プレビュー画像は、イメージタイプ・出力機器の設定によって色数などが変わります。
		［ズームプレビュー］ボタン 取り込み範囲を再プレビューし、ズーム表示します。細かい部分を確認したいときに便利です。
10	［設定保存］ボタン	クリックすると［設定保存］ダイアログを表示します。 取り込み範囲・出力機器・画質調整などの設定をひとまとめにして、名前をつけて保存する場合に使用します。 また、保存した設定を複数選択して、それぞれの設定で一括取り込みすることができます。 「設定保存」230
11	［環境設定］ボタン	クリックすると［環境設定］ダイアログを表示します。 EPSON TWAIN の動作環境などを設定する場合に使用します。 「環境設定」232
12	［全自動モード］ボタン	原稿台にセットした原稿のタイプを自動認識してタイプに合った設定で取り込む「全自動モード」に切り替わります。 「全自動モードの設定を変更しよう」183
13	［取り込み］ボタン	取り込みを実行します。

取り込み範囲の指定

反射原稿をプレビューした後は、取り込み範囲またはズームプレビューする範囲をプレビュー画像で指定します。

＋	カーソルが＋のときに、取り込む範囲をドラッグして指定します。
↕	カーソルを取り込み範囲の線上に移動すると矢印の形になります。このとき、取り込み範囲をドラッグにより拡大 / 縮小できます（縦横比を維持するには［Shift］キーを押しながらドラッグします）。
✋	カーソルを取り込み範囲の中に移動すると手の形になります。 このとき、取り込み範囲をドラッグにより移動できます（縦または横位置を固定して移動するには、［Shift］キーを押しながらドラッグします）。

イメージタイプ

［イメージタイプ］ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。それぞれの原稿にあった設定を変更することができます。また、新たに設定を保存することもできます。
お使いの機種によっては、選択できない項目もあります。

イメージタイプ別の特長

イメージタイプ別の特長は、次の通りです。

イメージタイプ名	特長
カラー写真	1677 万色のカラーで取り込みます。カラー原稿の場合、通常はこの設定で十分な画質が得られます。
カラー書類	1677 万色のカラーで取り込みます。カラー写真での取り込みでモアレパターンが発生した場合や白い部分を真っ白に取り込みたい場合に選択してください。取り込みに少し時間がかかります。
白黒写真	256 階調で、白黒写真のように取り込みます。白黒写真の場合、通常はこの設定で十分な画質が得られます。
白黒書類	256 階調で、白黒に取り込みます。白黒写真での取り込みでモアレパターンが発生した場合に選択してください。なお、モアレ除去はソフトウェアで処理しますので、取り込みに少し時間がかかります。
イラスト	1677 万色のカラーで取り込みます。グラフ、ロゴ、地図などの取り込みに適しています。
文字 / 線画	文字原稿を取り込む場合に選択します。白黒 2 値（白か黒）のデータで取り込みます。

定義済みのイメージタイプ

イメージタイプは、以下の設定があらかじめ定義されています。通常は既存のイメージタイプ名を選択するだけで、最適な設定ができます。

イメージタイプ名	表現色	品質	モアレ除去	カラースムージング	自動露出オプション	ドロップアウト	モノクロオプション	中間調
カラー写真	24bit カラー	高品位	Off	Off	写真	–	–	–
カラー書類	24bit カラー	高品位	On	Off	書類	–	–	–
白黒写真	8bit グレー	高品位	Off	–	写真	なし	–	–
白黒書類	8bit グレー	高品位	On	–	書類	なし	–	–
イラスト	24bit カラー	高品位	Off	On	書類	–	–	–

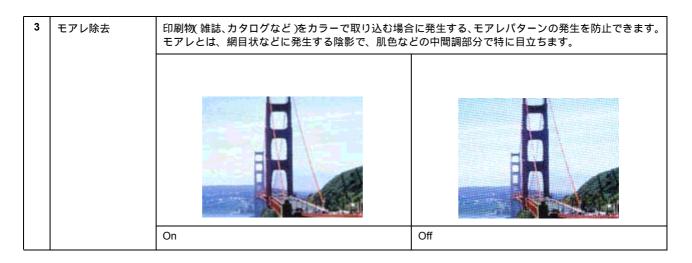
イメージタイプ名	表現色	品質	モアレ除去	カラースムージング	自動露出オプション	ドロップアウト	モノクロオプション	中間調
文字／線画	モノクロ	−	−	−	−	なし	−	−

ポイント

- ［イメージタイプ］で［イラスト］［文字 / 線画］を選択した場合は、［アンシャープマスク］を設定できません。
- 次の場合は、［イメージタイプ］の［イラスト］を選択しないでください。
  ・カラー写真をフルカラーで取り込みたい場合
  ・グラデーションや近似色を正確に取り込みたい場合
- TWAIN 対応アプリケーションソフトが各色 16bit 以上での入力に対応していない場合は、24bit カラーまたは 8bit グレーで取り込んでください。なお、ディスプレイ上では 24bit カラーまたは 8bit グレーとの違いは分かりません（OS、ディスプレイアダプタが対応できないため）。TWAIN 対応アプリケーションソフトが各色 16bit 以上での入力に対応しているかどうかは、TWAIN 対応アプリケーションソフトの取扱説明書で確認するか、またはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

各項目の説明

1	表現色	取り込む色数（カラー、モノクロ）を、以下の中から選択します。	
		24bit カラー（1,677 万色）	8bit グレー（256 階調）
		モノクロ（線画の場合）	
2	品質	［品質］機能は、本機では選択できません。	

<table>
<tr><td rowspan="3">3</td><td rowspan="3">モアレ除去</td><td colspan="2">印刷物(雑誌、カタログなど)をカラーで取り込む場合に発生する、モアレパターンの発生を防止できます。モアレとは、網目状などに発生する陰影で、肌色などの中間調部分で特に目立ちます。</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>On</td><td>Off</td></tr>
</table>

ポイント

- **モアレ発生を防ぐには、この機能を利用する前に、［アンシャープマスク］のチェックを外すことをお勧めします。理由は次の通りです。**
  ［アンシャープマスク］のチェックを外すだけでも、モアレが目立たなくなります。
  ［モアレ除去］はソフトウェアで処理するため、チェックすると取り込みに時間がかかります。特に、モアレ発生の原理上、300dpi **以上の高解像度での取り込みでは、取り込みに時間がかかるだけで効果はあまりありません。この機能は、**150dpi **での取り込みで最も効果があります。**
  「基本設定」208
- **画像にモアレパターンが発生しているかどうかは、画像をディスプレイ上で** 100%（1:1）**で表示して確認してください（縮小表示すると画像が荒くなってモアレが発生しているように見えるため）。**

4	カラー スムージング	カラー原稿を、特定の色に減色して（割り当てて）取り込みます。近似色は 1 つの色に割り当てられるため、色数の少ないグラフ、ロゴ、地図などの取り込みで色ムラを発生させません。ただし、カラー写真をフルカラーで取り込みたい場合や、グラデーションや近似色を正確に取り込みたい場合は、この機能を使用しないでください。
5	自動露出 オプション	表現色がカラー、グレーの場合に、原稿タイプ［写真］または［書類］から選択すると、選択した原稿タイプに適した露出の調整が自動的に行われます。

6	ドロップアウト	通常は、設定を変更する必要はありません。 表現色がモノクロ、グレーの場合に、ドロップアウトカラー（取り込まない色）を設定できます。[なし] [赤] [緑] [青] から選択します。[なし] を選択した場合も、[緑] を選択した場合と同様に、緑色を取り込みません。	
		元の画像	
		なし / 緑	赤
		青	
		画像によっては、緑または青がきれいに消えない場合があります。その場合は、[イメージ制御] ダイアログの [しきい値] を調整してください。	
7	モノクロオプション	[モノクロオプション] 機能は、本機では選択できません。	
8	中間調	[中間調] 機能は、本機では選択できません。	
9	[保存] ボタン	設定内容を保存して、登録します。 (1) 変更したいイメージタイプ名をリストから選びます。 新たなイメージタイプ名として登録する場合は、「イメージタイプ名」テキストボックスに、新規名称を入力（上書き）します。 ※入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。 (2) 各項目を設定します。 (3) 設定が終了したら、[保存] ボタンをクリックします。 必ず、[保存] ボタンをクリックして登録してください。[OK] ボタンでは、設定した内容は登録されません。 (4) [OK] ボタンをクリックします。 登録が実行され、ダイアログボックスが閉じます。 誤って登録した場合や、登録を取り消したい場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。	
10	[削除] ボタン	イメージタイプ名を削除します。 (1) 削除したいイメージタイプ名をリストから選びます。 (2) [削除] ボタンをクリックします。 (3) 確認画面が表示されます。[はい] ボタンをクリックします。 (4) [OK] ボタンをクリックします。 削除が実行され、ダイアログボックスが閉じます。 誤って削除した場合や、削除を取り消したい場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。	

出力機器

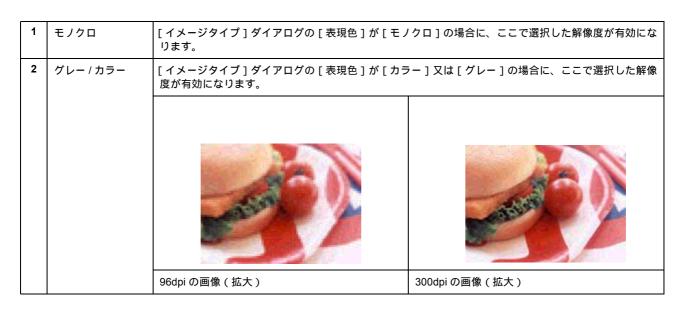
［出力機器］ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。出力機器は、解像度の設定に名前を付けたものです。

定義済みの出力機器

出力機器は、いくつかの設定があらかじめ定義されています。通常は既存の出力機器名を選択するだけで、出力機器に最適な解像度に設定されます。

出力機器名	解像度		説明
	モノクロ	グレー / カラー	
スクリーン / Web	Windows：96dpi Macintoch：72dpi		壁紙などのディスプレイ表示用や、ホームページ用画像の取り込みを行う場合に選択してください。
FAX	200dpi		FAX 送信用画像の取り込みを行う場合に選択してください。
OCR	400dpi		文字原稿の取り込み（OCR）を行う場合に選択してください。
プリンタ（ファイン）	360dpi	150dpi	本機でファイン印刷する場合に選択してください。
プリンタ（フォト）	720dpi	300dpi	本機でフォト / スーパーファイン印刷する場合に選択してください。
レーザープリンタ	600dpi	200dpi	レーザープリンタで印刷する場合に選択してください。

各項目の説明

1	モノクロ	［イメージタイプ］ダイアログの［表現色］が［モノクロ］の場合に、ここで選択した解像度が有効になります。	
2	グレー / カラー	［イメージタイプ］ダイアログの［表現色］が［カラー］又は［グレー］の場合に、ここで選択した解像度が有効になります。	
		96dpi の画像（拡大）	300dpi の画像（拡大）

ポイント

- この解像度とは、スキャナからの取り込み解像度（入力解像度）ではなく、取り込み後の画像ファイルの解像度（出力解像度）です（取り込み解像度は、この解像度の設定・出力サイズの設定・取り込み範囲の設定によって自動的に決まります）。
  入力解像度を出力解像度と一致させたい場合は、ズームの設定を 100%にしてください。
- リストの中に最適な解像度がない場合は、任意の数値を 1dpi 刻みで入力することができます。入力できる数値の範囲は、お使いのスキャナによって異なります。
  （解像度を上げると、出力サイズの［ズーム］の値が制限されます）
- 出版用途で、画像をハーフトーンスクリーン処理して出力する場合は、［グレー / カラー］項目の解像度を次のように設定してください。
  解像度＝スクリーン線数× 2 ×拡大率

カラー写真 / 白黒写真をプリンタで印刷する場合の解像度

出力機器の初期設定では、次の解像度に設定されます。

プリンタ（ファイン）	150dpi	EPSON のインクジェットプリンタでの、ファイン印刷に適した解像度
プリンタ（フォト）	300dpi	EPSON のインクジェットプリンタでの、フォト／スーパーファイン印刷に適した解像度

通常は、初期設定の解像度のままで取り込むことをお薦めします。しかしハードディスク空き容量が少なくて解像度を下げたい場合や、最高の印刷品質を得るために解像度を上げたい場合は、下表の範囲で変更してください。

印刷モード(品質)	画像データの解像度の目安
	100dpi 200dpi 300dpi 400dpi
ファイン印刷	●●●●●●●●
スーパーファイン印刷	●●●●●●●●
フォト印刷	●●●●●●●●

解像度を表の範囲より高い数値に設定しても、印刷品質は向上しません。画像の取り込み、保存、読み込み、印刷などに時間がかかるだけです。

白黒の線画をプリンタで印刷する場合の解像度

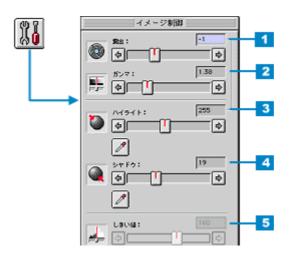
白黒の線画を取り込んで、プリンタで印刷する場合、解像度は出力機器の初期設定のままでお使いください。線のギザギザが目立たない解像度に設定されています。

何らかの理由で解像度を変更する場合は、印刷解像度の整数分の 1 倍に設定してください（360dpi、240dpi など）。線のギザギザが目立たなくなります。

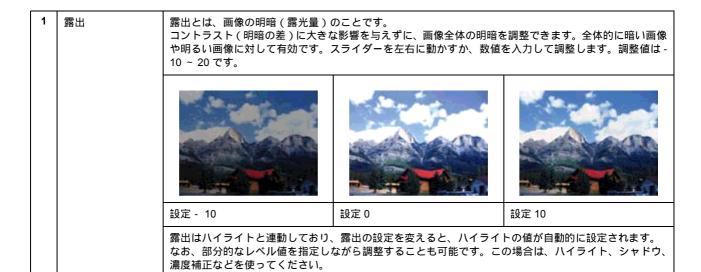
3	［保存］ボタン	設定内容を保存・登録します。 （1）変更したい出力機器名をリストから選びます。新たな出力機器名を追加する場合は、［出力機器名］テキストボックスに、新規名称を入力（上書き）します。 ※入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。 （2）解像度を設定します。 （3）設定が終了したら、［保存］ボタンをクリックします。 必ず、[保存] ボタンをクリックして登録してください。[OK] ボタンでは、設定した内容は登録されません。 （4）［OK］ボタンをクリックします。 登録が実行され、ダイアログボックスが閉じます。 誤って登録した場合や、登録を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

4	**［削除］ボタン**	**出力機器名を削除します。** （1）**削除したい出力機器名をリストから選びます。** （2）［**削除**］**ボタンをクリックします。出力機器名がリストから削除されます。** （3）**確認画面が表示されるので、よければ［はい］ボタンをクリックします。** （4）［OK］**ボタンをクリックします。** **削除が実行され、ダイアログボックスが閉じます。** **誤って削除した場合や、削除を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。**

イメージ制御

［イメージ制御］ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。
ここでは、プレビュー画像で効果を確認しながら、ハイライトやシャドウなど、取り込む画像の明暗を調整できます。

ポイント

- 初期設定では、プレビューおよびズームプレビュー後に自動露出調整が行われます。イメージ制御は、自動露出調整によって意図した結果が得られない場合に調整してください。
- 調整を中止するには、キーボードの［ESC］キーを押します。

1	露出	露出とは、画像の明暗（露光量）のことです。 コントラスト（明暗の差）に大きな影響を与えずに、画像全体の明暗を調整できます。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。スライダーを左右に動かすか、数値を入力して調整します。調整値は -10 〜 20 です。		
		設定－ 10	設定 0	設定 10
		露出はハイライトと連動しており、露出の設定を変えると、ハイライトの値が自動的に設定されます。 なお、部分的なレベル値を指定しながら調整することも可能です。この場合は、ハイライト、シャドウ、濃度補正などを使ってください。		

2	ガンマ	ガンマとは、ハイライトとシャドウの中間部分の濃度のことです。 画像の明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、中間部分（ミッドトーン）の明るさを調整できます。中間部分が薄い（明るい）画像や、濃い（暗い）画像に対して有効です。 スライダーを左右に動かすか、数値を入力して調整します。調整値は 0.50 ～ 5.00 です。		
		設定 1	設定 1.80	設定 3
		自動露出調整によりガンマも自動調整されますが、このときのガンマの標準値には、「環境設定」画面の［ディスプレイガンマ］の設定が（ディスプレイにあわせた数値になるように）加味されます。		
3	ハイライト	ハイライトとは、画像の最も明るい部分のことです。 画像のハイライトレベル（最も明るい部分の値）を調整する機能です。スライダーを左右に動かすか、数値を入力して調整します。調整値は 61 ～ 490 です。		
		設定 100	設定 150	設定 200
		ハイライトは露出と連動しており、ハイライトの設定を変えると、露出の値が自動的に設定されます。		
			［ハイライト］ボタンをクリックすると、マウスポインタがスポイトアイコンに変わり、プレビューウィンドウに移動します。プレビュー画像の一番明るい部分をクリックすると、その領域をハイライトとして、画像全体の明暗を調整します。 出力値（濃度）は 245（やや濃度のある白）近傍になります。出力値は、［濃度補正］ダイアログで変更可能です。	
4	シャドウ	シャドウとは、画像の最も暗い部分のことです。 画像のシャドウレベル（最も暗い部分の値）を調整する機能です。スライダーを左右に動かすか、数値を入力して調整します。調整値は 0 ～ 60 です。		
		設定 0	設定 10	設定 30
			［シャドウ］ボタンをクリックすると、マウスポインタがスポイトアイコンに変わり、プレビューウィンドウに移動します。プレビュー画像の一番暗い部分をクリックすると、その領域をシャドウとして、画像全体の明暗を調整します。 出力値（濃度）は 8（濃いグレー）近傍になります。出力値は、［濃度補正］ダイアログで変更可能です。	

<table>
<tr><td rowspan="3">5</td><td rowspan="3">しきい値</td><td colspan="3">しきい値とは、画像を白か黒のモノクロ（2 値）データで取り込むときの、白黒の境を決めるものです。
［イメージタイプ］ダイアログで、表現色＝モノクロに設定した場合に有効です。
この場合、明るさは 0 〜 255 で表されますが、通常 110 のしきい値を変えることにより、黒として取り込む範囲が変わります。文字原稿や図面などの取り込みで、文字や線がかすれる場合に有効です。スライダーを左右に動かすか、数値を入力して調整します。</td></tr>
<tr><td>光学解像度800dpi、
細画質、各色12bit
取り最大濃度3.3Dに
ますことなくスキャニン</td><td>光学解像度800dpi、
細画質、各色12bit
取り最大濃度3.3Dに
ますことなくスキャニン</td><td>光学解像度800dpi、
細画質、各色12bit
取り最大濃度3.3Dに
ますことなくスキャニン</td></tr>
<tr><td>設定 50</td><td>設定 110</td><td>設定 250</td></tr>
</table>

文字原稿の取り込みで認識率が良くないときは

文字がかすれる場合はしきい値の数値を大きい方に、文字がつぶれる（太る）場合はしきい値の数値を小さい方に調整してください。
最適なしきい値は原稿の状態によって異なりますので、繰り返し確認しながら最適な調整値を見つけてください。
「文字原稿の認識率を上げて取り込もう」177

カラー調整

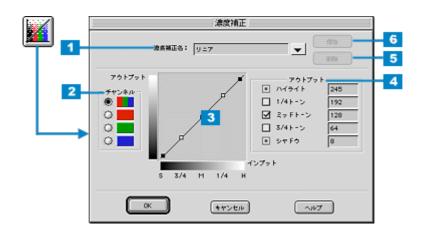
［カラー調整］ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。
ここでは、プレビュー画像で効果を確認しながら、色合いを調整できます。

ポイント

- グレーバランスは、自動露出調整によって意図した結果が得られない場合に調整してください。
- ［イメージタイプ］の設定が［カラー写真］［カラー書類］［イラスト］以外の場合、［カラー調整］ボタンはグレー表示され、調整できません。
- カラー調整を中止するには、キーボードの［ESC］キーを押します。

<table>
<tr><td rowspan="8">1</td><td rowspan="8">グレーバランス補正</td><td colspan="3">グレーバランスとは、選択した色が無彩色（白黒、グレー）となるように、画像全体の色かぶりを取り除くことができる機能で、次のような場合に有効です。
・ 原稿の中に、本来は無彩色（白黒）となる箇所がある場合
・ 原稿の中に、照明光そのもの、もしくはそれに近い色がある場合
スライダーを左右に動かすか、数値を入力して調整します。調整値は 0 〜 100 です。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>設定 0</td><td>設定 50</td><td>設定 100</td></tr>
<tr><td colspan="3">次の使用例を参考に活用してください。
・ 新聞紙上のフルカラー写真を取り込む場合：
スポイトアイコンで新聞紙の地の部分を選択し、スライドバーで 100 に設定する
・ 青空下で撮影したポジフィルムを取り込む場合：
スポイトアイコンで空を選択し、スライドバーで微調整する
・ ストロボを使わずに、室内で撮影した写真を取り込む場合：
スポイトアイコンで白壁・グレーの服・照明光などを選択し、スライドバーで微調整 する
・ 人物の写真を取り込む場合：
スポイトアイコンで白目、歯などを選択し、スライドバーで微調整する</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">［色調］ボタンをクリックすると、マウスポインタがスポイトアイコンに変わり、プレビューウィンドウに移動します。プレビュー画像中の、本来は白黒のグレーとなる部分をクリックしてスライドバーを調整すると、その領域が白黒のグレーになるように、全体の色を調整できます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">補正カラーボックス</td></tr>
<tr><td colspan="3">スポイトアイコンで選択した色が、補正カラーボックス（左）に示されます。調整された色は、補正カラーボックス（右）に表示されます。
スライダーを左右に動かすか、数値を入力すると、さらに微調整できます。調整値は 0 〜 100 です（数値によっては、画像の明暗が多少変化することがあります）。
0 は、グレーバランス機能を無効にします。ただし、スポイトアイコンで選択した色の情報は保持していますので、再調整可能です。
100 は、選択した色が完全な無彩色（白黒、グレー）となるように、画像全体の色かぶりを取り除きます。</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">彩度</td><td colspan="3">彩度とは、色のあざやかさ（純度）のことです。
プラスに設定すると色みが強くなります。マイナスに設定すると色みがなくなり（無彩色化していき）、グレーに近くなっていきます。
スライダーを左右に動かすか、数値を入力して調整します。調整値は -100 〜 100 です。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>設定－ 50</td><td>0</td><td>設定 50</td></tr>
</table>

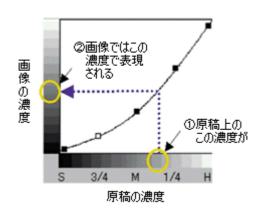
濃度補正

［濃度補正］ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。取り込む原稿の微妙な濃度補正をすることができます。

濃度補正のメリット

濃度はトーンともいいます。本機で取り込んだ画像の濃度データを、トーン曲線に合わせて補正し、出力データとする機能です。シャドウ、ミッドトーン（中間調）、ハイライトへと変化していく濃度の曲線を補正することで、画像全体の濃度をバランス良く仕上げることができます。

また、画像の色を構成する要素である RGB（R ＝赤、G ＝緑、B ＝青）のうち特定の色だけを指定して、その濃度を調整することもできます。

トーン曲線

濃度補正では、トーン曲線を使って濃度を補正します。グラフの x（横）軸は原稿の明るさ（入力値）を示し、y（縦）軸は取り込み後の画像の明るさ（出力値）を示します。スキャナで画像を取り込む際に、原稿の濃度データをトーン曲線に合わせて補正し、画像に反映します。

ポイント

- 濃度補正は、プレビュー後に行われる自動露出調整および、イメージ制御によって画像のハイライト / シャドウを適切な範囲に納めた上で、微妙な部分の追加補正としてご利用ください。最初から濃度補正を行うことは、お勧めしません。
- イメージタイプを［文字／線画］に設定している場合、このボタンはグレー表示され、補正できません。

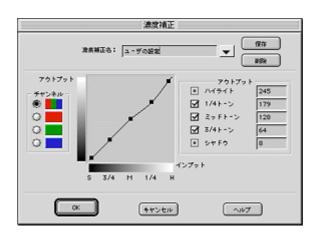
各項目の説明

1	濃度補正名	ここには、定義済みおよび保存済みの濃度補正名が表示されます。これらを元に、画像にあわせて微調整してください。 **リニア：** 濃度補正をしません。プレビュー画像上で明暗に問題がなければ、リニアのままで取り込んでください。なお、リニアでは、シャドウ＝ 8、ハイライト＝ 245 に設定されており、シャドウを黒ベタ（0）にせず、ハイライトを白（255）にとばさず取り込みます。 **より浅い感じに：** 露出アンダーなポジフィルムなどを、より浅い（明るい）感じに補正します。（露出アンダーとは、露出不足＝暗いことをいいます） **より重い感じに：** 露出オーバーなポジフィルムなどを、より重い（暗い）感じに補正します。（露出オーバーとは、露出過多＝明るいことをいいます） **フラットに：** コントラスト（明暗の差）が高すぎる画像を、自然なコントラストに補正します。 **コントラストに：** コントラスト（明暗の差）が低すぎる画像に、メリハリをつけます。
2	チャンネル	濃度補正するチャンネル（色）を、RGB 全体・R（赤）のみ・ G（緑）のみ・B（青）のみの中から選択します。 画像全体の濃度を補正する場合は RGB 全体のまま、各色のみ補正する場合は各色を選択します。

3	トーン曲線エディタ	トーン曲線上の 5 点をドラッグし、トーン曲線を自由に補正できます。 グラフの x（横）軸は原稿の明るさ（入力値）を示し、y（縦）軸は取り込み後の画像の明るさ（出力値）を示します。 初期設定では、シャドウ（グラフ左下）の出力値は 8、ハイライト（グラフ右上）の出力値は 245 になっていますので、シャドウを黒ベタ（0）にせず、ハイライトを白（255）にとばさず、取り込みます。 補正中に、補正前の状態に戻したくなった場合は、（1）濃度補正メニューで［リニア］を選んでください
4	アウトプット	トーン曲線を補正すると、各レベルの値が連動して表示されます。ここに数値を入力して、トーン曲線を補正することもできます。入力できる数値は 0 ～ 255 です。 濃度を変更しないレベルがある場合は、アウトプットで固定するレベルをチェックします。

ポイント

1/4 トーン、ミッドトーン、3/4 トーンの左にあるチェックボックスをチェックすると、チェックしたレベルの濃度に影響を与えずに、他のレベルの濃度を補正できます。

下図は 3/4 トーンをチェックして固定し、1/4 トーンのレベルを下げた例。この場合、暗い部分に大きな影響を与えずに、明るい部分が少し暗くなります。

5	［削除］ボタン	このボタンをクリックすると、作成・登録したトーン曲線を削除できます。 （1）濃度補正メニューから、削除したい名称を選択し、［削除］ボタンをクリックします。 （2）確認画面が表示されるので、よければ［はい］ボタンをクリックします。 （3）［OK］ボタンをクリックすると、削除を実行します。誤って削除した場合や、削除を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。削除は実行されません。

6	［保存］ボタン	このボタンをクリックすると、作成したトーン曲線を登録できます。登録したトーン曲線は、あとから呼び出して濃度補正に利用することができます。 （1）トーン曲線を作成します。 （2）曲線が決定したら、［濃度補正名］に、登録する名称を入力（上書き）します。 入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。 （3）［保存］ボタンをクリックします。 （4）［OK］ボタンをクリックすると、登録を実行します。誤って登録した場合や、登録を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。登録は実行されません。

ポイント

［濃度補正］の特定の色を指定して濃度を補正する機能を利用すると、画像を補正するだけではなく、画像に特定の効果を付けることもできます。

調整前

調整後

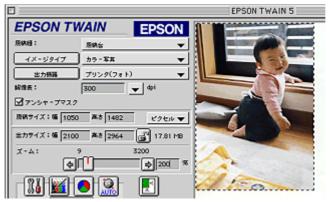
設定保存

［設定保存］ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。
ここでは、取り込み範囲・出力機器・画質調整などの設定をひとまとめにして、名前をつけて保存することができます。
また、保存した設定を複数選択して、それぞれの設定での一括取り込みが可能です。

1	［保存］ボタン	取り込みの設定を保存する際にクリックします。登録方法は、以下の手順を参考にしてください。 （1）取り込み範囲の設定・イメージタイプや出力機器の設定・画質調整などを行います。 （2）［設定保存］ボタンをクリックします。 （3）［ユーザの設定保存名］テキストボックスに、保存する名称を入力（上書き）します。 入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。 （4）［保存］ボタンをクリックして保存します。 （5）［OK］ボタンをクリックすると、保存を実行します。誤って保存した場合や、保存を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。保存は実行されません。 保存した設定で取り込むときは、取り込みに利用したい設定各称を選択し、［OK］ボタンをクリックして、EPSON TWAIN の［取り込み］ボタンをクリックします。
2	［削除］ボタン	不要となった取り込みの設定を削除する際にクリックします。削除方法は以下の手順を参考にしてください。 （1）［設定保存］ダイアログで、削除したい名称をクリックして選択します。 （2）［削除］ボタンをクリックします。 （3）確認画面が表示されるので、よければ［OK］ボタンをクリックします。 （4）［OK］ボタンをクリックすると、削除を実行します。誤って削除した場合や、削除を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。削除は実行されません。
3	［一括取り込み］ボタン	保存した複数の取り込み設定で一括で取り込む場合にクリックします。一括取り込みを行うには、TWAIN 対応アプリケーションソフトが複数取り込みに対応している必要があります。TWAIN 対応アプリケーションソフトの取扱説明書でご確認ください。 （1）［設定保存］ダイアログで、取り込みに利用したい設定名称を、［Shift］または［Ctrl］キーを押しながらクリックして選択します。 （2）［一括取り込み］ボタンをクリックして取り込みます。

設定保存のメリット

設定保存は、次のメリットがあります。

- 例えば写真を 2 倍に拡大して 300dpi で取り込む設定（イメージタイプ・出力機器・ズームの設定および取り込み範囲の位置など）を保存し、常に同じ位置に写真をセットすれば、イメージタイプ・出力機器・ズーム・取り込み範囲などをそのつど設定する必要がありません。

例えば、写真を２倍に拡大して300dpiで取り込む設定を保存できます。

- 同じ原稿を、画質調整の設定を変えて、一回の操作でまとめて取り込むことが可能です。

環境設定

［環境設定］ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。 ここでは、EPSON TWAIN の動作環境などが設定できます。

プレビュー

［高速プレビュー］、［透過原稿ユニット選択時、サムネイルを表示］機能は、本機では使用できません。

1	TWAIN 起動時プレビューを実行	EPSON TWAIN（マニュアルモード）を起動したときに、自動的にプレビューを行います。初期設定ではこのチェックボックスがチェックされています。

カラー

1	ドライバによる色補正	このラジオボタンをクリックすると、画像の明暗や色合いは、自動露出、イメージ制御、カラー調整、濃度補正などの設定に従って補正されます。	
		ディスプレイガンマ	ガンマとは、取り込んだ画像の濃度データを出力機器の特性に合わせて補正する機能です。この値は、画像を最終的に出力する機器のガンマ値に合わせて設定してください。初期値は 1.8 です。上下の矢印ボタンを押すと 1.0 ～ 3.0 の範囲で、0.1 刻みで変更できます。 自動露出調整時に設定される［イメージ制御］ダイアログのガンマの標準値には、ディスプレイガンマの設定値が加味されます。 ・ 取り込んだ画像を印刷する場合は、プリンタドライバのガンマ値に合わせて設定します。 ・ Adobe ガンマユーティリティなどを用いて独自のモニタプロファイルを作成している場合は、そのプロファイル作成時に設定したガンマ値に合わせます。
		常に自動露出を実行	初期設定ではこのチェックボックスがチェックされており、次の時に画像の露出（明暗）を自動調整します。通常はチェックしたままでお使いください。 ・ プレビューおよびズームプレビュー実行時 ・ 取り込み枠の作成、移動、サイズ変更時
2	ICM (Windows) / ColorSync (Macintosh)	このラジオボタンをクリックすると、プレビュー画像や最終画像の補正に、が使用されます。 これらは、原稿、モニタ表示、印刷物の色合いを近づけるためのカラーマネジメントシステムのことです。原稿、モニタ表示、印刷物の色合いを近づけたい場合に選択してください。 ただし、カラーマネジメントシステムによる色補正には、モニタ表示ではアプリケーションソフトの対応が、印刷ではプリンタドライバの対応が必要です。アプリケーションソフトやプリンタドライバが に対応していない場合は使用しないください。	
		ソース（スキャナ）	通常は初期値（EPSON 標準）のままでお使いください。お使いのスキャナおよび原稿種（反射原稿や透過原稿）に最適な ICC プロファイルが選択され、最適な色補正が行われます。 市販のプロファイラを用いてプロファイルを作成・保存している場合は、ここにプロファイル名が表示されますので、ソースプロファイルとして利用できます。
		ターゲット	通常は初期値（）のままでお使いください。この ICC プロファイルは、多くのアプリケーションソフトやプリンタの初期設定としてよく使われています。 ターゲットのICCプロファイルリストは、次のように線で区切って表示されます。 ・ モニタ RGB 標準的なカラースペースである“sRGB“。これは、［コントロールパネル］－［画面］－［設定］画面－［詳細］ボタン－［色の管理］画面で、現在選択されているモニタのプロファイルです。 ・ Adobe Photoshop 5.0/5.5 の RGB カラースペース ・ そのほかのモニタおよびプリンタのプロファイル
		モニタ補正を行なってプレビューを表示	アプリケーションソフトに Adobe Photoshop 5.0 以降を使用している場合にチェックしてください。Adobe Photoshop 5.0 以降で表示される画像の明暗や色合いを、プレビュー画面上でより正確に再現することができます。Photoshop 6.0 以降 および、Illustrator 9.0 以降をお使いの場合は、必ずチェックしてください。
3	色補正なし	通常は選択しないでください。 このラジオボタンをクリックすると、画像の明暗や色あいを一切補正せずに取り込みます。自動露出、イメージ制御、カラー調整、濃度補正などの機能は無効になります。 市販のプロファイラを使用して、ソース（スキャナ）の ICC プロファイルを作成する場合に選んでください。	

ポイント

PRINT Image Matching 機能対応アプリケーションソフトで画像を取り込む場合、「ディスプレイガンマ」は設定できません。

「カラーマネージメントシステムについて」274

その他

1	設定を保存	EPSON TWAIN を閉じたときの各種設定を保存します。コンピュータの電源をオフにしても設定は保持され、次に EPSON TWAIN を起動したときに読み込まれます。初期設定ではこのチェックボックスがチェックされています。
2	作業ディスク	画像処理のために一時的に生成されるファイルの保存先を指定します。初期設定ではコンピュータの temp フォルダに設定されています。選択肢以外のフォルダを指定することはできません。
3	［初期化］ボタン	EPSON TWAIN のすべての設定を初期化します。クリックすると確認の画面が表示され、［はい］ボタンをクリックするとすべての設定を初期化し、EPSON TWAIN を終了します。

EPSON SMART PANEL

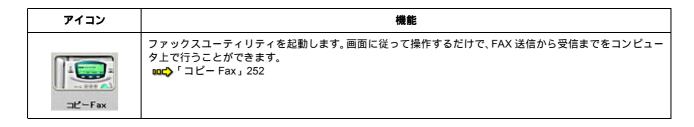
メイン画面（EPSON SMART PANEL）

操作パネルの［スキャナビ］ボタンを押すと EPSON SMART PANEL のメイン画面が表示されます。EPSON SMART PANEL では、目的のアプリケーションソフトを直接起動し、取り込んだ画像をそのアプリケーションソフトに転送して使用することができます。

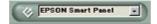
EPSON SMART PANEL でできること

EPSON SMART PANEL は、本機をより快適に活用できるアプリケーションソフトです。EPSON SMART PANEL を使うと、コピー、E メール、OCR（光学文字認識）、印刷などの機能が使え、素早く簡単な操作で最適な結果を得ることができます。

アイコン	機能
Web	取り込んだ画像を JPEG 形式に変換し、Web にアップロードします。 「Web」237
DPE	EPSON Easy Photo Print を起動します。写真を取り込んで簡単に焼き増し印刷できます。 「DPE」239
カード・カレンダー	PhotoImpression を起動します。取り込んだ画像を使って、カードやカレンダーを作成できます。 「カード・カレンダー」240
ファイル保存	ファイル保存では、取り込んだ画像を任意のファイル形式に変換して、画像をフォルダに保存することができます。 「ファイル保存」242
コピー	コピーユーティリティを起動します。スキャナ、コンピュータ、プリンタを連携して取り込んだ画像をコピーできます。 「コピー」244
OCR	OCR ソフト（読ん de!! ココ パーソナル）を起動します。文字原稿を取り込んで、原稿上の文字形状を文字と認識してテキストデータに変換できます。 「OCR」246
Eメール	画面に従って操作するだけで、画像をメールに添付して送ることができます。 対応メールソフトについては、エプソン販売のホームページをご覧ください。（http://www.i-love-epson.co.jp） 「E メール」248
アプリケーション	選択したアプリケーションソフトを起動して、起動したアプリケーションソフトに画像を取り込みます。 「アプリケーション」250

アイコン	機能
コピーFax	ファックスユーティリティを起動します。画面に従って操作するだけで、FAX 送信から受信までをコンピュータ上で行うことができます。 「コピー Fax」252

起動する機能を設定する

［スキャナビ］ボタンを押したときに起動する機能を設定できます。

1. 画面左下の［EPSON SMART PANEL］リストから、スキャナビボタンを押したときに起動する機能を選択します。

2. 選択した機能のアイコンにスキャナビボタンのマークが付きます。

［スキャナビ］ボタンを押すとスキャナビマークの付いた機能が自動的に起動します。

Web

［Web］ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。インターネット上で使用するのに適した解像度とファイル形式で画像を取り込み、指定のサイトにアップロードすることができます。Web 機能の詳細は、EPSON SMART PANEL の ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。ここでは機能の概要を説明します。

ポイント

「EPSON Photo Album」では、会員登録（無料）を行うだけで、誰でもインターネット上で画像を公開することができます。「EPSON Photo Album」について詳しくは、エプソン販売のホームページをご覧ください。（http://www.epsonphoto.ne.jp）

確認

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、自動的に４桁の番号を伴うファイル名が付けられます。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が以下の「イメージビューア」で表示されます。
		Web_01 / NewSoft Inc. / 25%
2	［新規スキャン］ボタン	新たに原稿を取り込む場合に、クリックします。原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	［確認終了］ボタン	このボタンをクリックすると、選択したファイルで次のステップ（Scan to Web）へ進みます。

アップロード

1	サイト名称（または URL）	取り込んだ画像をアップロードするサイトを選択します。
2	ユーザー ID	サイトに接続するときのユーザー ID を入力します。
3	接続パスワード	サイトに接続するときのパスワードを入力します。
4	ファイルの指定	サイトにアップロードするファイルを表示します。ファイル名、ファイルサイズ、更新日時がそれぞれ表示されます。
5	プレビュー	リスト上で選択されているファイルの縮小イメージ（サムネイルイメージ）を表示します。 複数ファイルが選択されているときは、最上位のファイルを表示します。
6	［ファイル選択］ボタン	このボタンをクリックすると、コンピュータに保存されている画像ファイルをリストに登録することができます。
7	［選択解除］ボタン	このボタンをクリックすると、リスト上のファイル選択を解除できます。
8	［アップロード］ボタン	このボタンをクリックすると、選択したファイルをサイトにアップロードします。

ポイント

- ［アップロード］ボタンをクリックすると、アップロード先のサイト（URL）と［キャンセル］ボタンが表示されます。
- アップロードが完了すると、アップロードを実行する前の画面に自動的に戻ります。

DPE

［DPE］ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。写真として印刷するのに適した設定で原稿を取り込み、印刷することができます。
DPE の詳細は、 ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。ここでは機能の概要を説明します。

番号	項目		説明
1	入出力先	写真の取り込みを行う TWAIN ドライバと印刷を行うプリンタドライバを選択します。 本機の場合 TWAIN ドライバは「EPSON TWAIN 5」を選択してください。プリンタドライバはお持ちの機種にあったドライバを選択してください。	
		スキャナ	EPSON SMART PANEL で設定されている TWAIN が選択されます。
		プリンタ	［プリンタ］ボタンをクリックするとプリンタドライバ一覧を表示します。
2	プレビュー	設定した内容に応じた印刷イメージをプレビュー画面に表示します。	
3	詳細設定	DPE で取り込み〜印刷する際の、以下の項目を設定します。	
		原稿	取り込み原稿の種類を選択します。
		用紙	印刷する用紙の種類を選択します。
		写真サイズ	印刷するサイズを選択します。
		写真枚数	印刷する枚数を指定します。
4	［印刷］ボタン	写真を取り込み、印刷を実行します。	

カード・カレンダー

［カード・カレンダー］ボタンをクリックすると、画像取り込み後、以下のダイアログが表示されます。取り込んだ画像を、カードやカレンダーが簡単操作で作成できる PhotoImpression で利用できる状態にします。カード、カレンダー機能の詳細は、ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。

確認

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、番号を伴うデフォルトファイル名がつけられます。 インデックス画面の各サムネイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が以下の「イメージビューア」で表示されます。
2	［新規スキャン］ボタン	新たに原稿を取り込む場合に、クリックします。原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	［確認終了］ボタン	このボタンをクリックすると、以下の PhotoImpression を起動し、取り込んだ画像が編集可能になります。

PhotoImpression

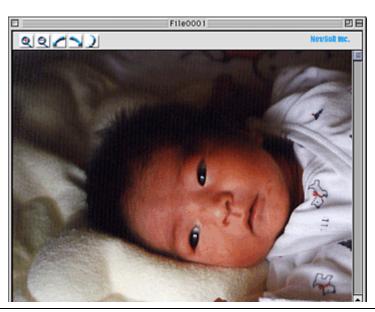
PhotoImression の詳細については、ヘルプを参照してください。ヘルプは、PhotoImpression の画面上から起動することができます。

PhotoImpression
写真の取得
編集
作成
保存
印刷
アルバム
フォルダから
カメラ/スキャナ
新規作成
スクリーンキャプチャ
A-Z

ファイル保存

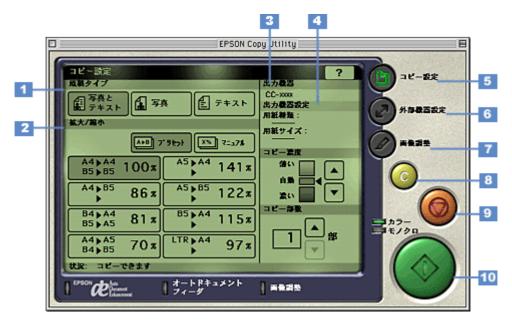
［ファイル保存］ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。ファイル保存では、取り込んだ画像を任意のファイル形式に変換して、保存することができます。ここでは、機能の概要を説明します。
ファイル保存機能の詳細は、ヘルプボタンをクリックしてヘルプを参照してください。

確認

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、頭文字で始まり４桁の番号を伴うデフォルトファイル名がつけられます。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が以下の「イメージビューア」で表示されます。
2	［新規スキャン］ボタン	新たに原稿を取り込む場合に、クリックします。原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	［確認終了］ボタン	このボタンをクリックすると、確認した画像データで次のステップ（ファイルの保存）へ進みます。

ファイルの保存

1	ファイルパス	ファイルの保存先を表示します。[参照] ボタンをクリックして、保存先を選択し直すこともできます。
2	ファイル形式	保存する際のファイル形式を選択します。
3	オプション	JPEG 形式でファイルを保存する場合、画像の圧縮率を設定できます。
4	[保存] ボタン	設定に従って、ファイルを保存します。

コピー

［コピー］ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。スキャナとプリンタを使用してコピーをすることができます。
コピーユーティリティの詳細は、 ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。ここでは機能の概要を説明します。

1	原稿タイプ	コピーを行う原稿の種類を「写真とテキスト」「写真」「テキスト」の中から選択します。	
2	拡大 / 縮小	原稿に対する拡大 / 縮小率を設定します。	
		プリセット	あらかじめ設定してある拡大 / 縮小率を指定できます。
		マニュアル	拡大 / 縮小率を手動で設定できます。
3	出力機器	コピーの出力先（プリンタ）が表示されます。	
4	出力機器設定	コピー出力を行う用紙の種類とサイズが表示されます。	
5	［コピー設定］ボタン	コピーに必要な基本的な設定を実行する画面を表示します。上に表示されている画面が、「コピー設定」画面です。	
6	［外部機器設定］ボタン	このボタンをクリックすると以下の外部機器設定画面が表示されます。この画面では、入力機器と出力機器の設定をします。	
		入力機器	EPSON SMART PANEL で設定されている TWAIN が選択されます。
		入力カラー	原稿取り込みの色を「カラー」「モノクロ」のどちらかから選択できます。
		出力機器	コピーの出力先（プリンタ）を選択できます。
		印刷プロパティ	選択したプリンタの設定画面を表示します。

7	［画像調整］ボタン	このボタンをクリックすると以下の画像調整画面が表示されます。この画面では、取り込む原稿の色補正を設定できます。	
		Auto Document Enhancement	画像の濃淡を判断するしきい（白黒の境）値を自動的に調整する機能を「On」「Off」のどちらかから選択できます。
		モノトーン効果	取り込む原稿の色調を「セピア」「ブラック」「ブルー」「Off」から選択できます。
		カラー調整	取り込む原稿の「明度」「コントラスト」「彩度」を調整できます。
8	［クリア］ボタン	クリックすると設定値を初期値に戻します。	
9	［中止］ボタン	コピーの開始後に、クリックするとコピーを中止します。	
10	［コピー］ボタン	コピーを開始するボタンです。	

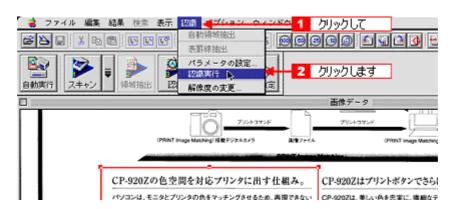
OCR

［OCR］ボタンをクリックすると、読ん de!! ココ パーソナルが起動します。原稿上の文字をテキストデータとして取り出すことができます。ここでは、手順の概要を説明します。詳細は、読ん de!! ココ パーソナルの取扱説明書（PDF）またはヘルプを参照してください。

文字認識の流れ

以下に取り込んだ原稿から文字認識させる簡単な流れを説明します。

1. **文字認識させる部分を選択します。**

2. **［認識］メニューをクリックし、［認識実行］をクリックします。**

3. **認識結果の微調整をします。必要に応じて保存します。**

以上で、読ん de!! **ココ パーソナルを使用した文字認識の操作説明は終了です。**

E メール

［E メール］ボタンをクリックすると、画像取り込み後、以下のダイアログが表示されます。選択した画像を、メールソフトに自動的に添付することができます。
E メール機能の詳細は、EPSON SMART PANEL の ? ヘルプ ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。ここでは機能の概要を説明します。

確認

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、自動的に４桁の番号を伴うファイル名が付けられます。 インデックス画面の各サムネイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が以下の「イメージビューア」で表示されます。
2	［新規スキャン］ボタン	新たに原稿を取り込む場合に、クリックします。原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	［確認終了］ボタン	このボタンをクリックすると、次のステップ（メール送信）へ進みます。

メール送信

1	電子メールシステムリスト	電子メール送信可能なアプリケーションソフトを検索し、リストを表示します。
2	［設定］ボタン	このボタンをクリックすると、電子メールシステムリストの並び順を変更したり、電子メールアプリケーションソフトにファイルを送る際に使用されるファイル形式を設定することができます。
3	［リフレッシュリスト］ボタン	このボタンをクリックすると、再度電子メール送信可能なアプリケーションソフトを検索し、リストを表示し直します。
4	［起動］ボタン	このボタンをクリックすると、選択した電子メールアプリケーションソフトが起動し、取り込んだ画像が自動的に新規メールに添付され、文字入力待ち状態になります。

ポイント

メールを送信する前に、ファイルサイズを確認してください。ファイルサイズが大きすぎる場合は、［設定］ボタンをクリックして、サイズを小さくしてください。

アプリケーション

［アプリケーション］ボタンをクリックすると、画像取り込み後、以下のダイアログが表示されます。取り込んだ原稿をどのアプリケーションソフトで利用するかを選択することができます。
アプリケーション機能の詳細は、 ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。

確認

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、自動的に４桁の番号を伴うファイル名が付けられます。 インデックス画面の各サムネイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が以下の「イメージビューア」で表示されます。
2	［新規スキャン］ボタン	新たに原稿を取り込む場合に、クリックします。原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	［確認終了］ボタン	このボタンをクリックすると、確認した画像データで次のステップ（アプリケーション起動）へ進みます。

アプリケーション起動

1	アプリケーションリスト	編集可能なアプリケーションソフトを検索し、リストを表示します。
2	［設定］ボタン	このボタンをクリックすると、アプリケーションソフトを登録したり、選択したアプリケーションソフトにファイルを送る際に使用されるファイル形式を設定したり、登録したアプリケーションの削除をすることができます。また、アプリケーションソフトリスト（インデックス）に登録されているアプリケーションソフトの順序を変更することができます。
3	［リフレッシュリスト］ボタン	このボタンをクリックすると、再度画像編集可能なアプリケーションソフトを検索し、リストを表示し直します。
4	［起動］ボタン	このボタンをクリックすると、選択したアプリケーションソフトが起動し、取り込んだ画像を編集できるようになります。

コピー Fax

［コピー Fax］ボタンをクリックすると、以下のようなコピーダイアログが表示されます。このダイアログで Fax を実行すると、Fax ダイアログが表示されます。Fax ダイアログで、Fax の設定をして送信します。
コピー fax 機能の詳細は、ヘルプ ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。

ポイント
［コピー Fax］機能を使用するためには、お使いのコンピュータに FAX ソフトウェアがインストールされていて、既に FAX の送受信が出来る状態である必要があります。

コピー設定

1	原稿タイプ	Fax を行う原稿の種類を「写真とテキスト」「写真」「テキスト」の中から選択します。	
2	拡大 / 縮小	原稿に対する拡大 / 縮小率を設定します。	
		プリセット	あらかじめ設定してある拡大 / 縮小率を指定できます。
		マニュアル	拡大 / 縮小率を手動で設定できます。
3	出力機器	Fax の出力先（プリンタ）が表示されます。	
4	出力機器設定	コピー fax 機能では使用しません。	
5	［コピー設定］ボタン	fax に必要な基本的な設定を実行する画面を表示します。上に表示されている画面が、「コピー設定」画面です。	

<table>
<tr><td rowspan="6">6</td><td rowspan="6">［外部機器設定］ボタン</td><td colspan="2">このボタンをクリックすると以下の外部機器設定画面が表示されます。この画面では、入力機器と出力機器の設定をします。</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>入力機器</td><td>EPSON SMART PANEL で設定されている TWAIN が選択されます。</td></tr>
<tr><td>入力カラー</td><td>原稿取り込みの色を「カラー」「モノクロ」のどちらかから選択できます。</td></tr>
<tr><td>出力機器</td><td>Fax の出力先を選択できます。</td></tr>
<tr><td>印刷プロパティ</td><td>選択した Fax アプリケーションの設定画面を表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">7</td><td rowspan="5">［画像調整］ボタン</td><td colspan="2">このボタンをクリックすると以下の画像調整画面が表示されます。この画面では、取り込む原稿の色補正を設定できます。</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>Auto Document Enhancement</td><td>画像の濃淡を判断するしきい（白黒の境）値を自動的に調整する機能を「On」「Off」のどちらかから選択できます。</td></tr>
<tr><td>モノトーン効果</td><td>取り込む原稿の色調を「セピア」「ブラック」「ブルー」「Off」から選択できます。</td></tr>
<tr><td>カラー調整</td><td>取り込む原稿の「明度」「コントラスト」「彩度」を調整できます。</td></tr>
<tr><td>8</td><td>［クリア］ボタン</td><td colspan="2">クリックすると設定値を初期値に戻します。</td></tr>
<tr><td>9</td><td>［中止］ボタン</td><td colspan="2">Fax の開始後に、クリックすると Fax を中止します。</td></tr>
<tr><td>10</td><td>［コピー］ボタン</td><td colspan="2">Fax を開始するボタンです。</td></tr>
</table>

その他の情報

スキャナビボタンについて

スキャナビボタンを使うと、画像を取り込んだ後、目的のアプリケーションソフトを直接起動し、取り込んだ画像をそのアプリケーションソフトに転送して使用することができます。

ボタンを使ってできること

ボタンを押すと EPSON SMART PANEL を起動します。EPSON SMART PANEL では、取り込んだ画像をメール送信、カード・カレンダー作成など、さまざまなアプリケーションソフトで利用することができます。どんな機能があるかについては、以下の項目を参照してください。

	EPSON SMART PANEL を起動します。 「メイン画面（EPSON SMART PANEL）」235

サービス・サポートのご案内

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス / サポートをご案内いたします。

カラリオインフォメーションセンター

エプソンプリンタ / スキャナに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	『スタートアップガイド』（冊子）の巻末をご覧ください。
電話番号	

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

エプソン販売 WWW SERVER	http://www.i-love-epson.co.jp

ショールーム

エプソン製品を見て触れて操作できるショールームです。所在地については『スタートアップガイド』の巻末をご覧ください。

パソコンスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。
カラリオユーザーには ”より楽しく ”ビジネスユー ザーには ”経費削減 ”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品 を活かしていただけるようにお手伝いします。

お問い合わせ先	『スタートアップガイド』（冊子）の巻末をご覧ください。

保守サービス

保守サービスについては、以下のページをご覧ください。
「修理に出すときは」257

「MyEPSON」について知りたい

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。

「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを各種提供いたします。

ポイント
「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心＆充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。
追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。
「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『ソフトウェア CD-ROM』から簡単にご登録いただけます。

ポイント
- インターネット接続環境をお持ちでない場合には、同梱のお客様情報カード（ハガキ）にてユーザ－登録をお願いいたします。
- ハガキでの登録情報は弊社および関連会社からお客様へのご連絡、ご案内を差し上げる際の資料とさせていただきます。（上記「専用ホームページ」の特典は反映されません。）
- 今回ハガキにてご登録いただき、将来インターネット接続環境を備えられた場合には、インターネット上から再登録していただくことで上記「専用ホームページ」の特典が提供可能となります。

修理に出すときは

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。
詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

お買い求めいただいた販売店	
エプソン修理センター	お問い合わせ先については、『スタートアップガイド』の巻末をご覧ください。

保守サービスの種類

種類	概要	修理代金	
		保障期間内	保証期間外
持込／送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料 + 技術料 + 部品代 修理完了品をお届けした時にお支払いください。
ドア to ドアサービス	• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドアtoドアサービス料金のみ）	有償 （ドアtoドアサービス料金 + 修理代）

通信販売のご案内

EPSON 製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ	http://www.epson-supply.co.jp
お電話で	電話番号	0120- 251- 528 （フリーダイヤル） ※電話番号のかけ間違いにご注意ください。
	受け付け時間	月～金曜日　AM9:00 ～ PM6:15 土曜日　AM9:00 ～ PM5:00 （祝祭日・弊社指定休日を除く）

お届け方法

当日発送	営業日 PM4:30 までのご注文受付分は、即日発送手配いたします（在庫分のみ）。	
お届け予定日	本州・四国	翌日
	北海道・九州	翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払ください。	
クレジットカード	取り扱いカード	UC 、JCB 、VISA 、Master 、NICOS
コンビニエンスストア 振込み（前払い）	ご注文承り後、注文明細入り見積書と請求書、振込用紙をお送りいたします。 請求書到着後、2 週間以内にお振り込みください。ご入金確認後、商品を発送させていただきます。利用可能なコンビニエンスストアなどの詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。	
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前の審査と、ご登録が必要になります。下記にご連絡ください。	
	電話番号	0120-251-528（フリーダイヤル）

送料

お買い上げ金額の合計が 4,500 円以上（消費税別）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。4,500 円未満（消費税別）の場合は、全国一律 500 円（消費税別）です。

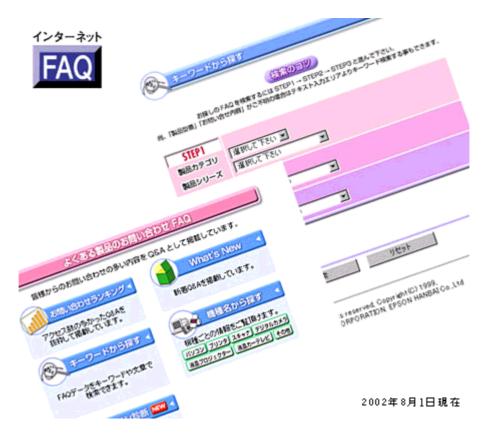
消耗品カタログの送付

プリンタ消耗品・関連商品のカタログをお送り致します。カタログの発送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のホームページまたは電話 にてご確認ください。

インターネット FAQ のご案内

インターネット FAQ は、お問い合わせの多い内容を Q&A として、エプソン販売のホームページに掲載しています。
本ガイドの「トラブル対処方法」をご覧いただいても、問題が解決しない、またはわからないことがある場合は、
インターネット FAQ をご覧ください。

ポイント

インタネット FAQ は、インターネットに接続していないと、ご覧になれません。

http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

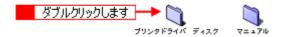
ソフトウェアの削除と入手方法

ソフトウェアの削除方法

以下のソフトウェアを削除する手順をご説明します。

「プリンタドライバの削除方法」260
「ユーザーズガイドの削除方法」261
「EPSON TWAIN ドライバの削除方法」262
「EPSON SMART PANEL の削除方法」263

プリンタドライバの削除方法

1. プリンタドライバを削除する場合は、本機の電源をオフにして、ケーブルを取り外します。
2. 起動しているアプリケーションソフトを終了し、Macintosh を再起動します。
3. ソフトウェア CD-ROM をセットします。
4. 画面を下の方にスクロールさせ、［プリンタドライバ　ディスク］フォルダをダブルクリックします。

5. ［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。

［DISK1］フォルダをダブルクリックして、［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。

6. ［続ける］ボタンをクリックした後、使用許諾契約書の画面が表示されるので、［同意］ボタンをクリックします。

7. ［アンインストール］を選択して［アンインストール］ボタンをクリックします。

削除が実行されます。

ポイント

以下のような画面が表示された場合は、［続ける］ボタンをクリックします。

これでプリンタドライバの削除は終了です。

ユーザーズガイドの削除方法

1. デスクトップ上の［EPSON CC-570L ユーザーズガイド］アイコンをゴミ箱に捨てます（ドラッグアンドドロップします）。

2. ［ハードディスク］のアイコンをダブルクリックします。

ポイント

- ［Macintosh HD］というアイコン名は、ご利用の環境によって異なります。

- インストール時に特定のインストール先を指定した場合は、インストール先のフォルダ（ドライブ）をダブルクリックして開いてください。

3. ［EPSON CC-570L マニュアル］フォルダをゴミ箱に捨てます（ドラッグアンドドロップします）。

これでユーザーズガイドの削除は終了です。

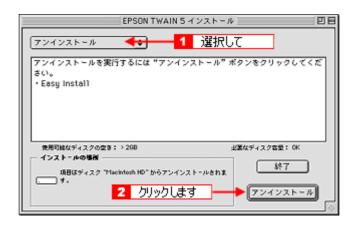
EPSON TWAIN ドライバの削除方法

1. 本機の電源をオフにして、ケーブルを取り外します。
2. 起動しているアプリケーションソフトを終了し、Macintosh を再起動します。
3. ソフトウェア CD-ROM をセットします。
4. 画面を下の方にスクロールさせ、［EPSON TWAIN］フォルダをダブルクリックします。

5. ［EPSON TWAIN 5 インストール］アイコンをダブルクリックします。

6. 使用許諾契約の内容を確認し、［同意］ボタンをクリックします。

7. **ポップアップメニューから［アンインストール］を選択して、［アンインストール］ボタンをクリックします。**

EPSON TWAIN の削除が実行されます。

ポイント

以下のような画面が表示された場合は、［続ける］ボタンをクリックします。

8. **［OK］ボタンをクリックします。**

9. **［終了］ボタンをクリックします。**

これで EPSON TWAIN の削除は終了です。

EPSON SMART PANEL の削除方法

1. **ソフトウェア CD-ROM をセットします。**

2. 画面を下の方にスクロールさせ、[EPSON Smart Panel] フォルダをダブルクリックします。

3. [Japanese] フォルダをダブルクリックします。

4. [Smart Panel UnInstaller] アイコンをダブルクリックします。

以下のような画面が表示された場合は、[続ける] ボタンをクリックします。

以上で EPSON SMART PANEL **の削除は終了です。**

最新ソフトウェアの入手方法

プリンタドライバや EPSON TWAIN などのソフトウェアをバージョンアップすることによって、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。できるだけ最新のソフトウェアをお使いいただくことをお勧めします。

最新バージョンのソフトウェアをインストールする前に、必ず旧バージョンを削除してください。

「ソフトウェアの削除方法」260

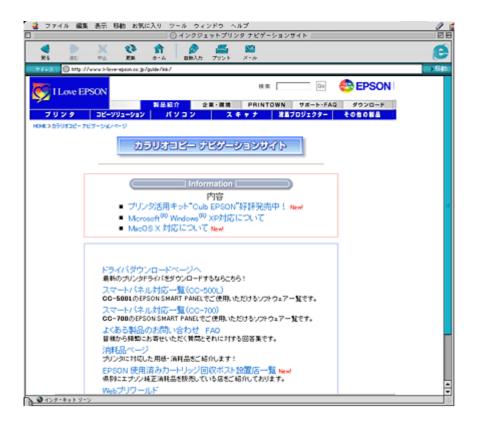
ポイント

バージョンは、数字が大きいほど新しいバージョンになります。数字が同じ場合は、数字の後ろに付いているアルファベットが後のもの（A より B、B より C…）が新しいバージョンになります。

入手方法

エプソン販売のホームページからダウンロードしてください。

【アドレス】http://www.i-love-epson.co.jp/guide/pcopy/

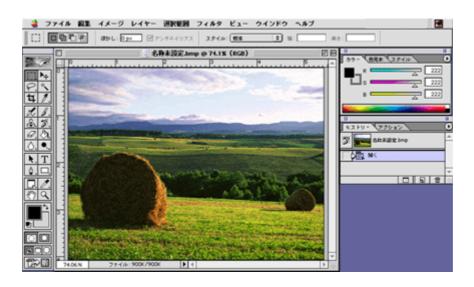
ダウンロード方法 / インストール方法は、ダウンロードするページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。

写真をきれいに取り込み、印刷するための知識

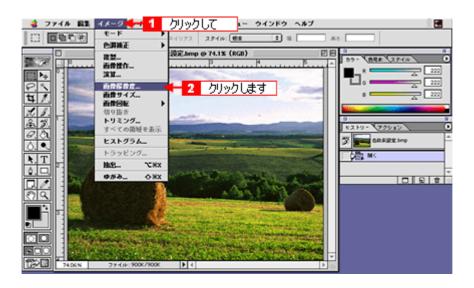
画像の解像度の調整方法

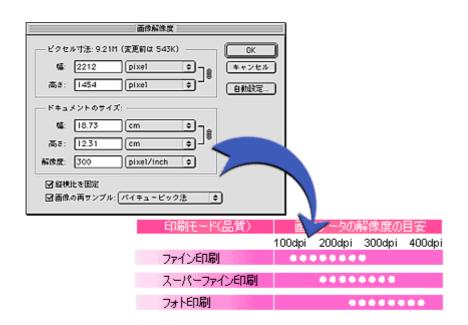
写真などの画像データは、解像度が高すぎるとデータ容量が大きくなり、印刷速度が遅くなるだけで大きな画質向上効果は望めません。
ここでは、本機の出力解像度に合わせた適度な解像度のデータを用意するために、解像度の調整方法をご説明します。

ポイント

- 画像ファイルの解像度を変更するためには、画像修正用のアプリケーションソフトが必要です。
- ここで使用している画面は Adobe Photoshop のものです。
- 低解像度の画像の印刷品質は、解像度を上げても、ほとんどの場合向上しません。

1. **画像修正用のアプリケーションソフトを起動して、解像度を調節したい画像データを開きます。**

2. **画像データの解像度を調整するための画面を表示します。**

   設定画面は、［画像解像度］や［画像サイズ］などの項目を選択すると表示されます。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

3. **画像データの解像度を調整します。**

［解像度］は、以下の表を参照して印刷したい画質に合わせて設定します。高画質に印刷するためには 240 〜 300dpi（または Pixel/inch）程度に設定するのが良いでしょう。

ポイント

設定によっては、解像度を変更すると、ファイルサイズ（データ容量）も同時に変更されます。画像をきれいにまたは大きく印刷しようとすればするほど、ファイルサイズは大きくなります。ファイルサイズが大きすぎると、ご利用のコンピュータの性能によっては印刷に非常に時間がかかることがあります。

4. **変更した画像を保存します。**

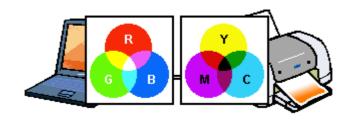
これで、解像度が変更されました。この後は、用途に応じて作業を進めてください。

ポイント

ファイルを別名で保存して、解像度の変更前と変更後を印刷して比べると、解像度についてさらに理解できます。

100dpiの画像データ
240dpiの画像データ

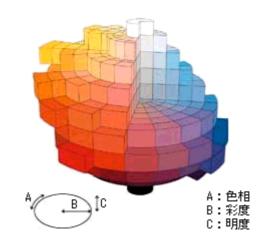
色について

普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される“色”にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、「色」について説明しています。

色の要素

一般に「色」というと赤や青などの色相（色合い）を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相のほかに彩度、明度という要素があります。

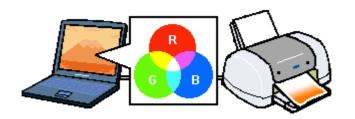
彩度はあざやかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合をいいます。
例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。

明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。

下の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。

ディスプレイの発色プロセス<加法混色>

色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、赤（R)、緑（G)、青（B）の 3 色の光が見えます。

これは「光の三原色」と呼ばれるもので、光はこれら 3 色の組み合わせでさまざまな色を表現します。

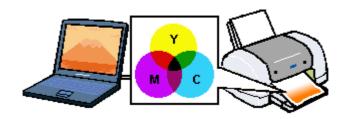
この方法は、どの色も光っていない状態（全てが 0: 黒）を起点に、全ての色が光っている状態（全てが 100: 白）までを色を加えることで表現するため、CRT ディスプレイで表現される色は、加法混色（加色法）と呼ばれます。

プリンタ出力の発色プロセス<減法混色>

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります。(正確には、当たった光のうち一部の色を吸収（減色）し、残りの色を反射することで色を表現します。)

例えば「赤いインク」の場合、次のようになります。
一般的に見られる「光」の中には、さまざまな色の成分が含まれています。

この光が赤いインクに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体（インク）が赤く見えるのです。

このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色の RGB ではなく、混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン（C)、マゼンタ（M)、イエロー（Y）の 3 色です。この 3 色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。

理論的には C・M・Y の 3 色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒（BK）インクを使用し、C・M・Y・BK の 4 色で印刷します。

出力装置による発色の違い<ディスプレイとプリンタ出力>

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、CRT ディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。

この RGB → CMY 変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの調整状態によっても変化するため、完全に一致させることはできません。

このように発色方法の違いにより、ディスプレイ上と実際の印刷出力の色合いに差異が生じます。しかし、これらの差異をできる限り合わせこむことが可能です。

ポイント

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画 （CMY）→ ディスプレイ （RGB）→ 印刷（CMY）の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトウェアの中にはこの機能があるものがあります。

ディスプレイについて

ディスプレイ上で表示される画像などをいくつの色数を使って表現するかについて、設定を変更することができます。ディスプレイ、印刷結果ともに、よりきれいに表現するためには［16bit］、［24bit］などの値に設定する必要があります。
ここでは、表示色の設定方法とディスプレイの調整方法について説明します。

ディスプレイの表示色の設定

ポイント

設定できる値や各項目名は、ディスプレイを使用するためのドライバなどの性能によって異なります。詳しくは、お買い求めいただいたディスプレイのメーカーへお問い合わせください。

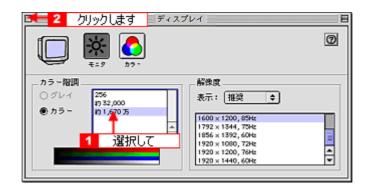
1. **表示色の設定をする画面を開きます。**

   画面左上の［アップル］メニューをクリックしてから、［コントロールパネル］-［モニタ］の順にクリックします。

ポイント

すべてのアプリケーションソフトを終了させてから設定することをお勧めします。

2. **表示色を設定します。**

   カラーの一覧から、［色 32000 色］、［約 1670 万色］をクリックして選択します。

3.　［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。

以上で、設定は終了です。

ディスプレイの調整方法

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。

このように偏った表示をしている状態では、スキャナから取り込んだ画像や Photo CD などの画像を、適切な明るさや色合いで表示することはできません。また、印刷結果も予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。

ポイント

- ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）を本格的に行うためには、非常に手間がかかり、測定機器なども必要になります。ここでは簡易的な調整手順を紹介します。ディスプレイの調整方法については、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。
- これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いは、原稿または印刷結果に近づけることができますが、すべてを近づけることはできません。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

1.　ディスプレイの電源をオンにして 30 分以上放置し、ディスプレイの表示を安定させます。

室内の照明環境を一定にします。自然光は避けて、一定の照明条件になるようにフードを装着すると良いでしょう。

2.　ディスプレイのカラーバランス（色温度）を調整できる場合は、6500K に調整します。

3.　ディスプレイのブライトネス調整を行います。

4.　ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、スキャナで取り込んだ画像の色が原稿または本機の印刷結果に近くなるように調整を行います。

5.　調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。

これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いは、原稿または印刷結果に近づけることができますが、合わない部分もあります。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

ポイント

書籍のご案内
「カラーマネージメント !」
カラーマネージメントシステムの使いこなしテクニックが徹底解説されています。モニタキャリブレーションについても詳しく解説されています。
ISBN4-87280-336-1　**発行所：株式会社** IDG **コミュニケーションズ（**1998 **年初版発行）**

カラーマネージメントシステムについて

カラーマネージメントシステムとは

スキャナ・ディスプレイ・プリンタは色の表現方法が異なり（光の三原色－ RGB と色の三原色－ CMY）、またメーカー・モデルによる違いがあるため、原画・ディスプレイ表示・印刷物の色を一致（カラーマッチング）させるには測定機器や専門知識などが必要です。

測定機器や専門知識などがなくても、機器間の色合わせを行い、原画・ディスプレイ表示・印刷物の色を近づけるためのシステムの 1 つに、ICM（Windows）または Color Sync（Macintosh）というカラーマネージメントシステムがあります。

Windows 用 EPSON TWAIN は ICM2.0（sRGB）に対応しています。Macintosh 用 EPSON TWAIN は、ColorSync2.0/2.5/3.0 に対応しています。
ただし、お使いのディスプレイ（印刷する場合はプリンタ）が ICM または ColorSync2.0/2.5/3.0 に対応していなければ、ICM または ColorSync2.0/2.5/3.0 の機能は利用できません。

ColorSync を使用しての、取り込みから印刷までの手順（Macintosh）

ColorSync2.0 の場合

1. コントロールパネル内の［ColorSync システム特性］アイコンをダブルクリックします。
2. お使いのディスプレイが選択されているかを確認します。選択されていない場合は、[特性の設定］ボタンをクリックします。
3. お使いのディスプレイを一覧の中から選択し、選ぶ ボタンをクリックします。ディスプレイが一覧の中にない場合は、最適なシステム特性について、ディスプレイメーカーへお問い合せください。
4. EPSON TWAIN の［環境設定］ダイアログで、「ColorSync」をチェックします。
5. 画像を取り込みます。
6. ColorSync を利用して取り込んだ画像を印刷するときは、プリンタドライバで ColorSync を選択（オン）します。詳しくは、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

ColorSync2.5/3.0 の場合

1. コントロールパネルの［ColorSync］アイコンをダブルクリックします。
2. ［システム特性］または［ディスプレイ］項目で、お使いのディスプレイを選択します（その他の項目は設定する必要はありません）。ディスプレイが一覧の中にない場合は、最適なシステム特性について、ディスプレイメーカーへお問い合せください。
3. EPSON TWAIN の［環境設定］ダイアログで、「ColorSync」をチェックします。
4. 画像を取り込みます。
5. ColorSync を利用して取り込んだ画像を印刷するときは、プリンタドライバで ColorSync を選択（オン）します。詳しくは、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

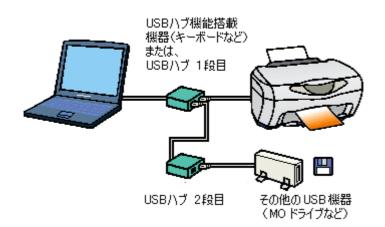
付録

USB 接続について

複数の USB 機器を接続する方へ

1 台のコンピュータに、本機のほかにも複数の USB 機器を接続して使用する場合は、「USB ハブ」を別途ご用意ください。

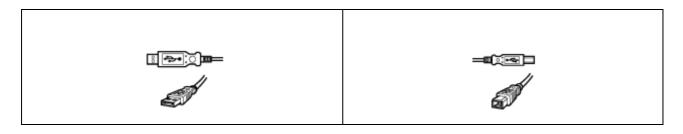
USB 機器が本機のみの場合

複数の USB 機器を接続する場合

USB 接続では、マウス・スキャナ・プリンタなどの周辺機器を、1 つのインターフェイスで最大 127 台まで接続することができます。
USB ハブがない場合は、使用したい機器をその都度つなぎ変える必要があります。

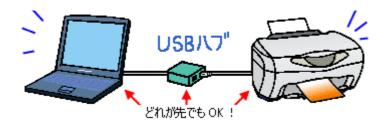
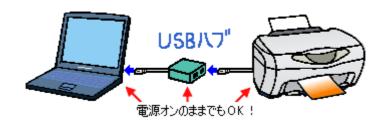
USB ハブに接続する場合は、必ず、コンピュータに直接接続している USB ハブ（1 段目）に接続してください。2 段目以降の USB ハブに接続した場合、動作の保証は致しかねます。USB ハブについては、コンピュータをお買い上げの販売店にご相談ください。

USB ケーブルについて

本機との接続には、同梱の USB ケーブルをお使いください。

タイプ A コネクタ （コンピュータ側）	タイプ B コネクタ （USB 機器側）

USB ケーブルは、コンピュータ側（上位）と USB 機器側（下位）に接続するコネクタの形状が異なります。

USB の基礎知識

- 電源をオン / オフする順序は、USB 機器が先でも、コンピュータが先でも構いません。

- USB 接続では、コンピュータや USB 機器の電源がオンの状態のまま、USB 機器を接続したり、外すことができます。

USB ケーブルを抜き差しするときは、間隔を開けてください。

本機を輸送するときは

本機を輸送するときは、本機を衝撃などから守るために十分に注意して梱包してください。

1. **本機から用紙を取り除きます。**

   用紙が本機内に残っている場合は、メニューで「キュウシ / ハイシ」を選択して［カラーコピー］ボタンを押し、排紙します。

2. **本機の電源がオフになっていることを確認します。**

3. **スキャナユニットを開け、プリントヘッドが右端のキャッピング位置にあることを確認します。**

注意

インクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。

4. **購入時に付いていた保護材を図のように取り付けて、スキャナユニットを閉じます。**

ポイント

お手元に保護具がない場合には、テープなどを代用して、インクカートリッジのセット部が動かないように、本体カバーにしっかりと固定してください。
長期間貼り付けると糊がはがれにくくなるテープもありますので、輸送後は、直ちにはがしてください。

5. **キャリッジ固定レバーをロックします。**

6. **排紙トレイを閉じ、用紙サポートなどの付属品を取り外します。**

7. **電源プラグをコンセントから抜き、USB ケーブルを本機から取り外します。**

8. **梱包材を取り付け、本機を水平にして梱包箱に入れます。**

   上記の手順でしっかりと梱包したら、輸送の準備は整いました。

注意

本機は傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態のまま輸送してください。

ポイント

輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

「ノズルチェックとヘッドクリーニング」91

操作パネルのエラー表示一覧

本機にエラー（正常でない状態）が発生したときは、エラーランプが点灯し、操作パネルの液晶ディスプレイにエラー内容が表示されます。

エラーメッセージ	内容	解決方法
インクカートリッジエラー インクカートリッジノコウカンガヒツヨウデス。コピーボタンヲオシテクダサイ。	インクカートリッジに問題が発生しました。	新しいインクカートリッジに交換してください。
カラーインクカートリッジナシ →アタラシイインクカートリッジヲセットシマス。コピーボタンヲオシテクダサイ。 （カタバン：ICCL29 ）	カラーインクカートリッジが取り付けられていません。	[カラーコピー] ボタンを押すとプリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動します。 スキャナユニットを開いて、カラーインクカートリッジを取り付けてください。
カラー、クロインクカートリッジ ナシ →アタラシイカラー、クロインクカートリッジヲセットシマス。カラーコピーボタンヲオシテクダサイ。 （カタバン：ICCL29 、ICBK29 ）	カラーと黒、両方のインクカートリッジが取り付けられていません。	[カラーコピー] ボタンを押すとプリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動します。 スキャナユニットを開いて、カラーと黒のインクカートリッジを取り付けてください。
カラー、クロインクナシ →アタラシイインクカートリッジヲセットシマス。コピーボタンヲ オ シテクダサイ。 （カタバン：ICCL29 、ICBK29 ）	カラーと黒、両方のインクがなくなりました。	[カラーコピー] ボタンを押すとプリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動します。 スキャナユニットを開いて、新しいカラーと黒のインクカートリッジを取り付けてください。
カラーインク ナシ →アタラシイ インクカートリッジヲセットシマス。コピーボタンヲオシテクダサイ。 （カタバン：ICCL29 ）	カラーのインクがなくなりました。	[カラーコピー] ボタンを押すとプリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動します。 スキャナユニットを開いて、新しいカラーインクカートリッジを取り付けてください。
カラーインク スクナクナリマシタ	カラーのインクが残り少なくなりました。	インクが無くなるまで印刷はできますが、インクが残り少なくなっています。 新しいカラーインクカートリッジをご用意ください。
クロインクカートリッジナシ →アタラシイインクカートリッジヲセットシマス。コピーボタンヲ オシテクダサイ。 （カタバン：ICBK29 ）	黒インクカートリッジが取り付けられていません。	[カラーコピー] ボタンを押すとプリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動します。 スキャナユニットを開いて、黒インクカートリッジを取り付けてください。
クロインクナシ →アタラシイインクカートリッジヲセットシマス。コピーボタンヲ オシテクダサイ。 （カタバン：ICBK29 ）	黒のインクがなくなりました。	[カラーコピー] ボタンを押すとプリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動します。 スキャナユニットを開いて、新しい黒インクカートリッジを取り付けてください。
クロインク スクナクナリマシタ	黒のインクが残り少なくなりました。	インクが無くなるまで印刷はできますが、インクが残り少なくなっています。 新しい黒インクカートリッジをご用意ください。

ジュンセイノインクカートリッジ デハアリマセン。インジヒンシツハホショウサレマセン。コピーボタンヲ オスト コピーヲツヅケマス。/ クリアボタンヲオストコノ メッセージハジカイカラ ヒョウジサレナイ セッテイニナリ コピーヲツヅケマス。	取り付けられたインクカートリッジが、本機に対応した純正品ではありません。	カラーコピーボタンを押すとコピーを実行することができます。クリアボタンを押すとコピーが実行され、次回コピー時にはこのメッセージは表示されなくなります。ただし、どちらの場合にも印刷品質は保証されません。
スキャナユニットオープン →スキャナユニットヲトジテクダサイ。	スキャナユニットが開いています。	スキャナユニットをしっかり閉じてください。
スキャナエラー →トリアツカイセツメイショヲゴランクダサイ。	スキャナ部で次のようなエラーが発生しています。 ・ キャリッジ固定レバーがロックされている ・ 蛍光ランプの交換が必要 ・ スキャナ部の故障	電源を一旦オフにしてキャリッジ固定レバーが解除されているか確認してください。 キャリッジがロックされている場合には、ロックを解除し、再度電源をオンにしてください。 キャリッジ固定レバーが解除されているにも関わらずエラーになる場合には、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
プリンタ ヨウシヅマリ コピーボタンヲオシテクダサイ。エラーガカイジョサレナイ バアイハ テデトリノゾイテクダサイ。	用紙詰まりです。	[カラーコピー] ボタンを押します。うまく給紙されない場合には、詰まっている用紙を手で取り除きます。 うまく取り除けない場合には、無理に取ろうとせずに、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
プリンタ ヨウシナシ →ヨウシ ヲ セ ットシテ コピーボタンヲオシテクダサイ。	用紙がセットされていません。	オートシートフィーダに用紙をセットして、[カラーコピー] ボタンを押してください。
プリンタエラー →トリアツカイセツメイショヲゴランクダサイ。	プリンタ部でエラーが発生しています。	一旦電源をオフにした後、再度電源をオンにしてみてください。 それでもエラーが発生する場合は、プリンタ内部の部品調整が必要です。お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
フォトヒンシツセッテイデモノクロコピーボタンガ オ サレマシタ。コピーヲ ツツケルバアイニハ モノクロコピーボタンヲオシテクダサイ。	[コピーヒンシツ] を [PM シャシンヨウシ] または [PM マットシ] に設定した状態で、[モノクロコピー] ボタンを押しました。	[モノクロコピー] ボタンを押すとそのまま印刷を実行します。設定をやり直す場合は、[ストップ] ボタンを押します。

ポイント

処置した後もエラー表示が続く場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
お問い合わせ先は、『スタートアップガイド』の巻末をご覧ください。

システム条件

本機のプリンタ機能やスキャナ機能を使用するために最小限必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。

Windows

Windows では、以下の条件をすべて満たす場合にのみご使用いただけます。

- Windows 98/Me/2000/XP がプレインストールされているコンピュータ（購入時すでにインストールされているコンピュータ）
- Windows 98 がプレインストールされていて、Windows Me/2000 にアップグレードしたコンピュータ
- Windows 98 以降の OS がプレインストールされていて、Windows XP にアップグレードしたコンピュータ
- 上記いずれかのコンピュータで、USB に対応し、コンピューターメーカーにより USB ポートの動作が保証されているコンピュータ

Windows 98

オペレーティングシステム	Windows 98（SE）日本語版
CPU	Pentium（R）233MHz 以上
主記憶メモリ	64MB 以上
ハードディスク空き容量	必要な容量は、取り込みを行う画像データによって異なります。
ディスプレイ	SVGA（800 × 600）以上の解像度

Windows Me

オペレーティングシステム	Windows Me 日本語版
CPU	Pentium（R）233MHz 以上
主記憶メモリ	64MB 以上
ハードディスク空き容量	必要な容量は、取り込みを行う画像データによって異なります
ディスプレイ	SVGA（800 × 600）以上の解像度

Windows 2000

オペレーティングシステム	Windows 2000 Professional 日本語版
CPU	Pentium（R）233MHz 以上
主記憶メモリ	64MB 以上
ハードディスク空き容量	必要な容量は、取り込みを行う画像データによって異なります
ディスプレイ	SVGA（800 × 600）以上の解像度

ポイント

Windows 2000 にインストールする場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンする必要があります。

Windows XP

オペレーティングシステム	Windows XP HOME /Professional Edition 日本語版
CPU	Pentium（R）300 MHz 以上
主記憶メモリ	128 MB 以上
ハードディスク空き容量	必要な容量は、取り込みを行う画像データによって異なります
ディスプレイ	SVGA（800 × 600）以上の解像度

Macintosh

システムソフトウェア	Mac OS 8.6 から 9.x（Power PC G3 以上） （USB インターフェイスを標準装備している機種）
メモリ空き容量	128MB 以上を推奨
ハードディスク空き容量	必要な容量は、取り込みを行う画像データによって異なります

用語集

以下に説明されている用語の中には、エプソン独自の用語で一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

英数字

180 度回転印刷
プリンタドライバの機能で、印刷イメージを 180 度回転して印刷する。

API（エーピーアイ）
Application Program Interface の略で、アプリケーションソフトとコンピュータ（OS）の仲立ちをするもの。汎用性のある API を定めることによって、周辺装置のインターフェイスが容易に使えるようになる。TWAIN とは、スキャナを制御するための API の規格。

BIOS（バイオス）
Basic Input Output System の略。コンピュータを動作させるための基本的なプログラム群のこと。

bit（ビット）
binary digit（2 進法）の略。コンピュータが扱うデータの最小単位で、0 か 1 で表す。8bit で 0 〜 255、16bit で 0 〜 65,535 の数値（デジタルデータ）を表すことができる。TWAIN は各色 16bit での出力が可能なので、赤（R）・緑（G）・青（B）それぞれ 65,536 階調、トータルで約 281 兆 5 千億色の表現力がある。

BMP（ビーエムピー）
画像データを保存するファイル形式の 1 つ。Windows 上で一般的に使用されている。

Byte（バイト）
コンピュータやプリンタなどが扱う情報（データ量）の単位。1Byte=8Bit で構成され、1Byte で英数カナ文字 1 文字、2Byte で漢字 1 文字を表現することができる。

dpi（ディーピーアイ）
Dot Per Inch の略。解像度の単位で、25.4mm（1 インチ）幅に印字または表示できるドット数を示す。

EPSON NATURAL PHOTO COLOR（エプソンナチュラルフォトカラー）
ディスプレイ上の色域制限（sRGB）にとらわれずに、自然界の色により近い印刷を行うためのEPSON独自の画像処理技術。

EPSON プリンタウィンドウ !3
インク残量や本機の状態をコンピュータ上でモニタすることのできるユーティリティ。プリンタドライバのインストールに続けてインストールされる。

EPSON USB プリンタデバイスドライバ
Windows 98/Me 環境で本機を USB 接続する場合に必要なソフトウェア。コンピュータに EPSON USB プリンタデバイスドライバをインストールすることで、USB 接続したプリンタがコンピュータに認識される。

ESC/P（イーエスシーピー）
Epson Standard Code for Printer の略。セイコーエプソンが標準化した、ターミナルプリンタ用コントロールコード体系。

ICM（アイシーエム）
Windows 95/98/Me/2000/XP 用のカラーマネージメント機能の 1 つ。原画（印刷データ）、印刷結果の色の合わせ込みを行う。

I/O（アイオー）ポートアドレス
コンピュータと周辺装置との間で情報をやりとりするために複数の出入り口があるが、それを区別するためにつける番号のこと。キーボード、マウスなどにはあらかじめ番号が割り当てられているが、双方向パラレルなどのボードを新たに接続する場合は、これらと重複しないように番号を設定する必要がある。ハードウェア間で I/O ポートアドレスが重複すると、正常な動作ができなくなる。

JIS（ジス）コード
Japan Industrial Standard の略。日本工業規格で規定した、日本国内の文字コードの規格。

JPEG（ジェイペグ）
デジタルカメラの写真データの標準的な圧縮形式。圧縮率が高い割に画像の劣化が少ない。

KByte（キロバイト）
データ量の単位。1KByte=1024Byte。

OCR（オーシーアール）
Optical Character Recognition の略で、光学文字認識の意。印字された文字を読み取り、テキストデータ化すること。汎用のスキャナを用いる場合は、OCR ソフトが必要になる。なお、専用の光学文字認識装置の場合は、Optical Character Reader になる。

PDF（ピーディーエフ）
Portable Document Format の略。電子形式書類の一種で、Acrobat Reader という無料ソフトによって閲覧できる。

RAM（ラム）
Random Access Memory の略。データなどを読み書きできるメモリ。

readme（リードミー）ファイル
ソフトウェアが納められている CD-ROM などに保存されている文書ファイルで、使用上の制限など、読んでほしい内容が書かれている。

RAM（ラム）
Random Access Memory の略。データなどを読み書きできるメモリ。

TWAIN（トウェイン）
スキャナを制御するソフトウェアのための、アプリケーションインターフェイス（API）の規格。取り込みソフトウェア自体も TWAIN と呼ばれる。

付属の EPSON TWAIN は、この TWAIN 規格に対応しているので、各種 TWAIN 対応ソフトから画像を直接取り込むことができる。

sRGB（エスアールジービー）
Microsoft 社 /HP 社が制定した、赤（R）・緑（G）・青（B）の色の規格。

USB（ユーエスビー）
Universal Serial Bus の略で、中速、低速向けのシリアルインターフェイスの規格の 1 つ。コンピュータやプリンタなどの接続機器の電源が入ったまま、ケーブルの抜き差しができる。また、「USB ハブ」という機器を使用することで、規格上、同時に 127 台までの USB 対応機器を接続することができる。

Web スムージング
プリンタドライバの機能の 1 つ。インターネットからダウンロードした低解像度の画像やロゴの輪郭をなめらかに印刷することができる。

Windows（ウィンドウズ）
Microsoft 社が開発した OS で、コンピュータの標準的な OS として利用されている。Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP などの種類がある。

ア

アイコン
コンピュータの画面上に表示される、ファイルや書類、フォルダなどを象徴する図柄。マウスでこの図柄をクリックなどすることにより、さまざまな命令をコンピュータに指示する。

圧縮（データ圧縮）
1 つ、または複数のファイルを 1 つにまとめて、データ容量を小さくすること。圧縮されたデータは展開して、元のデータに戻して使用する。これを「解凍」という。

アプリケーションソフトウェア
コンピュータ上で実務処理などを行うためのソフトウェア。ワープロソフト、表計算ソフト、画像処理ソフトなどがある。

アンインストール（削除）
インストールした（コンピュータのシステムに組みんだ）ソフトウェアを削除すること。

イ

色補正方法
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷するデータの色バランスを整える方法。

インクカートリッジ
印刷用のインクが入った容器。

インク残量
インクカートリッジ内に残っているインクの量。

インクジェットプリンタ
プリントヘッドのノズル部分（インク吐出孔）からインクを用紙に吹き付けて印刷するプリンタ。

インク充てん
プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして、印刷できる状態にすること。

印刷解像度
例えばカラーインクジェットプリンタでは、用紙にインクの粒を吹きつけて印刷（画像を表現）する。このインクの粒が約 25.4mm（1 インチ）幅にいくつあるかを［印刷解像度］といい、単位は dpi（dot per inch）で表す。
インクの粒が多いほど、画像はより精細になるが、印刷に時間がかかる。

印刷可能領域
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。定形紙に対して印刷する領域を選択する。印刷可能領域と印刷推奨領域がある。印刷可能領域を選択すると、用紙下端の余白部分が少なくなり、印刷可能な領域が広がる。ただし、用紙の種類によっては、印刷の汚れや乱れが発生する可能性がある。

印刷先のポート
プリンタドライバからのデータをコンピュータのどのポートに出力するかを設定する項目。プリンタドライバをインストールする際に、自動的に設定される。

印刷順序
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。同じ印刷データを複数枚印刷する際の印刷順序を選択する。

印刷ジョブ
印刷中のデータや、印刷待ちのデータをジョブ（印刷ジョブ）と呼ぶ。

印刷推奨領域
プリンタには、紙送りの機構上、用紙の上端、下端に印刷品質を保証できない部分がある。この部分を除いた領域を印刷推奨領域という。通常は、この領域に印刷を行う。

印刷品質
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷の品質を［ドラフト］［ファイン］［スーパーファイン］［フォト ］などから選択することができる。

印刷部数
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷部数を指定する。

印刷プレビュー
印刷実行前に印刷結果の予想図を見るためのプリンタドライバの機能。

印刷方向
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷方向を選択する。

インストーラ

CD-ROM やフロッピーディスクで提供されソフトウェアなどをコンピュータのハードディスクにコピーし、さらに使用できる状態まで自動的に設定するソフトウェア。

インストール

OS やアプリケーションなどの新しいソフトウェアをコンピュータのシステムに組み込むこと。

インターネット

TCP/IP をベースとしたネットワークプロトコルによって、世界中のコンピュータを相互接続したネットワークの総称。

インターフェイス

異なる機器が接続される接点（境界面）。また、それらの機器間でデータなどをやり取りするためのハードウェアやソフトウェアの接続仕様。

インターフェイスカード

標準装備されているインターフェイス以外に、さらにインターフェイスを増やしたい場合に取り付けるカード。本機に装着することはできない。

インターフェイスケーブル

プリンタとコンピュータを接続するケーブル。接続するコンピュータの種類によって、使用するケーブルが異なる。

インターフェイスコネクタ

インターフェイスケーブルを接続するコネクタ。

インチ

長さの単位で、1 インチは約 25.4mm。

エ

エッジガイド

セットした用紙が斜めに挿入されないように、用紙の側面にあてて、給紙をガイドするもの。

エラー通知

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。本機で発生したエラーの通知方法を選択する。

エラー表示

本機にエラー（正常でない状態）が発生したときに、画面や音声でお知らせする機能。

オ

オートシートフィーダ

セットされた用紙を自動的に、連続して給紙する装置。

オートフォトファイン !4

エプソン独自の画像解析 / 処理技術を用いて、自動的に画像を高画質化して印刷する機能。

オブジェクト

色補正を行う際に対象となるもの。

オリジナルマークの登録

スタンプマークを印刷する際、プリンタドライバのマーク名のリストボックスに、あらかじめ登録されていないオリジナルのマークを追加登録すること。

カ

改行
印刷位置を次行の左マージン位置に移動すること。

解像度（resolution）
解像度には、［印刷解像度］と［画像解像度］と［表示解像度］などがある。

印刷解像度：
例えばカラーインクジェットプリンタでは、用紙にインクの粒を吹きつけて印刷（画像を表現）する。このインクの粒が約 25.4mm ｛1 インチ｝幅にいくつあるかを［印刷解像度］といい、単位は dpi（dot per inch）で表す。インクの粒が多いほど、画像はより精細になるが、印刷に時間がかかる。

画像解像度：→画像を取り込むときに、EPSON TWAIN で設定する解像度
画像データ自体を構成する画素（点）が約 25.4mm ｛1 インチ｝幅にいくつあるかを表すもので、単位は印刷解像度と同じく、dpi（dot per inch）で表す。画素数が多いほど画像はより精細になるが、データ量が多くなるため画像の取り込み／保存／読み込みなどに時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。

取り込む画像の解像度は 50 〜 12800dpi まで設定可能だが、画像をプリンタで印刷する場合、画像解像度（出力機器の設定）を EPSON TWAIN の初期設定値以上に設定しても印刷品質は向上しない。

表示解像度：
画像をコンピュータのディスプレイに表示したときに、どのくらいの大きさで表示されるかを表したもので、単位はピクセル（またはドット）。ディスプレイ自体の表示能力を表すときも表示解像度を用いる。

解凍
圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

改ページ
印刷位置を次ページ先頭の左マージン位置（印字開始位置）に移動すること。

階調（gradation）
自然界の光は明から暗まで無段階にあるが、そのままではコンピュータで処理できないので、明暗を有限な段階に区切ってデータ処理する。その各段階の濃度を階調という。

区切りの数を階調数と言う。フルカラーでは、赤（R）・緑（G）・青（B）それぞれ 256 階調（8bit）、トータル 16,777,216 色（24bit）になる。階調の数値が高いほど画像は精細になるが、データ量が多くなるためコンピュータでの処理に時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。

拡大 / 縮小
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷データを拡大 / 縮小して印刷するときに設定する。

画素（pixel）
画像が細かい点で構成されているとみなしたとき、それぞれの点のことを画素と言う。コンピュータでは、画素をデータに置き換えて処理する。1 画素を何ビットで表現するかにより、画像の色数や階調数が決まる。

カラー調整
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。カラー調整の方法を選択する。

カラーマッチング
原画、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色を合わせ込む機能。

環境設定
プリンタドライバの設定画面の 1 つ。Windows では印刷速度やプログレスメータ表示、EPSON プリンタポートに関する設定を行う。Macintosh では、エラー表示やプリンタの状態を確認するタイミングなどの設定を行う。

ガンマ（gamma）
画像の中間調（ミッドトーン）の明暗（濃度特性）を調整する機能。ガンマを調整することにより、暗い部分（シャドウ）や明るい部分（ハイライト）に大きな影響を与えずに、中間部分の明るさの値を変更することが可能。

キ

基本設定画面

Windows 用プリンタドライバの設定画面の 1 つ。印刷品質に関わる設定をする。

キャッピング

プリントヘッドの乾燥を防ぐために、本機が自動的にプリントヘッドにキャップをする機能。

ギャップ調整

プリントヘッドのズレを調整する機能。双方向印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になる場合は、プリントヘッドのギャップがずれている可能性がある。その場合に調整が必要になる。

キャリッジ（carriage）

原稿を照射する蛍光ランプがついており、取り込み時に移動する。取り込み前のキャリッジの待機位置をホームポジションという。

給紙

オートシートフィーダにセットされている用紙を、ページ先頭位置まで紙送りすること。

給紙補助シート

オートシートフィーダにセットした専用紙の最後の 1 枚を正常に給紙するためのシート。このシートが同梱された専用紙を使用する場合、このシートを先にセットしてから専用紙をセットする。専用紙によっては普通紙で代用する場合もある。

共有プリンタ

ネットワーク環境下において、複数のコンピュータから使用可能なように設定されたプリンタ。

ク

クライアント

ネットワーク環境下において、サーバから各種サービスを受ける側となるコンピュータ。

クリーニングシート

一部の専用紙に同梱されているヘッドクリーニング用のシート。本機では紙送りの機構上使用できない。

クリック

マウスのボタンを " カチッ " と 1 回押すこと。

クリップボード

ソフトウェア間でデータを交換するときに、データを保存する場所のこと。メモリを使用する。

ケ

原色（primary color）

スキャナのカラー取り込みや CRT ディスプレイのカラー表示は、赤（R）、緑（G）、青（B）の光の三原色で行う。これに対し、プリンタの出力や印刷インクによる色表現は、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の色の三原色で行う。それぞれの原色は互いに補色の関係にある。プリンタや印刷機の出力では、黒色を正確に表現するために黒（K）も使用する。

コ

コントラスト

画像のもっとも明るい部分と暗い部分の差。差があるほどコントラストの値は大きくなる。

コントロールコード
本機の機能を制御するための、コンピュータから本機側へ送られるコード（命令符号)。

サ

サーバ
ネットワーク環境下において、クライアントにサービスを提供する機能を持つハードウェアやソフトウェア。

左右反転
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷データの左右を反転させて印刷する。

シ

システム条件
プリンタドライバを使用するために最小限必要なコンピュータの環境条件。

手動設定画面
Windows 用プリンタドライバの設定画面の 1 つ。印刷品質に関わる詳細な設定をすることができる。

詳細画面
プリンタの設定画面の 1 つ。Windows の機能として表示される画面で印刷先の設定やエラー表示に関する設定などをすることができる。

詳細設定
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。選択すると印刷品質に関連する項目を詳細に設定する画面を表示するためのボタンと用途に応じた設定を選択できるメニューが有効になる。

上質普通紙
黒色の発色に特に優れた普通紙。

使用済みカートリッジ回収ポスト
使用済みカートリッジを定期的に回収し再資源化するために回収協力販売店に設置しているカートリッジ回収用のボックス。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールーム。

初期化
プリンタを印刷可能状態に戻すこと。

初期充てん
プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして、印刷できる状態にすること。

初期設定値
電源スイッチをオンにしたときに選択される設定。

初期動作
電源をオンにしたときに行われる、本機のウォーミングアップ。プリントヘッドが左右に動くなどして、本機のエラー状態を検査する。

ス

推奨ケーブル
本機を各種コンピュータに接続するための弊社の推奨するケーブル。

推奨設定
プリンタドライバの設定項目で、各種用紙に合わせて最適な設定にしてくれる印刷モード。

スーパーファイン
印刷品質の項目の一つで、720dpi ※の解像度で印刷する。
※ dpi：25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）

スタンプマーク
印刷するデータにマークを重ねて印刷する機能。オリジナルのマークやテキストも登録することができる。

ズーム（zoom）
画像を再現したときに、原稿に対して拡大または縮小されるように取り込む機能。指定した解像度に対して、ズームの分だけ、読み取る画素数が増減するので、同じ解像度の出力機器で再現したときに、結果として拡大または縮小される。

スプール
プリンタ出力などで、印刷データを一時的にディスクに保存してからプリンタに送信する出力の手法。

スプールマネージャ
印刷データを一時的に蓄えるアプリケーションソフト。

スムージング
プリンタドライバの設定項目で、印刷データ内のテキストデータや線画の輪郭を、滑らかに印刷する機能。

スライドフィルム（Slide film）
スライド用に、ポジフィルムを 1 枚ずつ切ってプラスチックなどの枠にはさんだもの。マウントフィルム（mounted film）ともいう。

セ

接続先（ポート）の設定
印刷データの出力先は、USBインターフェイス、ハードディスクなど複数あるが、それらの接続先（ポート）を設定すること。

設置
本機を置くこと、または置く場所のこと。

線数（frequency）
スクリーン線数とも言う。画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換する（網点は中心部ほど高濃度になっており、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出される）。

網点が約 25.4mm ｛1 インチ｝の幅に何列あるかを線数といい、単位は lpi（line per inch）で表す。線数が多いほど、画像を精細に印刷できる。

一般に、高画質なハーフトーン画像を出力するには、画像解像度を、出力に使用するスクリーン線数の 2 倍にすると良い。

専用紙
弊社のプリンタを使用して最適な印刷結果が得られるように作られた用紙。

ソ

走査（scan）

スキャナは、原稿に光を当てて反射光を読み取り、画像などを構成する最小単位の画素に分割し、分解フィルターで色分解を行い、その色の濃淡を電気信号に変換する。この処理を走査という。

またスキャナは、横方向にセンサを並べ、それを縦方向に動かすことにより平面な原稿を読み取っていくが、横方向の読み取りを主走査（main scan）、縦方向の読み取りを副走査（sub scan）という。主走査、副走査を交互に繰り返すことにより、原稿を読み取っていく。

双方向印刷

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷することにより、印刷の高速化を実現するための機能。

双方向通信

コンピュータと本機とで、データを双方でやり取りする機能。EPSON プリンタウィンドウ !3 では、この双方向通信機能を使用して、本機の状態などをコンピュータの画面上に表示する。

タ

退色

一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）する。エプソン製専用紙も同様だが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができる。

タイムアウト

プリンタの接続に関する設定項目で、コンピュータからプリンタに印刷データを送る際の待ち時間、プリンタがデータを受信できなくなったときの送信を繰り返す時間を設定する。

ダウンロード

インターネットやパソコン通信でサーバ上に保存されている、ファイル（プリンタドライバなど）を自分のコンピュータにコピーすること。

タスクバー

Windows の［スタート］ボタンがあるバーのこと。アプリケーションを起動したときに、ここに登録、表示される。

タブ

プリンタドライバの画面などで、［基本設定］［用紙設定］［レイアウト］［ユーティリティ］などの表示を切り替えるための見出し。クリックすると各画面が表示される。

ダブルクリック

マウスのボタンを " カチッカチッ " と 2 回続けて押すこと。

単純 2 値（plain bi-level）

中間調処理をしないで、1 ビット / 画素（白か黒か）で取り込む処理。線画、文字など階調性を必要としない画像の取り込みに適している。

チ

中間調処理（halftoning process）

画像取り込みをする際のデータ化処理の方式。取り込んだ画素を、すでに取り込んだ周囲の画素と比較しながらデータ化する。これにより、明暗のみ（2 値＝ 1 ビット / 画素）のデータにおいても、中間的な階調を擬似的に表現できる。

チェックボックス（check box）

項目（機能）の有効 / 無効を設定するための四角いマーク。マウスでクリックすることにより、有効 / 無効を切り替えることができる。

ツ

通信エラー
コンピュータとプリンタが通信できない場合に出るエラー。正しく印刷データが送れない場合などに発生する。エラーが発生すると画面上にエラーに関するダイアログが表示される。

通信販売
EPSON 製品の消耗品・オプションがお近くの販売店で入手困難な場合に、インターネットや FAX などで注文することができるシステム。

坪量
用紙の厚さを表す単位（１平方メートル / グラム）。

テ

ディザ処理（dithering）
画像の階調を 2 値のデータで表現するための手法の一種。

ディレクトリ
ファイルを管理するための住所のようなもの。ディレクトリは、階層化構造となっている。

デバイス
コンピュータ（CPU）に接続する機器のこと。デバイスを使用するためには、デバイスドライバというソフトウェアが必要となる。

ト

動作確認
本機が正しく動作するか確認するために、本機の内部で持っているノズルチェックパターンを印刷すること。

動作環境
本機やプリンタドライバなどが正しく動作するために必要な環境のこと。

ドライブ
フロッピーディスクや CD-ROM、ハードディスクなどを駆動する装置。フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブなどと呼ぶ。

ドラッグ（drag）
マウスボタンを押したまま、マウスを動かしてアイコンなどを移動すること。コピーなどの操作で使用する。

ドロップアウトカラー（dropout color）
モノクロ（明暗のみ）で取り込むときに、取り込まない特定の色のこと。赤（R)、緑（G)、青（B）のいずれかを取り込まないように指定可能。

ドラフト
プリンタドライバの印刷品質の項目で、インク消費量をセーブしながら高速に印刷する。試し印刷に向いている。

ニ

ニュートンリング（newton ring.）

透過原稿（フィルム）の取り込みで発生する、光学的な現象。シャボン玉の表面に見える虹と同じ原理で、非常に薄い 2 層の膜があるところに発生する。（ニュートンリングは干渉縞とも言い、光の干渉で発生する）

フィルムを表裏反対（膜面をスキャナのガラス側）にして取り込むと、ガラスとフィルム面の間に感光剤の凹凸が入るため、ニュートンリングが発生しにくくなる。

任意倍率

プリンタドライバの項目で、印刷データをどのくらいの割合で拡大 / 縮小するか入力する。

ネ

ネットワーク

複数のコンピュータ間で直接データをやり取りできるように接続すること。

ノ

濃度補正（tone correction）

濃度はトーンともいう。スキャナで取り込んだ画像の濃度データを、トーン曲線に合わせて補正し、出力データとする機能。シャドウ、ミッドトーン（中間調）、ハイライトへと変化していくトーン曲線を補正することで、画像全体の濃度をバランス良く仕上げることができる。

ノズルチェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていないか確認するために、本機の内部に保存されているパターンを印刷する機能。

ハ

バージョンアップ

プリンタドライバやアプリケーションソフトなどに新機能などを盛り込んで、更新すること。最新のプリンタドライバなどは、インターネットやパソコン通信などで情報を公開している。

排紙トレイ

プリンタから排出された用紙を受けるところ。

ハイライト

画像の最も明るい部分。

パソコンスクール

専任のインストラクターが EPSON 製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えするサービス。

パソコン通信サービス

インターネットを通じて行う最新情報の公開、またはソフトウェアのダウンロードなどのサービス。

発色プロセス

ディスプレイやプリンタなどの色を表現の方法。ディスプレイの発色方法は「加法混色」、プリンタの発色方法は、「減法混色」と呼ばれる。

バッファ

処理するためのデータを一時的に蓄えるためのメモリ。

バリ

用紙の切断面におこる毛羽立ち。

ヒ

ピクセル（Pixel）

解像度（表示解像度）を参照。

ヒストグラム（Histogram）

画像の黒（0）～白（255）までのデータ分布（ピクセル数）をグラフで表したもの。ヒストグラムによって。画像の本来白であるべき部分が白くなっているか、黒であるべき部分が黒になっているか、などを確認できる。

例えば、Photoshop の［レベル補正］コマンドでは、ヒストグラムを見ながらハイライトポイントやシャドウポイントなどを指定し、画像の明暗を最適化することができる。

フ

ファイン

プリンタドライバの印刷品質の設定項目で、360dpi ※の解像度で印刷する。印刷スピード、品質、ランニングコストのバランスが良く、日常使用に最適な設定。
※ dpi：25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）

フィットページ

プリンタドライバの項目で、出力用紙のサイズにあわせて、自動的に印刷データを拡大・縮小する機能。

フォト

プリンタドライバの印刷品質の項目で、スーパーファイン専用紙などで 720dpi ※（マイクロウィーブ・スーパーをチェックの際、1440dpi）の解像度で印刷する。
※ dpi：25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）

フォトレタッチ

画像処理ソフトウェアで画像データを読み込み、明るさやコントラストの調整など画像の加工を行うこと。

フォルダ

ファイルを分類・整理するための保管場所。

フォント

コンピュータで使われている文字（書体）。

部数

プリンタドライバの設定項目で、印刷物を何枚印刷するか設定する。

プラグアンドプレイ

コンピュータにハードウェア（本機など）を装着するだけで、自動的に動作環境が設定され、すぐに使用できる状態になる機能。

プリセットメニュー

あらかじめ用意されている印刷目的別の設定メニュー。

プリンタ

コンピュータで処理した文字や画像を紙などに印刷する装置。

プリンタケーブル

コンピュータとプリンタをつなぐケーブル。

プリンタドライバ

アプリケーションソフトの命令語を、プリンタで印刷するためにプリンタが理解できるコードに変換する、システムに組み込むソフトウェア。

プリンタドライバのインストール

本機のプリンタ機能が動作するように、システムに組み込むこと。

プリンタドライバの削除

コンピュータに組み込まれているプリンタドライバを消去すること。本機を使用しなくなった場合や、プリンタドライバを最新のものにバージョンアップする際に実行する。

プリンタドライバのバージョンアップ

プリンタドライバに新機能などを盛り込んで、更新すること。

プリンタの共有

ネットワーク上で、1 台のプリンタを複数のコンピュータが使用できるようにすること。

プリンタの接続先の設定

USB インターフェイスなどコンピュータ上のどのインターフェイスから、データを受け取るかコンピュータ上で設定すること。

プリンタの追加

新しくプリンタをコンピュータに接続した場合、[プリンタ]フォルダにプリンタを登録すること。

プリントキュー

印刷データを一時的に記憶しておくソフトウェア。

プリントサーバ

ネットワーク環境下において、クライアントにサービスを提供する機能を持つハードウェアやソフトウェア。

プリントヘッド

用紙にインクを吹き付ける部分。

プレビュー

印刷する前に印刷全体のイメージを表示すること。

プレビュー画面

印刷する前に印刷全体のイメージを表示する画面。スタンプマークの設定など印刷前に各種設定も実行できる。

プログレスメータ

印刷の進行状態やインク残量などを表示する画面。

プロパティ

画面上に表示されるフォルダなどの属性。Windows でファイルアイコンやドライブアイコンなどを右クリックしたときに表示されるものをプロパティメニューと呼ぶ。

プロファイル

色補正データが記録されているファイル。

へ

ベース面(base side)

フィルムの、光沢のある面。反対側を膜面と言い、こちらに感光剤が塗布されている。(膜面は、乳剤面またはエマルジョン面ともいう)

ヘッドクリーニング

プリントヘッドのノズルの目詰まりを取り除く機能。目詰まりしたまま印刷を実行すると印刷結果に白いスジが入ったり、データと明らかに異なる色で印刷されるなどの現象が発生する。

変色

一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色(変色)する。エプソン製専用紙も同様だが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができる。

ホ

ポート
プリンタなどの周辺機器とコンピュータを接続するためのコネクタやソケット。

ポイント
マウスカーソルをアイコンなどに移動して、クリックする前の状態のこと。

保護具
本機を輸送時の衝撃から守るための、緩衝材やテープ。

保守サービス
EPSON 製品を万全の状態でお使いいただくためのサービス。

ポスター印刷
プリンタドライバの機能の 1 つ。1 ページのデータを 4/9/16 ページ分に拡大し、分割して印刷する機能。印刷結果をつなぎ合わせると大きなサイズの印刷結果を作ることができる。

ポップアップメニュー
▼マークのある枠内をクリックすることにより、複数の選択肢が表示されるメニュー。

マ

マージン
印刷された用紙の上下左右の余白のこと。

マイクロウィーブ
行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現する機能。

マイコンピュータ
Windows 95 以降で画面上に表示されるアイコン。ダブルクリックして開くとコンピュータ上に存在するドライブやコンピュータの各種機能を設定するための［コントロール パネル］［プリンタ］などのフォルダを表示する。

マルチサイズドット
ヘッドから吐出するインクの量を大中小と 3 タイプに吹き分けることによって、印刷ムラのない美しい出力を可能にしたエプソン独自の機能。

ミ

右クリック
マウスの右ボタンを " カチッ " と 1 回押すこと。

メ

明度
画像の明るさの度合い。プリンタドライバで調整することができる。

メモリ（memory）
データを一時的に保存する部分。例えば、ソフトウェア自体はハードディスクに保存されているが、起動するとメモリに読み込まれ、ここでさまざまな処理が行われる。ハードディスクは保存領域、メモリは作業領域と言える。

画像取り込みにもメモリを使用するため、メモリの容量が少ないと、データが収まらずにエラーが発生することがある。

モ

モアレ（moire）

印刷におけるモアレ：
画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換する（網点は中心部ほど高濃度になっており、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出される。網点はハーフトーンスクリーンとも言い、網点の配列される角度をスクリーン角度という）。

2 色以上で印刷する場合は、それぞれの色ごとにこの処理（スクリーン処理）を行い、印刷時に再び重ねられるが、このときにそれぞれのスクリーン角度が一致（＝網点が重複）すると、モアレが発生する。

スキャナでの画像取り込みにおけるモアレ：
スクリーン処理された印刷物の画像は、ドット（点）の集まりで構成されている。この画像をスキャナで取り込んだときに、印刷上のドットと取り込み後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生する。

アンシャープマスクのチェックを外したり、モアレ除去を ON にしたり、原稿の向きを変えて取り込むことによって、ドットの一致をある程度防ぐことができるが、完全に防ぐことは難しい。

モード設定

プリンタドライバの項目で、印刷モードを選択することができる。用紙に合わせて最適な設定になるように自動的に印刷する［推奨設定］、自分で選択した設定で印刷する［詳細設定］、自動的に高画質化して印刷する［オートフォトファイン!4］がある。

モノクロ印刷（黒インク）

印刷データを白と黒の階調のみで表現する。［インク］設定で［黒］を選択すると、モノクロ印刷を実行することができる。

ユ

ユーザー定義サイズ

プリンタドライバの設定項目で、定形外の用紙サイズ（用紙サイズのリストにない用紙）を登録して印刷することができます。

ユーティリティ画面

印刷品質に係わるメンテナンス機能などを実行するためのプリンタドライバの画面。

ヨ

用紙サイズ

プリンタドライバの項目で、印刷データ上で設定されている用紙のサイズをリストの中から選択する。一覧に印刷する用紙サイズがない場合は、使用する用紙サイズを設定する必要がある。

用紙サポート

本機にセットしてある用紙を支えるためのもの。用紙サポートにセットできる用紙の枚数は、用紙の種類によって異なる。

用紙種類

プリンタドライバの設定項目で、本機にセットした用紙の種類を選択する。プリンタドライバでの設定と本機にセットしてある用紙の種類が異なると印刷結果がにじむなど思うような印刷品質で印刷されなくなる。

用紙設定画面

プリンタドライバの設定画面で、印刷する用紙サイズや、印刷方向などを選択する。

用紙のセット方向

本機に用紙をセットするときの、用紙の向き。印刷する用紙（往復ハガキ除く）は、すべて縦方向にセットする必要がある。

ラ

ラジオボタン

2 つまたはそれ以上の選択肢の中から 1 つだけを選択するための画面上のボタン。

リ

リストボックス

プリンタドライバなどの設定項目などで［▼］をクリックすると、選択候補が一覧となって表示される窓のこと。

レ

レイアウト画面

プリンタドライバの設定画面で、スタンプマークや割り付け印刷など用途に合わせて印刷データを加工することができる。

連続印刷

電源スイッチのオン / オフ操作およびヘッドクリーニング操作などで動作を中断することなく印刷し続けること。

ロ

ローカルプリンタ

コンピュータにインターフェイスケーブルで直接接続されたプリンタのこと。

ロジカルシーキング

双方向最短距離印字機能。次の行の印字位置への移動が最短距離になるように判断して改行する機能。

ワ

割り付け印刷

プリンタドライバの機能の 1 つ。1 枚の用紙に 2 ページまたは 4 ページのデータを割り付けて印刷する。

割付 / ポスター

プリンドライバの設定項目の 1 つ。1 枚の用紙に 2/4 ページのデータを割り付けて印刷したり、逆に 1 ページのデータを 4/9/16 ページに拡大し、分割印刷する機能。

本ガイドの見方／印刷方法

ここでは、本ガイドの使い方を記載しています。

本ガイドの内容をすべてご覧になりたいときは

本ガイドを起動したときに最初に表示される画面（トップページ）には、プリンタの基本操作、便利な印刷機能などを表示しています。本ガイドのすべての内容をご覧いただく場合には、画面右上の［もくじ］をクリックしてください。本ガイドのもくじ（内容一覧）が表示されます。

表示される文字サイズが小さいときは

表示される文字サイズが小さくて本ガイドがご覧になりにくい場合には、ご使用のブラウザの機能を使って文字サイズを変更することができます。文字サイズの変更方法はブラウザの種類やバージョンにより異なりますので、詳細は各ブラウザのヘルプなどをご覧ください。

ポイント

ここでは、Microsoft Internet Explorer の場合を例にご説明します。

1. **［表示］メニューをクリックし、［文字の拡大］（フォントサイズ）をクリックすると文字サイズの一覧が表示されます。**
2. **現在の文字サイズより、大きな文字サイズをクリックします。**

本ガイドを印刷するときは

本ガイドを印刷する場合に、いくつかの注意点があります。

- 本ガイドは、ブラウザでの表示を前提として制作してあります。
- 本ガイドを印刷した場合、本文中の表示用のオブジェクトなどが、正しく印刷されない場合があります。
- 本ガイドが複数ページに渡って印刷される場合、ページの上下で画像や文章が印刷されない個所が発生することがあります。
- ページ上の背景色などが印刷できない場合は、以下の手順に従って設定を変更してください。

「ホームページの背景色が印刷されない」72

Internet Explorer4.5 で印刷する場合のご注意

以下のように設定を変更して、印刷してください。

1. **［ファイル］メニューの［用紙設定］をクリックします。**
2. **表示される［用紙設定］画面の「拡大 / 縮小率」の設定を、80%程度にします。そのほかの項目も確認し、［OK］ボタンをクリックします。**
3. **［ファイル］メニューの［プリント］をクリックします。**
4. **表示される［印刷］画面の下にあるチェックボックスの設定を確認します。**
   「プリント領域外の部分はプリントしない」または「プリント領域外の部分を別ページにプリントする」のどちらかをチェックします。

   ［ページを縮小する］をチェックして印刷すると、印刷が始めらない場合があります。

5. **そのほかの項目も確認し、[印刷] ボタンをクリックします。**

本文中で使用している記号について

本文中で使用しているマークには、次のような意味があります。

注意	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
注意	製品注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本体が損傷する可能性が想定される内容を示します。
ポイント	ポイント	お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）、知っておいていただきたいことを記載しています。必ずお読みください。

各ボタン、ハイパーリンクについて

本文中で使用しているボタンやアイコンには、次のような意味があります。

トップページに戻る	トップページに戻る	本ガイドの最初のページ（トップページ）を表示します。
もくじ	もくじ	本ガイドのもくじ（内容一覧）を表示します。
用語集	用語集	本ガイドで使用している難しい用語の解説集を表示します。
索引	索引	索引のページを表示します。
<< 前へ	前へ	現在表示している画面の前のページにジャンプします。
>> 次へ	次へ	現在表示している画面の次のページにジャンプします。
	参照	関連したページへジャンプします。

商標・表記について

商標について

- Adobe、Adobe Photoshop、Acrobat は Adobe Systems Incorporated の各国での商標または登録商標です。
- PC-9801/9821 シリーズおよび PC98-NX シリーズは日本電気株式会社の商標です。
- IBM PC、DOS/V、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Apple の名称、Macintosh、PowerMacintosh、AppleTalk、EtherTalk、漢字 Talk、TrueType、iMac、Mac OS、ColorSync および FireWire は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NT および Internet Explorer は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Netscape, Netscape Navigator, Netscape ONE,Netscape の N ロゴおよび操舵輪のロゴは、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。
- Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
- そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

表記について

- Microsoft(R) Windows(R) 98 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) Millennium Edition operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows XP(R) Home Edition/Professional operating system 日本語版

以上の OS の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP と表記しています。

また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は［Windows］、複数の Windows を併記する場合は［Windows 98/Me］のように、Windows の表記を省略することがあります。

索引

し

す

せ

ち

つ

て

と

に

ろ

わ

改訂履歴

Revision	日付	ページ	改訂内容
1.00	2002 年 7 月	ALL	新規